

(報告事項)

2021年3月9日

2021年度（令和3年度）

各地方向け地域放送番組編集計画および編成計画 について

各地方向け地域放送番組編集計画および編成計画については、別冊のとおり定めたので報告する。

各地方向け地域放送番組編集計画については、2月開催の各地方放送番組審議会に諮問し、可とする旨の答申を得て決定したものである。

なお、各計画とも、第1369回経営委員会（2021年1月13日）で議決を得た「2021年度国内放送番組編集の基本計画」に基づき、それぞれの地域実情にあわせたきめ細かな地域放送の実施と、地域からの積極的な全国発信を行うことを主な内容としている。

各地方向け地域放送番組編成計画については、それぞれの地域の編集計画に基づいて作成し、2月26日の放送総局編集会議での審議を経て決定したものである。

(参 考)

2021年度各地方向け地域放送番組編集計画の諮問・答申月日

	諮問した地方 放送番組審議会	諮問・答申月日
2021年度関東甲信越地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第676回関東甲信越 地方放送番組審議会	2021年2月19日
2021年度近畿地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第672回近畿地方 放送番組審議会	2021年2月17日
2021年度中部地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第675回中部地方 放送番組審議会	2021年2月18日
2021年度中国地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第677回中国地方 放送番組審議会	2021年2月18日
2021年度九州沖縄地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第678回九州沖縄 地方放送番組審議会	2021年2月18日
2021年度東北地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第681回東北地方 放送番組審議会	2021年2月18日
2021年度北海道地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第673回北海道地方 放送番組審議会	2021年2月17日
2021年度四国地方向け 地域放送番組編集計画（案）	第677回四国地方 放送番組審議会	2021年2月15日

(別冊)

2021年3月9日

2021年度
(令和3年度)

各地方向け
地域放送番組編集計画

2021年度 関東甲信越地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

新型コロナウイルスの感染拡大は産業・社会構造を大きく転換させました。中でも首都圏は最も影響が大きいエリアです。最新の動きを全国に伝えつつ、地域に即した感染状況や医療の現状などの情報の発信や課題の検証、変容しつつある働き方や暮らし方などを幅広く取材し、関東甲信越の視聴者の期待に応えます。また、SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）の考え方を踏まえ、貧困や格差、差別、ダイバーシティ、気候変動、エネルギー、教育・福祉などの取材・報道に継続的に取り組み、持続可能な社会の構築に寄与します。

放送、デジタル発信、イベントそれぞれに戦略的な役割を位置づけ、“届けきる”の達成に努めます。地域発のデジタル発信も駆使し、困難に直面する人々に寄り添い、未来に向かう一人ひとりの羅針盤を目指します。

国内の人口のおよそ40%を占める関東甲信越で、人々の安全と安心を守るため、首都直下地震をはじめ、大規模災害への備えを強化します。地域に役立つ防災・減災報道に力を入れ、発災時には各放送局が連携して正確かつ迅速な情報発信に全力で取り組みます。テレビ、ラジオに加えてデジタルも活用し、きめ細かなライフライン情報の発信を拡充します。

コロナ禍が続く中で、事件・事故には迅速に対応し、大都市圏に暮らす人々を取り巻く社会的課題を公平・公正な視点で掘り下げ、視聴者の関心に応えます。また、1年延期で開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」について、“共生”“多様”の視点に立って、新しい形の大会の魅力と課題を多角的に伝えます。

関東甲信越は、県境をまたいだ複雑な生活圏を構成しています。視聴者の関心やライフスタイルに即した、“視聴者ファーストの広域地域サービス開発”に挑戦します。また、県境を越えた番組制作を促進し、一人ひとりのニーズに応える身近な情報や、地域の魅力を再発見する番組を届けます。

さらに、関東が舞台となる大河ドラマ「青天を衝（つ）け」、続く「鎌倉殿の13人」と連動した番組やイベントをマルチに展開し、地域の活性化に貢献するとともに、視聴者とのつながりを幅広く構築します。

《各局の重点事項》

首都圏局

○新型コロナウイルス感染拡大防止に役立つ情報の発信を続けます

感染拡大が続く“新型コロナウイルス”は、人々の日常の生活を大きく変え、経済活動や雇用へのダメージも深刻さを増しています。日々変化する感染状況についての詳しいデータや自治体の対応などをきめ細かく発信するとともに、各地の医療機関などを定点的に取材して医療現場の実態や課題について掘り下げて報道し、視聴者のニーズに応じていきます。また、クラスターが起きた現場を安全に配慮しながら取材し、感染リスクがどこにあるのか取るべき対策について探ります。

○コロナ禍での「東京オリンピック・パラリンピック」を多角的に伝えます

感染終息が見えない中で、開催に向けた準備が進められている「東京オリンピック・パラリンピック」。感染の拡大をどう防ぎながら世界から選手団を招き、どう安全に開催していくのか。ホストタウンを担う自治体は、どのような対応を迫られているのか。関東甲信越の各放送局と連携し、大会実施本部や東京都、医療機関、ボランティアなどをきめ細かく取材し、歴史上前例のない大会の実情を多角的に報じていきます。

○命と暮らしを守るため防災・減災報道に総力を挙げます

今も管内の各地に爪痕が残る2019年の台風15号、19号の教訓をもとに、首都圏に甚大な被害をもたらす風水害に備える報道を充実していきます。さらに、今後30年以内におよそ70%の確率で発生するとされる首都直下地震。安全・安心の拠点として、関東甲信越の各放送局と連携し、日々のニュースや企画特集を通じて防災・減災報道を発信、ライフライン情報の正確で迅速な放送にも取り組みます。

○正確で迅速な選挙報道に取り組みます

第49回衆議院議員総選挙（任期満了日・2021年10月21日）と、前哨戦とされる東京都議会議員選挙（任期満了日・2021年7月22日）で、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝え正確・迅速な報道に万全を期します。

○持続可能な社会の実現に向け、未来を考えるきっかけ作りに取り組みます

宗教や人種、ジェンダー、障害者を巡る環境など、社会に存在するさまざまな障壁や境界を打破しようとする試みを、若者や企業、地域など幅広い現場で取材します。SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）の考え方を踏まえ、公共メディアキャンペーン「未来へ17アクション」と連動し、私たちが生きる時代の課題と未来について考えるきっかけ作りに取り組みます。

○“ローカル×デジタル”で届けきります

南関東エリアは、地域情報をデジタルで収集する視聴者が特に多い地域です。1都3県を一つのサービスエリアと捉え、地域情報をよりきめ細かく伝え地域発デジタル発信のモデルケースを構築します。放送とデジタルを連動させたマルチ展開を駆使して、全国発信では伝えきれない地域に根ざした生活情報を発信し、人々に地域の情報を届けきることを目指します。

横浜放送局

○コロナ禍の暮らしを検証するとともに、地域の課題を掘り下げ解決策を探ります

新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの日常を大きく変えました。地域の現状をきめ細かく発信するとともに、コロナ禍の新たな暮らしをともに考えます。さらに、SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）への行政や企業、地域の取り組みを見守りながら、貧困や格差、少子高齢化などの課題を掘り下げ解決策を探り、多様な地域の未来をともに考えます。また、19人の命が奪われた障害者施設殺傷事件から7月で5年になります。事件を風化させることがないように共生社会への取り組みや課題を継続取材します。

○防災・減災報道を強化し、一人ひとりに届く情報発信に力を入れます

台風や局地的な豪雨などの自然災害、懸念される首都直下地震などから、県民の命と暮らしを守るために、地域や他メディアとの連携を進め、防災・減災報道を強化します。発災や、そのおそれがある際には、首都圏局と一体運用の下、あらゆるメディアを駆使して、正確かつ迅速に伝えるとともに、独自のFM放送やデジタル展開を積極的に実施し、県民一人ひとりに届く情報発信に努めます。

○多様化するニーズに応え、地域の魅力を“届けきる”発信に努めます

首都圏局・千葉・さいたまの各放送局と緊密に連携し、3000万人以上が暮らす地域に共通するテーマを掘り起こすとともに、神奈川県豊かな文化・自然、地域に根ざした人々の活動を応援し、デジタル発信を含めて効果的な情報発信に努めます。横浜放送局制作のラジオ第1の定時番組や県域FM放送では、引き続き“ジャズの街”横浜の魅力を伝える公開生放送を実施し、開かれた放送局として、市民との結びつきを強化します。また、2022年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を関係する団体と連携してアピールし、視聴者コミュニケーション活動を通じて地域を盛り上げます。

○地域のスポーツを応援し、“東京2020”を幅広い視点で伝えます

1年延期となった「東京オリンピック・パラリンピック」では、神奈川県ゆかりの選手の活躍や、セーリング、野球・ソフトボールなど県内を会場とする競技の情報をきめ細かく伝えます。ホストタウンや地域に残るレガシーの取り組みなど、大会の魅力と課題を発信します。また、県内のプロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグ、それに高校野球などを多角的に取り上げ、地域に根ざしたスポーツの魅力を伝えます。

○公平・公正、正確・迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

2021年度は、横浜市（任期満了日・2021年8月29日）、川崎市（任期満了日・2021年11月18日）をはじめとして首長選挙が相次ぎます。選挙の争点など有権者の判断のよりどころとなる情報を、公平・公正にわかりやすく伝えるとともに、選挙当日は正確・迅速な開票速報を実施し、有権者の関心に応えます。

前橋放送局

○防災・減災につながる報道に全力を尽くします

浅間山、草津白根山、日光白根山の火山噴火をはじめ、台風、地震、豪雨、突風など、県内でも自然災害の予測はできません。こうした災害から県民の命と暮らしを守るため、防災・減災につながる報道に全力を尽くします。全局体制で、災害時にはLアラートを活用しながら、テレビのL字型画面で県民が必要とし、役立つ情報を迅速にきめ細かく提供するとともに、データ放送・インターネットでもマルチ発信します。

○「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた放送を充実させます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、県民などが参加する聖火リレーをはじめ、参加する国や地域との交流事業を担うホストタウンの動き、活躍が期待される地元アスリートの話などを積極的に取り上げて、大会への機運を盛り上げます。また、“東京2020”を機会に群馬県を訪れる国内・海外の観光客に対して、地元での取り組みや浮かび上がる課題を掘り下げ、全国・世界に向けて発信します。

○より地域に親しまれ、信頼される放送局を目指します

2020年度に放送時間を拡大した平日午後6時台のニュース・情報番組は、一層の認知度向上と視聴習慣の定着を図ります。関心が高いテーマをよりタイムリーに取材・制作し、視聴者の期待に応えます。金曜午後7時台の地域放送番組では、より地域に密着した話題を取り上げるほか、北関東エリアの各放送局と連携して新しい番組づくりにも取り組みます。放送会館オープンから50年となることにもあわせて県民により親しまれ、信頼される放送局を目指します。

○群馬の多彩な文化を発信し、知名度を高めて地域の活性化に貢献します

2020年に出土品が国宝に指定され注目される代表的な古墳の一つ、綿貫観音山古墳をはじめ、国宝などの数や質の高さで知られる“日本一の埴輪県・群馬”で出土した埴輪の最新研究をもとに“古代群馬”の姿を探ります。また、生産量日本一を誇る“こんにゃく”の知られざる魅力を取材し、群馬県内の食文化も広く発信します。大河ドラマ「青天を衝（つ）け」と連動した取り組みも実施し、地域の活性化に貢献します。

○群馬発の先端技術や新しいライフスタイルを通し、日本の未来のヒントを提示します

群馬大学が進める次世代ネットワークや車の自動運転技術の開発現場の最前線をはじめ、コロナ禍のテレワークへの関心の高まりで注目される移住の現状、人口減少が進む中での外国人との共生を探る取り組みなど、未来を先取りするさまざまな分野を取材し、群馬県から日本社会のヒントを発信します。

○正確・迅速、公平・公正な選挙報道に取り組みます

衆議院議員総選挙をはじめ、館林市・太田市・渋川市長選挙など、県内の各選挙では、正確・迅速で、公平・公正な選挙報道に全力を尽くし、視聴者の期待と信頼に応えます。

水戸放送局

○地域の安全・安心の拠点として、命と暮らしを守る報道に全力を尽くします

激甚化する台風や豪雨、地震などの自然災害に備え、日頃から防災・減災に資する情報を視聴者に提供するとともに、災害発生時にはデータ放送・インターネットなども活用して、的確・迅速に最新の状況を発信し、地域に暮らす一人ひとりにきめ細かい情報を届けます。東日本大震災や関東・東北豪雨、2019年の台風19号の被災地の現状や課題を継続的に取材し、復興を支援するとともに、その教訓を次の世代に伝えていきます。感染拡大が続く新型コロナウイルスでは、感染状況や医療体制、自治体の対策や経済復興の課題など、視聴者の安全・安心につながる情報を発信するとともに、新たな働き方やライフスタイルについても伝えます。

○地域放送を一層充実させ、地域の活性化に貢献します

茨城県唯一のテレビ局として、より身近で信頼される放送局を目指します。平日午後6時台のニュース・情報番組を充実させ、地域経済や医療格差、再稼働や広域避難が問題となる東海第二原子力発電所など、地域特有の課題に向き合うとともに、金曜午後7時台の番組でも掘り下げて伝えるなど、地域に寄り添った放送を行います。茨城県が舞台の一つとなる大河ドラマ「青天を衝（つ）け」では、連動する番組やイベントを展開し、地域を盛り上げます。地域放送番組を起点に県内の話題を全国に紹介し、デジタルにも展開するなど、地域からの情報発信を進めます。

○県境を越えて、視聴者のニーズに応える情報を届けます

茨城県には同じ北関東の栃木県や群馬県と共通の課題や文化があり、互いに関心を持っています。そこで、金曜午後7時台の番組で、前橋・宇都宮の各放送局と連携して、農業・人口問題から歴史・観光まで北関東に共通するテーマに迫り、県境を越えて新たな地域サービスに挑戦します。平日午後6時台のニュース・情報番組でも、関東甲信越や隣接する東北地方とのコンテンツの共有に取り組みます。

○地域のスポーツを応援し、“東京2020”を幅広い視点で伝えます

コロナ禍での開催が予定される「東京オリンピック・パラリンピック」。県ゆかりの選手をはじめ、ホストタウンや競技会場となる自治体の取り組みなど、新しい形で開かれる大会の課題と魅力を伝え、大会後は“レガシー”を地域にどう根づかせるか考えます。県内にプロチームがあるサッカーJリーグやバスケットボールBリーグ、出身力士が活躍する大相撲など、スポーツの魅力を伝えていきます。

○公平・公正、正確・迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

2021年度は茨城県知事選挙（任期満了日・2021年9月25日）、衆議院議員総選挙など、重要な選挙が行われます。地域の課題や選挙の争点など有権者の判断に資する情報をインターネットも含めてわかりやすく伝えるとともに、正確・迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます。

千葉放送局

○県民の安全・安心を支える報道に全力を尽くします

新型コロナウイルスの感染拡大防止に役立つ情報をはじめ、健康や生活への影響をきめ細かく伝え視聴者の期待に応えます。激しさを増す台風・豪雨災害や千葉県東方沖や首都直下などの大地震への備えを強化するとともに、発生時には全局体制でテレビ・ラジオ・データ放送・インターネットなどを駆使して視聴者の安全・安心に必要な情報をいち早く提供します。また、きめ細かい防災・減災情報を届けるために県内自治体など関係機関との連携をより強化していきます。さらに2019年の台風15号などの被災者に寄り添い復興を応援します。

○多様化する課題の解決に向けたヒントを探り、地域社会に貢献します

少子高齢化や人口減少、農林水産業・中小企業の事業承継、コロナ禍で顕在化した格差・貧困など、都市と地方の顔を併せ持つ千葉の課題について、SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）の考え方を踏まえ、放送やイベントを通じて地域のキーパーソンや視聴者とともに考え、解決へのヒントを探ります。また、県内で発生する事件・事故の背景、地域の経済、医療、介護、教育など県民の関心が高い情報を幅広く取材し、掘り下げて伝えます。

○地域放送の一層の充実を図り、千葉の魅力を広く発信します

千葉の歴史・文化や豊かな自然、地域で活躍する人たちを見つめる番組やリポートをVR（仮想現実）などの新しい技術も活用して制作し、首都圏局と連携しながら、テレビをはじめ、あらゆる伝送路で効果的に千葉の魅力を全国・世界に向けて発信します。また、放送開始から50年を迎える県域FM放送では、県内の放送事業者などと連携して地域での暮らしを充実させる情報や、地域に身近なきめ細かい情報を発信します。

○新しい形で開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」の魅力と課題を伝えます

1年延期という異例の開催予定の「東京大会」について、開催地の一つとして、開催競技のほか、聖火リレー、地元選手の活躍、ボランティアの活動などを取材し、全国・世界に発信します。また、空の玄関・成田空港を抱え、首都東京に隣接する千葉ならではの視点で、感染防止対策をはじめコロナ禍での大会を多角的に伝えます。さらに、障害者スポーツの魅力発信に力を入れ、多様な価値観を認め合いともに生きる社会の実現に貢献します。

○イベントやデジタル発信を駆使して、親しまれ、信頼される地域の“ハブ”となります

多彩な公開番組やイベントを、感染状況を見極めながら県内各地で実施するとともに、放送局の敷地を開放して視聴者とともに花を育てる活動を継続し、“花の放送局”としてプレゼンス向上に努めます。また、ホームページやツイッターを活用して、千葉を取り上げた番組を紹介します。さらに、話題になった番組を、NHKプラスの見逃し配信に誘導するなど、コンテンツを届けきり、情報の社会的基盤としての役割を果たします。

宇都宮放送局

○視聴者の“知りたい”に応えた防災・減災報道に全力を尽くします

激甚化する自然災害から県民の命と財産を守るため、大規模災害への備えをさらに強化します。県内の防災士と連携し、正確かつ迅速で地域に役立つ防災・減災報道に全力で取り組みます。またライフライン情報に加え、気象予報士による解説などをホームページに掲載し、きめ細かな発信を行っていきます。県民生活に大きな影響を与えた新型コロナウイルスについては、感染状況、医療体制や自治体の対策はもとより、変わりゆく社会の中で視聴者が知りたい県内の情報をいち早く、丁寧に伝えられるよう体制を整えます。

○県域放送の充実、そして全国への発信に取り組みます

2020年度から10分放送枠を拡大した平日午後6時台のニュースは、事件・事故などの緊急報道や台風・地震といった災害報道に加え、経済、観光、農業、医療、それぞれの現場でコロナ禍に直面しつつ地域で活躍する人々の話題や克服すべき課題についてより詳しくお伝えします。暮らしに役立つ情報についても積極的に取り上げ、より親しまれる放送局を目指します。金曜午後7時台の地域放送番組では、“地元目線”を大切にし、視聴者の共感や新たな発見を生み出す場をつくります。制作したニュースや番組などは、NHKの全国ネットワークを生かし、積極的に全国へ発信していきます。

○“つながる”を合言葉に地元の活性化に貢献します

公共メディアとして、県民一人ひとりと“つながる”ことを意識した放送やサービスを行い、視聴者が関心を持つ県内情報を発信するとともに、県民が思いを伝える場としても双方向で活用できるよう、内容をさらに深めていきます。“とちぎ”の若者にスポットを当てた新たな企画や、北関東をはじめ他の地域放送局と連携することで地域の魅力を再発見する番組を届け、地元の活性化に貢献していきます。また、4K・8Kの技術を活用して“とちぎ”の豊かな自然の魅力を記録し、県内外に発信していきます。

○スポーツの“チカラ”で、県民に元気を届けます

1年延期して行われる予定の「東京オリンピック・パラリンピック」、2022年開催予定の「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会」など大きな舞台を目前に控え、日々努力を重ねるアスリートたちや周囲で支える人々の話題を取り上げます。また、体を動かすことの楽しさを伝える企画など、県民が元気になるコンテンツを制作します。

○公平・公正、正確・迅速な選挙報道に取り組みます

衆議院議員総選挙では、選挙の争点をテレビやラジオ、インターネットでわかりやすく伝え、有権者の判断のよりどころとなる報道を行うとともに、情勢をきめ細かく取材し、正確・迅速な開票速報を放送することで視聴者の期待と信頼に応えます。

さいたま放送局

- 地域の安全・安心の拠点として埼玉県民の命と暮らしを守る報道に尽力します
全国各地で台風や集中豪雨の被害が毎年起き、その規模も年々大きくなっています。全国で5番目に人口が多く、河川面積の割合が都道府県で全国2位の埼玉県では水害への防災意識を高めていく必要があります。あわせて首都直下地震による被害も想定されます。災害発生時やそのおそれがある場合に備えてテレビ・ラジオ・データ放送・インターネットで多角的に伝えるために訓練を重ね、防災・減災に役立つ情報発信を行って県民730万人の命と暮らしを守る取り組みを続けます。また、大規模な事件・事故の発生にも的確かつ迅速に対応し、その背景なども丹念に取材し、視聴者の期待に応える報道を目指します。
また、首都直下地震などで東京の放送センターが被災し機能が停止した場合、さいたま放送局にある報道別館から関東広域向けラジオ放送を出すことに全力を挙げて取り組みます。
- 大河ドラマ「青天を衝（つ）け」に関連して情報発信し地域活性化に貢献します
近代日本資本主義の父と称され、埼玉県三偉人の一人とされる渋沢栄一を主人公にした大河ドラマ「青天を衝（つ）け」にあわせて、本編やロケの紹介をはじめ、県内など各地に渋沢が残したレガシーを掘り起こして放送・インターネット・イベントを通じて多角的に展開し、ドラマ視聴の機運を盛り上げるとともに地域活性化に貢献します。
- 衆議院議員総選挙やさいたま市長選挙などで視聴者の信頼に応えます
衆議院議員総選挙やさいたま市長選挙（任期満了日・2021年5月26日）では常日頃から入念に準備をして万全の態勢で臨み、公平・公正、正確・迅速な選挙報道を実施します。また、越谷市長選挙（任期満了日・2021年11月10日）や川口市長選挙（任期満了日・2022年2月8日）など地域にとって重要な選挙においても地域の課題や選挙の争点など有権者の判断に資する情報を丁寧に伝えます。
- 放送を中心にインターネットも活用して視聴者との接触機会を増やします
埼玉県には製造事業所数全国3位の商工業、盛んな近郊農業、川越や秩父など多くの人が訪れる観光と多彩な産業が息づいています。テレビ・ラジオを中心にインターネットなど多様なメディアにコンテンツを展開して県民の姿を余すことなく伝え、視聴者に触れてもらう機会をさらに増やします。

長野放送局

○地域の“ハブ”になり、必要とされる存在になります

新しい時代の公共メディアとして、従来の放送に加えインターネットやソーシャルネットワークサービス、さまざまなイベントなども活用して、あらゆるコンテンツを幅広い世代に届けます。県内の他のメディアや地元の人々との連携を深めて信州の発展に貢献し、地域の活力を生み出す必要不可欠な存在となります。

○“命と暮らしを守る”報道を充実させます

県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全局を挙げて取り組みます。災害時の連携協定を結んだ県内のケーブルテレビ各局との協力関係を深め、よりきめ細かな情報を迅速に発信する体制を強固なものにします。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための知識や対策をわかりやすく伝え、ウィズコロナ時代の県民の生活を守ります。

○信州の魅力や課題を掘り起こし国内外に発信します

NHKのネットワークを生かして、信州の魅力や課題を全国・世界に発信し、地域の活性化に貢献します。信州の人々にとって関心の高い番組やイベント情報を、NHKの放送やホームページに限らず、連携するさまざまな外部の媒体も活用し、より多くの人々に届けきります。

○正確・迅速、公平・公正な選挙報道に取り組みます

民主主義と地方自治の基盤である国政選挙や地方選挙の動向・結果を、正確かつ迅速に伝え、視聴者の関心に応えます。選挙の争点や地域の課題をわかりやすく伝えるとともに、特定の政党や勢力に偏らない公平・公正な報道に努めます。

○オリンピック・パラリンピックや地域スポーツを通じて信州を盛り上げます

東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックに出場予定の信州ゆかりの選手たちの情報を積極的に発信し、みなさんとともに応援します。

地域に夢と希望を与えるスポーツチームやアスリートたちの活躍を、中継・ニュース・番組などで幅広く伝え、地域を元気にします。

新潟放送局

○ 県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に力を尽くします

地震や大雨、大雪、台風接近時は“ローカルファースト”を徹底し、県民に向けた防災・減災につながる情報をきめ細かく提供します。また、日本海側の地震で起きる津波は陸地に到達するまでの時間が短い場合が多いことなど、日頃から地域特有の防災情報を積極的に発信します。中越地震、中越沖地震など過去に県内で起きた災害の教訓も伝え続け、県民の防災意識向上、自治体や企業の対応強化につながるよう取り組みます。

○ 地域の課題を掘り下げ、改善に向けて役立つ情報を発信します

地域経済に深刻な影響を与える新型コロナウイルス、毎年2万人前後減少している県の人口、厳しさを増す自治体の財政、大詰めを迎える柏崎刈羽原子力発電所の再稼働や実効性が問われる避難計画など新潟県が直面する課題に向き合い、県民が改善に向けたヒントを得られるような情報の発信に努めます。コロナ禍で生きる人々に寄り添い、困難に立ち向かう取り組みを積極的に取り上げ、応援していきます。また、隣接県の放送局と協力した番組制作にも取り組み、県境を越えた交流人口の拡大に貢献します。

○ 地域の魅力やスポーツ選手の活躍を伝え、新潟の人々を元気づけます

新潟県の豊かな食材や美しい自然、ものづくりや伝統芸能を多角的に取材し、その魅力や奥深い世界を、4K・8Kの超高精細映像も駆使して紹介することで、産業の発展や自然保護、文化の継承に貢献します。また、1年延期された「東京オリンピック・パラリンピック」では聖火リレーや新潟県ゆかりの選手を積極的に取り上げます。サッカーJ1への復帰を目指す「アルビレックス新潟」やバスケットボール、高校野球、大相撲の郷土力士など多様なスポーツの話題を継続的に取り上げ、地域に元気を届けます。

○ 公平・公正な選挙報道で有権者の信頼に応えます

衆議院議員総選挙や県内3番目の人口を擁する上越市長選挙（任期満了日・2021年11月8日）など各種の選挙では地域の課題や争点など有権者の判断に資する公平・公正な情報を提供して選挙への関心を高めます。また、正確・迅速な開票速報を行うことで視聴者の信頼に応えます。

○ 地域に寄り添い、より親しまれる放送局を目指します

新潟局は11月に開局90年を迎えます。これにあわせて特集番組の放送やイベントを実施して、ステーションイメージの向上を図り地域での存在感を高めます。公共メディアとしてインターネットやソーシャルネットワークワーキングサービスによる情報発信にもさらに力を入れ、若い世代の接触率向上を目指します。ケーブルテレビ局や地元の外部機関との連携も深め、地域の人々とのつながりを強めます。

甲府放送局

○山梨の“いま”を見つめ“未来”を考える放送を届けます

山梨県は人口減少や過疎化に歯止めがかからず、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い基幹産業の観光をはじめ地域経済は深刻な影響を受けています。山梨県が直面する“いま”の課題にしっかり向き合うとともに、6年後のリニア中央新幹線の開業予定など交通インフラの充実で期待される効果や、コロナ時代で大きく変化することが予想される暮らしや価値観など、山梨の“未来”を県民とともに考えていきます。平日午後6時台、金曜午後7時台の地域放送番組の充実を図り、未来志向の放送に取り組むとともに、周辺地域と共通する課題・テーマについては、首都圏局や近接の地域放送局と連携して、多角的な情報、コンテンツをお届けします。また、国政選挙や県内の首長選挙の正確な取材と公平・公正な放送を通じて、山梨県や地域が抱える課題について考えていきます。

○ウィズコロナの時代に、県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くします

“災害の少ない県”と思われがちな山梨県での災害の危険性について、広く県民に理解してもらうとともに、地震や大雨、大雪などの災害時には、速やかにテレビ・ラジオ、データ放送・インターネットでのマルチ発信を行い、L字型画面を活用したきめ細かな地域情報の発信も行います。また、新型コロナウイルスの影響で模索が続く、災害時の避難の在り方など新たな防災・減災の動きを伝え、地域の防災力向上に貢献します。

○若い世代が元気になり、お年寄りが安心して暮らせる社会づくりに寄与します

山梨県の将来を担う若い世代の取り組みや課題を積極的に取り上げ、また、豊かな自然や歴史、文化などふるさとを見つめ直す情報・コンテンツを発信し、山梨の若い世代が地域に魅力と希望を感じ、元気になる社会づくりに寄与します。また、高齢化が進む中、お年寄りたちが安心して地域に長く暮らせるよう、医療や介護など地域の課題解決に向けた放送に取り組めます。

○1年延期となった「東京オリンピック」の競技開催地として、地元を盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」に出場する地元のアスリートの動向を丁寧に伝えるとともに、自転車ロードレースの会場となっている山梨県の地元の期待と課題、フランスなどのホストタウンとなっている自治体や住民の取り組みをきめ細かく伝え、開催に向けた機運を盛り上げます。一方で、異例の延期に伴う影響や、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策など、県内の動きを伝えていきます。

○視聴者との“つながり”を重視し、地域に親しまれ必要とされる放送局を目指します

「のど自慢」などの公開番組や、会館公開などさまざまなイベントを通じて地域や視聴者とのコミュニケーションを深め、親しみやすい放送局を目指します。また、超高精細映像の4K・8Kで山梨の魅力を掘り起こして全国・世界へ発信する取り組みや、インターネットでの情報発信にも力を入れた視聴者に役立つ情報を届ける取り組みを進めます。

2021年度 近畿地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

近畿地方の6つの地域放送局は、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、日頃から地域の安全・安心を支える拠点として、防災・減災に全力で取り組みます。災害時には、正確できめ細かな情報を、テレビ・ラジオ・インターネットそれぞれの特性を生かしながら迅速に伝えます。また、大阪拠点放送局は、首都直下地震などの非常事態に備え、本部代替機能の運用・実施体制を一層強化していきます。公共メディアとして、人々の命と暮らしを守り、信頼される情報の社会的基盤としての役割を果たします。

地域の課題にしっかりと向き合い、公平・公正で正確な、暮らしに役立つ情報を視聴者に届けます。新型コロナウイルス感染拡大防止や、ウィズコロナ時代に向けて、正しい情報や社会の動き、経済活性化の取り組みなど、幅広く取り上げ、地域社会の未来につながる情報を提供します。また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催など、関心が高いテーマを掘り下げたニュース・番組で、視聴者の期待に応えます。

近畿地方は、日本有数の経済圏を擁し、世界的な歴史・文化遺産や観光資源、スポーツイベント、独自の伝統文化・芸術など、多彩な魅力にあふれています。こうした地域の魅力を、良質なコンテンツとして、4K・8Kやインターネットなど、より最適な媒体を通じて、合理的なコストで全国・世界に発信します。さらに、「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される近畿のアスリートを番組や企画で応援します。

地元にとって“身近で役に立つ”放送局として、近畿地方向けのきめ細かい情報を、インターネットも適切に活用しながら発信するほか、地域の重要課題に向き合い、問題提起にとどまらず解決の一助となるようなキャンペーンを継続します。「新しいNHKらしさ」を追求し、視聴者から親しみと信頼を得る公共メディアを目指します。

《各局の重点事項》

大阪拠点放送局

- 正確・迅速な災害報道で地域を守ります
地域の安全・安心の拠点として、日頃から防災・減災情報を発信し、災害時には正確できめ細かな情報を、放送やインターネットで迅速に伝えます。近年、被害が甚大化・広域化している台風や豪雨、さらには多大な被害が想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、情報の社会的基盤として、命と暮らしを守る報道に取り組みます。
- 本部代替機能と西日本の拠点機能の充実に努めます
首都直下地震をはじめとする非常事態の際に、本部に代わって放送・サービスを維持できるよう、全国向けのニュースや番組などの情報発信を拡充します。また、ローカルニュースの一部2か国語放送についても継続します。そのほか、各放送局へのサポートを行うことで、西日本の拠点としての機能を向上させます。
- 公平・公正、正確・迅速な選挙報道に取り組みます
第49回衆議院議員総選挙（任期満了日・2021年10月21日）では、争点や地域への影響などを、わかりやすく丁寧に伝え、開票速報にも万全を期します。
- 身近な“知りたい”に応え、幅広い世代の視聴者にわかりやすく伝えます
新型コロナウイルス関連情報やウィズコロナ時代の暮らし、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催など地域の関心が高い身近なテーマを、機動的、多角的、継続的に取材し、幅広い世代の視聴者に役立つ情報として、わかりやすく伝えます。また、「関西子ども応援キャンペーン」を継続し、放送をはじめ、さまざまな視聴者コミュニケーションを通じて地域の課題に向き合い、解決の一助となることを目指します。
- 関西が誇る多様な魅力や日本各地の情報を地域へ、全国へ発信します
関西は、観光・グルメ、歴史・文化遺産、伝統芸能、エンターテインメントなど多彩な魅力にあふれています。現役世代にも訴求するさまざまなジャンルの番組作りに注力するとともに、放送だけでなくNHKプラスなども活用して、地域や全国の人々にその魅力を届けます。また、地域情報を発信する核となり、日本各地の多様な情報を全国に伝えます。
- スポーツの価値を最大化し、地域の活性化に貢献します
東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックに向けて、関西ゆかりの選手を積極的に取り上げ、地域を盛り上げます。また、ウィズコロナに対応しながら、高校野球や駅伝などのアマチュアスポーツのほか、地域に根ざしたプロ野球やサッカーJリーグのチームの活躍を伝えます。

京都放送局

- 京都府民の“生命”と“暮らし”を守るため、正確で迅速な情報を伝えます
新型コロナウイルスが世界中に拡大し、京都府でも日常生活に大きな影響が出ています。また、南海トラフ巨大地震では著しい被害が生じるおそれがあると指摘されています。さらに台風の直撃や集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れなどの被害も拡大しています。先行き不安が広がる中で、京都府民の“生命”と“暮らし”を新型コロナウイルス感染拡大や激甚化する自然災害等から守るため、IP中継、ロボットカメラ、河川水位情報、NMAPS（高度情報利用報道システム）などを駆使して報道を強化します。被災のおそれがある場合には、早期の警戒や避難を強く呼びかけます。また、シリーズ企画、L字型画面、インターネットなどあらゆる手段を通して、新型コロナウイルス感染拡大や防災・減災に役立つ情報を提供します。
- 地域に向き合い、活性化と発展に役立つ糸口を探ります
全国でもトップクラスの京都観光の今後の在り方、がんの免疫療法やiPS細胞をはじめとする最先端の医学・科学研究、東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ・文化の振興など、最新の社会の動きを丁寧に取材し、ニュースや番組、インターネットを通して発信し、地域の発展に貢献します。また、子どもを取り巻く問題、少子高齢化、伝統産業の衰退、北部を中心に深刻化する人口流出、隣接する福井県の原子力発電所の安全対策や避難計画、さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い変化した京都府民の日常生活など、地域が抱える課題を検証し、解決の糸口を探っていきます。
- 地域の健全な民主主義の発展に寄与します
衆議院・参議院の国政選挙をはじめ、京都府内の自治体の首長、議会議員選挙などに備えた態勢を整え、有権者の判断のよりどころとなる情報を多角的に提供していきます。また、選挙の争点、地域社会への影響などをわかりやすく解説し、公平・公正で信頼される選挙報道に万全を尽くし、地域の健全な民主主義の発展に寄与します。
- “京都”の魅力と普遍的価値を国内・世界に発信します
数多くの国宝、茶道や華道、和食、世界文化遺産など日本が誇る伝統文化の粋が息づく京都の魅力を行政や文化人、老舗の経営者などと連携して発掘します。文化庁の京都移転を見据え、日本文化の戦略的な発信拠点としての役割も期待されている“京都”が持つ普遍的な価値を、4K・8Kで制作したニュースや番組、インターネットやイベント等でマルチ展開し、国際的な発信も行います。
- 視聴者との結びつきを強め、身近で役に立つ放送局を目指します
220インチの大型スーパーハイビジョンディスプレイが設置されている「8Kプラザ」を活用した公開番組や、視聴者とのタッチポイントを増やすイベントを開催します。加えて、府内の市町村を巡って話題を掘り起こし、地域や視聴者との結びつきを強め、頼りになる公共メディアとしての存在感を高め、身近で役に立つ放送局を目指します。

神戸放送局

- 兵庫県の各地域のニーズに沿ったきめ細かな防災・減災報道に尽力します
災害の危険性が迫っていることをひと事ではなく自分のこととして捉えてもらえる防災・減災報道に努めていきます。県域が瀬戸内海側から日本海側まで広がり、多様な気候風土のもとに暮らす兵庫県の視聴者に地域の実情に沿ったきめ細かな情報を発信し、命を守る行動に役立ててもらえるよう万全を尽くします。
- 阪神・淡路大震災の教訓を継承し、現代に即した新たな課題にも向き合います
2022年1月で発生から27年が経過する阪神・淡路大震災。あの日を胸に、これからも震災の教訓を継承していく取り組みを続けていきます。また、毎年のように各地で大規模な災害が相次ぎ、新型コロナウイルスという新たな災厄にも見舞われる中、大震災を経験した放送局として、今の時代にどう向き合えばよいか、ヒントを探っていきます。
- 新型コロナウイルスに関する地域情報の発信強化を続けていきます
新型コロナウイルスの感染拡大防止やウィズコロナによる世の中の変化に関わる正確で役に立つ情報の発信に努めます。新型コロナウイルスの影響で地域社会が分断され、自分の身の回り以外のことが見えにくくなっている中で、公共メディア・NHKならではの広い視野と地域密着性をもとに情報発信を進め、地域に貢献します。
- 兵庫県知事選挙・神戸市長選挙の報道を通じて地域の課題を再検証します
兵庫県知事選挙（任期満了日・2021年7月31日）と神戸市長選挙（任期満了日・2021年11月19日）が行われる予定です。有権者の判断材料となる情報を公平・公正に伝えます。また、2つの注目選挙をきっかけに、地域の重要課題を再検証する企画などをあらゆる角度から発信していきます。
- 多様性に富む兵庫県の魅力や課題を各地域の目線で掘り起こします
兵庫県は県域が広く、多様性に富む分、同じ県内であっても別の地域の人には知られていない魅力や課題がまだまだたくさんあります。神戸、姫路、豊岡、淡路にある取材拠点を活用し、地域の魅力や課題を地域の目線で掘り起こし、身近で役に立つ公共メディアへの進化に努めます。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を地域から盛り上げます
2021年に開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される兵庫県のアスリートを番組や企画で応援します。また、オリンピック・パラリンピックイヤーであることを機に、兵庫県を本拠地にするスポーツチームなどの情報発信を強化し、地域の人たちにスポーツをもっと身近なものに感じてもらえるよう努めます。

和歌山放送局

○南海トラフ巨大地震に備えます

命と暮らしを守り、災害の犠牲者ゼロを目指す“守るプロジェクト”を引き続き展開します。平日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、防災・減災に関するニュースや情報を積極的に伝えます。FMラジオでは県内向けの防災番組を放送し、災害時のラジオ放送を通じた地域への情報発信に備えます。また、番組放送後には「らじる★らじる」で配信し、より幅広い人たちの防災への関心に応えることを目指します。

○災害への備えを進め、災害発生時の情報のマルチ発信を強化します

激しさを増す台風や局地的豪雨などの気象災害、および地震への対応を一層強化します。災害の発生が想定される際には、ニュースだけではなく、L字型画面やデータ放送、ホームページ、FMラジオなど、さまざまな方法で命を守る情報を伝えます。2021年は、和歌山県などに大きな被害をもたらした紀伊半島豪雨から10年の節目にあたります。被害の実態を次の世代に伝えるとともに、災害の教訓を今後にどう生かすか検証し、大雨洪水や土砂災害への警戒を呼びかけます。また、災害時に重要な情報発信手段となる県域FM放送を広く知ってもらうように努めます。

○和歌山県の抱える課題を掘り下げて伝え、県内外に広く発信します

若者の流出による労働力の減少、高齢化、新型コロナウイルスの生活への影響など、和歌山県が抱える課題を、平日午後6時台のニュース・情報番組などで掘り下げて伝えると同時に、課題解決に向けての自治体の取り組みやさまざまな声を幅広く紹介します。また、和歌山県に関連した番組を放送だけでなく、ホームページ、ソーシャルネットワークサービスなどで紹介し、県内外の視聴者への情報発信を強化します。

○正確で公平・公正な選挙報道に取り組みます

2021年度、県内10の市町で予定されている首長選挙や第49回衆議院議員総選挙（任期満了日・2021年10月21日）などの報道にあたっては、有権者の判断のよりどころとなる情報を正確に提供するとともに、正確・迅速な開票速報に万全を期し、公平・公正で信頼される選挙報道に取り組みます。

○地域のスポーツや文化を紹介し、応援します

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、出場する和歌山県ゆかりの選手の動きなど、関係する話題を幅広く取り上げ、県内の機運を盛り上げます。また、10月には「第36回国民文化祭・わかやま2021」が開催されます。世界遺産の高野山や熊野古道など和歌山県にある多くの文化的遺産、美しい自然環境などの魅力を全国に向けて発信します。そのほか平日午後6時台のニュース・情報番組では、さまざまな分野で活躍する地元の人々を紹介し、地域のスポーツや文化の発展につなげます。

奈良放送局

○奈良の課題と向き合い、安全・安心に役立つ情報を迅速に伝えます

平日午後6時台のニュース・情報番組は、コロナ禍で生活も仕事も根底から変化を迫られる中、不安にへえ暮らしに役立つ情報を中心に放送します。影響が大きかった観光業をはじめとする基幹産業の生き残りをかけた動き、介護・福祉など地域の課題を深掘りして伝え、その解決に寄与することを目指します。視聴者の関心の高い気象情報はデータの活用を進め、わかりやすく伝えるとともに、災害時には正確できめ細かな情報を迅速に発信します。2011年の紀伊半島豪雨から10年の節目となることから、今に生きる教訓や残された課題を多角的に伝えます。

○奈良の歴史と伝統文化を超高精細映像で記録して全国・世界に発信します

奈良局独自の工夫で取材から制作までを一貫して行う“SHVプロジェクト”を軌道に乗せ、世界遺産や数々の国宝・重要文化財、知られざる貴重な自然など、国内外から注目される奈良の魅力を4Kや8Kで取材・制作します。地上波、BS、国際放送とさまざまな放送波に乗せて奈良の魅力を届けます。また、新会館の視聴者公開スペースに設置された8Kの大画面を活用した視聴者サービスを拡充します。4Kや8Kで蓄積した映像資産の活用も図っていきます。

○奈良市長選挙などで有権者の判断に資する選挙報道を行います

奈良市長選挙（任期満了日・2021年7月30日）をはじめ、市町村の首長選挙報道では、各候補の主張や地域の課題と対策などの動きを詳しくタイムリーに伝えます。また10月に任期満了となる次の衆議院議員総選挙では、放送やインターネットで公平・公正で正確な情報を発信し有権者の判断に資する報道を行います。

○地域のスポーツを応援します

コロナ禍で延期された「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、再始動する聖火リレーや県内の関連の動きを詳しく紹介します。特に奈良にゆかりのあるアスリートを重点的にニュースや番組で取り上げ、応援の機運を盛り上げます。奈良に拠点を置くバスケットボールやサッカーのチームを中心に、地域のスポーツを継続的に取材し積極的に応援します。

○放送とインターネットの連携によって発信力を強化します

平日午後6時台のニュース・情報番組のホームページをより見やすくするほか、放送と連動した特設ページを充実させます。台風接近時や災害発生時は、奈良県や隣接する府県のきめ細かな情報を発信することに加え、暮らしに与える影響が大きい場合にはライフライン情報を集約する態勢を整え、ラジオやインターネットなどそれぞれの特性を生かして視聴者が知りたい情報を届けます。より多くの方に接触してもらえる“公共メディア”として、いつでも身近で役立つ放送局を目指します。

大津放送局

- 滋賀県民の命と暮らしを守る報道で、地域の安全・安心の拠点となります
全国各地で台風や豪雨、記録的な猛暑などによる被害が相次ぎ、滋賀県でも災害への備えは非常に重要になっています。琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震では、震度7の揺れが想定され、南海トラフ巨大地震では県内でも多くの犠牲者が出ると試算されています。災害に備え、滋賀県民の生命と財産を守るための情報を丁寧に取材し、テレビ、ラジオ、インターネットなど多様なメディアで伝え、安全・安心の拠点としての役割を果たします。
- 地域が抱える課題を掘り下げ、滋賀県民に身近で役立つ情報を丁寧に伝えます
新型コロナウイルスへの対応、子育てや介護、少子高齢化、琵琶湖の環境問題や農林水産業の担い手の不足、観光振興など、地域のさまざまな課題に向き合い、問題提起から解決につながるヒントまで深く掘り下げます。県民の暮らしに役立つ情報を丁寧に取材し、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組などで取り上げることで、視聴者の期待に応えます。
- 滋賀県の多彩な魅力を広く全国に発信します
歴史ある文化財や伝統行事、四季折々の美しい自然、母なる湖・琵琶湖の恵みを生かした健康長寿の食文化など、滋賀県の多彩な魅力を、広く発信します。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」や地域のスポーツの話題を積極的に紹介します
「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元のアスリートを積極的に取り上げます。また滋賀県内で注目度の高いバスケットボールBリーグ「滋賀レイクスターズ」をはじめとしたプロスポーツや、アマチュアスポーツ、障害者スポーツをニュース・情報番組で幅広く発信し、地域のスポーツ振興に貢献します。
- 新会館への移転を契機に、より地域に開かれた放送局を目指します
2021年4月のオープンを契機に県域放送の内容をより一層充実させるとともに、番組の公開収録やイベント、8Kの受信公開などを通して、視聴者とのコミュニケーションを活性化させ、地域に開かれた放送局を目指します。

2021年度 中部地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

中部地方には、歴史や文化・地理的にも大きく異なる特色をもつ東海と北陸地方があります。7つの放送局がネットワークを最大限に生かすことで、この地域ならではの魅力を広く発信するとともに、多様な地域特性に応じた放送やサービスを充実させます。地域の課題と真摯（しんし）に向き合い、信頼される“情報の社会的基盤”としての役割を果たします。

中部地方は、台風や大雨などによる大きな自然災害に繰り返し見舞われてきました。南海トラフ巨大地震では東海地方でも甚大な被害が予想されています。地域の人たちの命と暮らしを守るため、テレビやラジオ、インターネットなどそれぞれの媒体の特性を生かし、防災・減災につながる正確できめ細かな情報を発信します。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は、地域の人たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。確かな情報を伝えることで感染の拡大防止に努めつつ、急速に変容する地域社会のいまを見つめ、今後を見通すコンテンツの制作に取り組みます。

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けては、中部地方ゆかりのアスリートや聖火リレーの様子を取り上げます。2022年2月には「北京オリンピック・パラリンピック」も予定されています。夏と冬のスポーツの祭典を地域から盛り上げ、その魅力を積極的に伝えます。

さらに、経済や医療、教育などさまざまなテーマから地域社会の課題に迫る番組、独特の文化や歴史・風土によって育まれてきた地域の魅力を多角的に伝える番組、4Kの超高精細映像で中部地方のダイナミックな自然を圧倒的なスケールで描く番組、エンターテインメントやスポーツ番組など多彩で質の高いコンテンツを発信し、地域の人たちの期待に応えます。

《各局の重点事項》

名古屋拠点放送局

○ 地域の人々の命と暮らしを守るため、正確な情報を迅速に届けます

東海地方は、南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定されているほか、巨大台風や記録的な大雨などにより繰り返し大きな自然災害にさらされてきました。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大というこれまで経験したことのない脅威にも直面しています。地域の人たちの命と暮らしを守るため、防災・減災や感染拡大防止につながる情報の発信に積極的に取り組みます。災害発生時には、ライフラインなどの“そのとき、本当に求められている”情報を、テレビやラジオ、インターネットなど、それぞれのメディアの特性を生かして正確・迅速に、きめ細かく届けます。

○ 多様化する地域の課題に向き合い、地域社会に貢献します

平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組を中心に、多様化する地域の課題と向き合い、解決への道筋を探ることで地域社会に貢献します。新型コロナウイルスの影響や防災・減災、地域経済の活性化や教育・医療など関心の高いテーマをタイムリーに取り上げ、さまざまな視点から伝えます。選挙報道では、有権者の判断のよりどころとなる公平・公正で正確な情報の発信に万全を期します。また、将来を担う子どもたちを社会全体で守り育てていくための課題に継続的に取り組むほか、国内・海外のニュースを地域の視点から読み解く試みにも積極的にチャレンジしていきます。

○ 地域のスポーツを応援し盛り上げます

東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックでは、地元ゆかりのアスリートへの期待や活躍を伝えます。また、プロ野球「中日ドラゴンズ」やサッカーJリーグ「名古屋グランパス」など地元チームの試合を中継するほか、ニュース・情報番組などでもスポーツの話題を積極的に取り上げ、地域を盛り上げます。

○ 多彩なジャンルの番組で地域の魅力を発信します

独特の文化や歴史、ダイナミックで豊かな自然の知られざる姿など、地域の持つ多様な魅力を取り上げ、幅広く発信します。エンターテインメントやドキュメンタリーなど多彩なジャンルの質の高いコンテンツを制作し、地域の視聴者の期待に応えます。

金沢放送局

○ 地域の人々をつなぎ、親しみと信頼を感じてもらえる放送局を目指します

平日午後6時台、金曜午後7時台の地域放送番組などを通じ、視聴者が知りたい情報や話題を掘り下げて伝えます。番組やイベントなどで地域の視聴者を結びつけ、より親しみを感じてもらえる企画に取り組みます。また、第49回衆議院議員総選挙（任期満了日・2021年10月21日）をはじめとし、石川県知事選（任期満了日・2022年3月26日）、8市町の首長選挙も予定されています。選挙報道にあたっては公平・公正・正確・迅速な放送に尽力し、有権者の判断のよりどころとなる情報の提供に努め、地域の視聴者の信頼と期待に応えます。

○ 地域の課題に正面から向き合い、視聴者の“安全・安心”に貢献します

新型コロナウイルスの感染拡大によって、わたしたちの暮らしも大きく変わろうとしています。そうした社会の動きを踏まえ、公共メディアとしてさまざまな伝送路を使って地域の人々の命と暮らしを守る防災・減災情報を届けきることに努めます。また、人口減少や高齢化、医療・福祉、経済格差など、県民の関心が高い話題について、継続してニュースや番組で多角的にわかりやすく伝え、視聴者とともに地域の課題に向き合っていきます。

○ 石川・北陸の魅力を全国・世界に発信していきます

石川の誇るべき伝統工芸や美しい自然を4K・8Kで紹介し、地域の魅力を改めて見つめ直してもらうとともに、北陸3県での連携を深め地域の歴史や食、伝統文化を北陸域内のみならず、全国・世界に発信していきます。また、「東京オリンピック・パラリンピック」に出場する石川県にゆかりのある選手の動向を中心に、大会に関連した情報を幅広く紹介して、地域から盛り上げます。同時に大相撲の郷土出身力士やサッカーJリーグ「ツエーゲン金沢」、高校野球など、地域のスポーツを積極的に取り上げ“ウィズコロナ時代”のスポーツや、それを応援する人々の情報を発信していきます。

静岡放送局

- 県民の命と暮らしを守るため、安全・安心を届ける報道に全力で取り組みます
新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、安全・安心を届ける情報の社会的基盤、かつ地域の防災・減災情報の発信拠点として、全力で取り組みます。特に南海トラフ巨大地震や富士山噴火、さらに、近年被害が大きくなりつつある台風や集中豪雨に備えて、引き続き体制強化に努めます。南海トラフ巨大地震については、自治体の防災計画策定などの動きや課題、最新の知見を丁寧に伝え、ふだんから県民の防災意識の向上を図るとともに、いざというときの、迅速な避難の呼びかけなど“命を守る”放送やサービスに取り組みます。台風などの災害報道に際しては、公共メディアとしてインターネットを含めた、さまざまな媒体で情報を発信し、とりわけ減災報道に努めます。
- 開局90年を機に、より一層地域に信頼され、必要とされる放送局を目指します
静岡放送局は2021年3月に開局90年を迎えます。より多くの視聴者に、親しみを持ってもらえるような多彩な番組の編成や、イベント展開に取り組みます。静岡県に暮らす人々の生活スタイルやコミュニケーション形態も大きく変容しています。これまで以上にきめ細かな情報を発信し、放送だけにとどまらず、デジタルコンテンツも積極的に活用して、地域サービスの向上に努めます。多様なニーズに応じたタッチポイントを展開し、地域をつなぐ“ハブ”の役割を果たすことを目指します。
- 地域の課題や魅力に焦点を当てた番組を制作し、地域社会に貢献します
リニア中央新幹線建設や新型コロナウイルス、教育、共生社会、多様性など、地域の課題と丁寧に向き合います。平日午後6時台のニュースのシリーズ企画や、金曜午後7時台の地域放送番組で問題を多角的に深掘りし、解決の糸口を探ります。また、東西に広く、自然豊かな静岡県の風土や文化、歴史、人々の暮らしなど、地域の魅力を伝えるニュースや良質な番組を制作します。さらに、4Kカメラ搭載ヘリコプターなどを活用して、4K・8K番組を制作し、全国・世界に向けた地域発信を一層強化します。
- “東京2020”で地元選手や地域の取り組みを応援します
静岡県では「東京オリンピック・パラリンピック」の自転車競技が行われます。地元でトレーニングに打ち込む選手と支える地域の人々、運営ボランティアの取り組みなど、競技が行われる静岡県ならではのニュースや番組を放送します。そのほかの競技でも静岡県ゆかりの選手が多数参加し活躍が期待されることから、地域とのつながりや盛り上がりを継続して伝え、選手とふるさとを応援します。東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックに向け、スポーツのビッグイベントが地元にもたらす経済的な効果や、将来に向けたスポーツ振興、選手育成の取り組みなどを継続的に取材します。

福井放送局

- 北陸新幹線県内延伸に向けてさらなる地域放送の充実を図ります
北陸新幹線（金沢―敦賀間）の開業に向けた動きとともに、人口減少や経済、観光振興といった地域の課題など県民の関心が高いテーマを積極的に取り上げていきます。平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の番組の両輪で、金沢放送局や富山放送局とも連携しながら、地域放送のさらなる充実を図ります。また、福井の美しい自然や豊かな文化など、NHKならではの多彩な内容を放送していきます。
- 「新しいNHKらしさ」に向けた取り組みを進め地域に寄り添う放送局を目指します
地域に根ざした放送局としての新たなサービスの提供を目指し、その一環として、全国的にも知名度の高い地元のチアリーダーチームと連携し、福井の人々への応援を通して地域を元気づけていきます。放送に加えイベントやホームページ、ソーシャルネットワーキングサービスなどあらゆるメディアで展開し、地域に寄り添う放送局を目指します。
- 地域で暮らす外国人にとっても信頼できる公共メディアを目指します
福井県で暮らす外国人は約1万5千人で、県内の工場で働くブラジル人やベトナム人が多くを占めています。こうした外国人に対し、自治体が進める多文化共生の取り組みを放送で取り上げるとともに、福井放送局のホームページの多言語化なども進めながら、防災をはじめ、教育や医療などさまざまな分野の情報を外国人に発信し、地域で暮らす外国人にとっても信頼できる公共メディアを目指します。
- 地域の安全・安心を守るため災害・緊急報道に全力を尽くします
近年は大型台風や記録的な大雪、各地で頻発する地震など、福井県内でも自然災害が発生する可能性が高まっています。地域の人たちの命と暮らしを守るため、ロボットカメラやIP中継などを駆使して迅速な情報伝達に努めます。また、テレビやラジオ、インターネットなどそれぞれの媒体の特性を生かしながら緊急報道に取り組みます。さらに防災をテーマにしたラジオ特番などを通じて、防災・減災につながる情報を積極的に発信していきます。
- 国内最多の原子力発電所が立地する福井県。現状や課題を丁寧に伝えていきます
再稼働している発電所や廃炉に向けて作業が進む発電所、さらに再稼働に向けて地元の同意が焦点の運転40年超の発電所など、国のエネルギー政策を反映する施設の課題や現状について、地元の動向も含めてきめ細かく伝えるとともに、最新の情報をわかりやすく伝えていきます。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」の福井ゆかりの選手を取り上げ盛り上げます
「東京オリンピック・パラリンピック」に向けては、福井にゆかりのあるアスリートや聖火リレーの様子を取り上げます。また、県内でホストタウンになっている地域の様子も丁寧に伝え、大会のムードを盛り上げていきます。

富山放送局

○ 情報発信の拠点となり、地域に愛される放送局を目指します

2022年に予定されている新放送会館への移転を控え、“地域のハブ”としての役割を果たします。視聴者の関心が高い政治・経済・文化などについてこれまで以上に詳しく伝え、ソーシャルネットワーキングサービスを活用しながら幅広い世代とのタッチポイントを創出します。また、放送とイベントを連動させながら、富山県の新しい時代をひらくキャンペーンを展開していきます。

○ 富山県の未来を見据え、課題に真摯（しんし）に向き合います

少子高齢化や子どもの貧困、地域産業の担い手不足など、富山県が直面している問題をさまざまな角度から掘り起こし、平日午後6時台の放送で伝えていきます。また、北陸ブロックでの放送を強化し、地域の“知りたい”に正面から応え、信頼される番組を制作します。

○ 災害時の緊急報道に全力を尽くし、地域の“安全・安心”な暮らしを守ります

集中豪雨・台風や呉羽山断層帯による地震などに備え、防災・減災に役立つ情報をきめ細かく報道し、災害への意識を高めます。発生時には公共メディアとして命を守る緊急報道を的確・迅速に行います。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、見えない脅威に不安を抱える地域の人々の心に寄り添い、正確な情報を発信し続けることで、公共メディアとしての役割を果たしていきます。

○ 富山県にゆかりのあるスポーツ選手を応援し、地域に元気を届けます

富山県出身者として111年ぶりに大関昇進を果たした朝乃山をはじめ、海外で活躍する八村塁選手やバスケットボールBリーグ「富山グラウジーズ」の奮闘に、県内から大きな期待が寄せられています。注目の試合の結果を、地域放送番組でしっかりと伝えます。「東京オリンピック・パラリンピック」に向けては、県ゆかりのアスリートや県内を走る聖火リレーについて積極的に取り上げ、機運を高めます。

○ 富山県の豊かな自然や歴史ある文化を、超高精細映像で記録・放送します

立山連峰・富山湾に代表される豊かな自然や伝統文化・歴史など、“地域の宝”を4K・8Kで記録し、全国・世界に向けて発信します。また、貴重な映像資産として次世代に継承していきます。

○ 正確・迅速な選挙報道に万全の態勢で臨みます

2020年の富山県知事選挙では24年ぶりに投票率が6割を超えるなど、選挙への関心が高まる中、2021年度は富山市長選挙（任期満了日・2021年4月23日）など県内5つの自治体で首長選挙が予定されています。生活者の目線に立ち、選挙の争点や候補者の訴えのほか、若い世代に選挙の仕組みをわかりやすく伝え、有権者の判断に資する情報を正確・迅速に伝えます。

津放送局

○ 県民の命と暮らしを守るための防災・減災報道に取り組みます

近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震は三重県内に甚大な被害をもたらすことが想定され、大きな被害をもたらす台風や集中豪雨も少なくありません。大規模災害に備えて日頃から防災・減災への意識向上につながる情報の発信に取り組みます。災害発生時にはテレビやラジオ、インターネットをそれぞれの特性にあわせて効果的に活用して避難情報や河川水位の情報などをきめ細かくそして迅速に伝え、県民の命と暮らしを守ります。

○ 地域が直面する課題や問題を掘り下げ視聴者の期待に応えます

新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受け、これまで我々が経験したことのないスピードで社会や経済が変容してゆく中、平日午後6時台のニュース・情報番組やソーシャルネットワーキングサービスなどで感染拡大防止や最新の取り組みについて広く伝え、安全・安心を求める地域社会に貢献します。また、少子高齢化が進む三重県が直面する課題や社会の動きなど地域の今をわかりやすく伝え、日頃見落とされがちな問題を積極的に発掘して一つ一つ掘り下げて視聴者の期待に応えます。さらに選挙報道では、有権者の判断に資する情報を公平・公正に伝え、正確・迅速な報道に万全を期します。

○ 三重県の魅力を再認識できる番組を全国に発信します

金曜午後7時台を中心に、文化や伝統・自然など地域の魅力を再認識する番組を積極的に展開します。また、貴重な生物や多様な自然環境、四季折々に違った表情を見せる風景などを4K・8Kの超高精細映像で撮影し、全国に発信します。太平洋島嶼（とうしょ）国など19か国が参加する「第9回太平洋・島サミット」開催地として注目される伊勢・志摩地域の豊かな自然や文化も伝えます。

○ 地元のスポーツを応援し、地域の活性化に貢献します

「東京オリンピック・パラリンピック」では、県内を走る聖火リレーをきめ細かく伝えるほか、三重県ゆかりのアスリートや関係者をさまざまな視点から取り上げて「東京大会」の機運を地域から高めます。また、9月から10月に三重県で開催される第76回国民体育大会「三重とこわか国体」、第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」を積極的に取材し、開催地三重を盛り上げます。さらに、野球・サッカー・大相撲など地元チームやアスリートを継続的に取り上げ、スポーツを通じて地域の活性化に貢献します。

岐阜放送局

○岐阜県の人々の暮らしを守る報道や情報発信に全力で取り組みます

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、平日午後6時台の県域ニュース・情報番組では、ウィズコロナ時代を生きる中で、岐阜県内および周辺地域での生活に役立つ情報をわかりやすく丁寧に伝えます。大きく変化する社会の動きを追いかけ、それに伴う課題も取り上げていき、視聴者の関心に的確に答えていきます。引き続き、地域に密着した番組や県内各地で開催するイベントを通じて、より親しみのある放送局を目指していきます。

○地域の安全・安心のため災害・減災報道に全力で取り組みます

河川が多い岐阜県は豪雨災害のリスクが高く、令和2年7月豪雨では、岐阜県にも大雨特別警報が発表され、飛騨川を中心とする河川の氾濫や土砂災害などに見舞われました。また、内陸直下型地震を引き起こすおそれのある大規模な活断層も各地に多く存在しています。それらを踏まえ、岐阜放送局では県民の安全・安心のために、日常的に潜むリスクにも日頃から警鐘を鳴らす報道を心がけ、大規模災害に備えた取材・放送体制をより強化していきます。また、地震や台風などの災害時には迅速に態勢を整え、防災・減災に役立つ情報を届けます。

○公平・公正な選挙報道に万全を期します

衆議院議員総選挙では、選挙関連の情報や争点を有権者の判断に資するようわかりやすく伝え、若い世代の動向もきめ細かく取材し、公平・公正で的確な報道を行います。

○岐阜県の文化・スポーツを応援し、地域を豊かで元気にします

岐阜県には、ユネスコ無形文化遺産「本美濃紙」や飛騨の木工をはじめとする地場産業があり、伝統を守りつつたゆまず新しいものを生み出していますが、それらを取り上げることで文化の継承・発展に寄与します。また、航空機産業やスーパーカミオカンデをはじめとする航空宇宙分野での研究の最新動向をつかみ、わかりやすく伝えていきます。そのほか、「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」が岐阜県で初めて開催されるのを受け、その様子をきめ細かく取材し、地域に元気を届けます。1部リーグへの昇格が決まった女子ソフトボール「大垣ミナモ」やJ2昇格を目指すサッカーJリーグ「FC岐阜」、高校野球などの話題も幅広く取り上げ、岐阜県のスポーツのさらなる活性化に寄与します。

2021年度 中国地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

中国地方の5つの地域放送局は、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を、正確かつ迅速に提供します。2018年の西日本豪雨災害の教訓を忘れず、南海トラフ巨大地震など巨大災害を想定した広域の連携・支援体制の構築を進めるなど、“公共メディア”としてあらゆる手段を駆使して、防災・減災につながる情報発信に取り組みます。

地域経済の活性化や人口減少、新型コロナウイルスの最新状況など共通課題について、5つの放送局のネットワークを生かして、ブロック放送で解決の糸口を探り、地域で頑張っている人たちを応援します。また、デジタルツールを用いて記憶に残る5県の出来事をひもとき、新たな地域ジャーナリズムに挑戦します。

被爆地・広島から全国、そして世界に向けて核兵器廃絶と平和のメッセージを積極的に発信します。被爆76年となり、被爆者の高齢化が一層進む中、さまざまな手法を活用して被爆体験の継承に取り組みます。

2021年に開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す中国地方ゆかりのアスリートを取り上げるとともに、地域に根ざしたスポーツの情報をきめ細かく伝え、視聴者の関心に応えます。

中国地方各地に残る伝統的な文化や芸術、豊かな自然を超高精細映像で記録し、未来に伝えます。また、こうした映像資産を広島放送局の8Kスーパーハイビジョンシアターや各放送局の8Kモニターで地域の視聴者に伝えるとともに、全国に発信します。

《各局の重点事項》

広島拠点放送局

- “公共メディア”として、地域の安全・安心の拠点となります
激甚化する自然災害から人々の生命と財産を守るため、正確で迅速な報道に努めます。2018年に甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害の教訓を忘れず、放送やデジタルツールなどあらゆる手段を駆使して、地域の安全・安心の拠点としての使命を果たします。また、西日本の拠点放送局の一つとして、南海トラフ巨大地震など巨大災害を想定した広域の連携・支援体制の構築を進めます。
- 核兵器廃絶に向けて、広島から世界に平和への思いを伝えます
核兵器禁止条約が2021年1月に発効しました。被爆地にある放送局として、核兵器の恐ろしさや廃絶への訴えを、広島から全国・世界に向けて発信します。また、被爆76年となり、被爆体験の風化が一層進んでいます。デジタルツールなどさまざまな手法を用いて、次世代への新たな継承の形を模索し続けます。
- 地域の課題や魅力に迫る番組で、視聴者の関心に応えます
地域経済の活性化や人口減少、新型コロナウイルスの最新情報など中国地方が抱える共通の課題についてさまざまな視点から迫り、解決の糸口を探ります。また、ソーシャルネットワーキングサービスを用いて中国地方各県の出来事をひもとく番組など、域内の拠点として地域の魅力を掘り下げ、全国・世界に向けて発信します。県域放送では、ニーズに応じた話題を取り上げるとともに、豊かな自然や地域ゆかりの文化を伝え、県民の関心に応えます。
- 広島県のスポーツを応援し、地域を盛り上げます
「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、地元ゆかりのアスリートを積極的に取り上げます。聖火リレーが広島県を訪れる際には、地域の盛り上がりを伝えます。また、プロ野球「広島カープ」をはじめ、サッカーJリーグ「サンフレッチェ広島」やバスケットボールBリーグ「広島ドラゴンフライズ」などのスポーツ中継やニュースをきめ細かく伝え、地域のスポーツ振興に貢献します。
- 選挙報道に万全の態勢で臨みます
広島県知事選挙（任期満了日・2021年11月28日）など、各種選挙報道に万全の態勢で臨みます。

岡山放送局

○防災・減災報道に全力で取り組みます

台風、豪雨、地震などの激甚化する自然災害に対し、早期から正確な情報を迅速に届け、地域の人々の命と暮らしを守る緊急報道に全力で取り組みます。岡山放送局が地域の災害報道のハブになり、県内ケーブルテレビ各社等とノウハウを共有するなどの連携を進めることで、よりきめ細かく地域に密着した情報発信を実現させます。また、2018年の西日本豪雨災害で被災した地域の取り組みを継続して伝えます。

○地域に寄り添い、信頼と親しみの持てる放送局を目指します

県内の魅力や課題を多角的に深く掘り起こし、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組を中心に、丁寧に発信することで“地域社会の活性化、課題解決”に貢献します。特に新型コロナウイルスについては“いま”の状況と今後の備えについて、正確で有益な情報発信に努めます。また、選挙報道では民放各社と連携し、有権者の判断に資する情報を放送・インターネットを通じて正確・迅速に提供します。さらに、香川県とは地域間のつながりが強いことから、引き続き高松放送局と連携して多彩な情報発信に取り組むとともに、コンテンツ開発のさらなる可能性を探り、地域放送の充実を目指します。

○地元アスリートや地域のスポーツを盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」では、岡山県ゆかりのアスリートを取り上げ、大会を地域から盛り上げるとともに、大会での活躍を地元視点で丁寧に描き、世界的規模のスポーツのダイゴ味を幅広い世代に伝えます。また、サッカーJリーグ「ファジアーノ岡山」、女子バレーボールVリーグ「岡山シーガルズ」、卓球Tリーグ「岡山リベッツ」など、県民の関心が高いスポーツの話題・情報を積極的に伝え、スポーツを通じて地域の活性化に貢献します。

○県内の豊かな風土・歴史・文化を超高精細映像で記録するコンテンツ制作を進めます

4Kでの取材・制作のノウハウを生かし、これまで以上に機動的にコンテンツ制作を行います。また8K、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）等の先端技術の理解を深め、岡山県の豊かな風土・歴史・文化の魅力をより詳しく伝えることができる映像コンテンツ開発を目指します。

○放送とインターネットを通して世代幅広く・豊かに地域情報を発信します

岡山放送局が発信するソーシャルネットワーキングサービスを情報豊かな視聴者との接点に育て、幅広い層の視聴者に県内のさまざまな情報を届けます。また、県内の一部が舞台となる2021年度後期の連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」を中心に、放送とデジタルツール、イベントとの効果的な連動を推進し、高まる地域の関心に応え、地域を元気にします。

松江放送局

○ 地域に“安全・安心”を届けます

地震、台風、大雨などの自然災害に備えて、日頃から防災・減災報道に力を注ぎます。災害時にはテレビ・ラジオ・インターネットなど、あらゆる手段を用いて迅速に情報を伝え、地域の人々の命と生活を守ることに徹します。新型コロナウイルス関連についての情報を常に発信し、その対策や“アフターコロナ”を踏まえた動きを伝えます。さらに、全国で唯一県庁所在地にある松江市の島根原子力発電所について、避難計画など安全確保への取り組みを伝えます。

○ 地域の課題を見据え、“未来”をともに考えます

人口減少が続き高齢化が進む一方で、外国人労働者が増加するなど、地域の動向を見据えたニュース取材や番組に一層、力を入れていきます。鳥取放送局とも連携しながら、山陰地方に共通する、人口減少への取り組みや外国人との共生などの課題に向き合い、新しい時代への胎動を取り上げます。さらに地域で活動する人々とともに、将来を考え、地域を元気にする番組作りに取り組みます。

○ 美しい“ふるさと”を全国に伝えます

神話の里であり、「石見神楽」や「隠岐」など、豊かな自然や独自の文化を育んできた島根県の魅力を、衛星放送、4Kなどを通じて、全国・世界に向けて発信していきます。

○ “オリンピック・パラリンピック”とスポーツで地域を盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた地元アスリートや関係者の取り組みや思いを取材し、ニュース・番組で伝えます。また5月の聖火リレーを詳細に伝えるほか、「東京オリンピック・パラリンピック」が地域にもたらす影響を検証します。高校野球やバスケットボールBリーグ「島根スサノオマジック」をはじめスポーツの取材にも力を入れ、地域を応援します。

鳥取放送局

○ 県民の命と暮らしを守る情報を伝えます

台風・大雨・地震などの自然災害に加え、新型コロナウイルスという新たな不安が、鳥取県にも押し寄せています。これまで以上に確かな情報を求める県民の期待に応えるために、安全・安心につながる情報をきめ細かく発信します。2000年の鳥取県西部地震、2016年の県中部で起きた地震で学んだ教訓や時間の経過とともに生じた課題を伝えます。また、島根原子力発電所の安全性や事故対応、行政が策定した避難計画や訓練なども継続して検証しながら、鳥取県の安全を守り、防災・減災に役立つ報道に一層力を入れて取り組みます。

○ 鳥取県の課題を掘り下げ、未来をともに考えます

人口減少や高齢化、新型コロナウイルスの地域経済への影響など、先行き不透明な課題が山積しています。平日午後6時台のニュース・情報番組、金曜午後7時台の地域放送番組でタイムリーな情報を発信し、シリーズ企画等で継続的に取材・制作することで、地域の将来を考える番組制作に力を入れます。また、自然や豊かな恵み、地域で大切に受け継がれる伝統文化や歴史など、誇りを持てるふるさとの財産を再発見します。

米子市長選挙（投票日：2021年4月18日）など、選挙報道に万全を期し、正確・迅速な報道で県民の信頼に応えます。

○ 開局85年の地域局として、地域に寄り添う番組の充実に努めます

1年を通じて開局85年を記念する番組を制作し、地域の放送局としての存在感を高め、活性化に貢献します。

鳥取県と特に地域間のつながりが強いのが島根県です。経済や高齢化などの社会問題をはじめ、県民が関心を寄せる課題には多くの共通点があります。自然や歴史・文化も“山陰地方”として見つめ、松江放送局との連携を積極的に行うことで、地域の課題解決や多彩な魅力の発信に貢献します。

○ 「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、さまざまな挑戦を伝えます

大会を目指す鳥取県ゆかりのアスリートの活躍や5月に県内を巡る聖火リレーも丁寧に伝えます。あわせて、大相撲やサッカーJリーグ「ガイナレ鳥取」など県民の関心が高いスポーツを中心にニュースなどで伝え、地域を盛り上げます。

○ “公共メディア”として情報発信の充実

ホームページ・ソーシャルネットワークサービスを活用した動画配信や、データ放送・インターネットを利用した双方向サービスの充実を図ります。また、地震・豪雨・豪雪に備え、日頃から訓練を重ね、被害状況・ライフライン情報など、県民の知りたい情報を的確・迅速に伝える体制を強化します。

山口放送局

- 災害から地域の人たちの命と暮らしを守る情報をいち早く伝えます
大地震や津波、台風、大雨などの自然災害から地域の人たちの命と暮らしを守るための防災・減災報道に総力を挙げて取り組みます。テレビ・ラジオ・データ放送・インターネットなど持てる手段を最大限活用します。過去の災害も教訓に、災害が発生する前の早い段階から警鐘を鳴らす情報提供にも全力を挙げます。
- “開局80年” 地元を応援します
開局80年にあわせ“その一歩に、エールを。”というキャッチコピーのもと、地元へ貢献する放送を目指します。県内の美しい自然や豊かな歴史・文化などを見つめ直し、特集番組を放送して山口県の魅力を地域と全国に積極的に発信します。
- 日本や社会全体が直面する課題に向き合い、地域に寄り添う放送に努めます
新型コロナウイルス感染状況の最新情報をいち早く伝えるとともに、感染防止のための取り組みや、コロナ禍が地元経済や人々の暮らしに与えた影響、コロナ禍を克服しようとする地域や人々のさまざまな取り組みを伝えます。また、急速に強化が進む岩国基地を巡る動きを騒音など地域の課題と安全保障情勢の両面から伝えます。さらに、上関原子力発電所の建設計画や、人口減少・若者の県外流出などの各地が抱える共通の課題にも向き合い、解決のヒントとなる情報の発信に努めます。
山口県知事選挙（任期満了日・2022年2月22日）など、選挙報道に万全を期し、正確・迅速な報道で視聴者の期待と信頼に応えます。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」などスポーツを通じて地域を見つめます
新型コロナウイルスの影響で延期開催となった「東京オリンピック・パラリンピック」。コロナ禍の困難な中で大会に出場する郷土ゆかりの選手の活躍に加え、選手を支える人たちや応援する人たちなどを取材し、地元の息遣いを伝えます。県内で行われる聖火リレーも詳しく伝えます。また、高校野球やサッカーJリーグ「レノファ山口」など、地域で関心が高いスポーツをニュースや中継などで積極的に伝えます。
- 高い映像技術を通じて地域の視聴者に感動をもたらす放送局を目指します
開局80年にあわせ、山口県出身の著名芸術家の創作活動を8Kで撮影し、超高精細映像を山口放送局の大型モニターで一般公開するほか、地上波などの放送でも紹介します。NHKが誇る高い映像技術を駆使し放送とイベントを融合させた取り組みを通じて地域の視聴者に感動をもたらすサービスを目指します。

2021年度 九州沖縄地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

九州沖縄の9つの放送局は、ネットワークを生かし、正確、良質で多様なコンテンツを提供します。地域から信頼される公共メディアとして情報の社会的基盤の役割を果たし、視聴者の期待を超え地域社会に貢献する放送を目指します。

豪雨、洪水、台風など繰り返される災害に備え、住民にいち早く避難行動を起こしてもらうための情報を放送・デジタルサービスを通じて迅速に発信します。自然災害や新型コロナウイルスなどの脅威から命と暮らしを守るため、正確で実用的な情報をさまざまな手段で届け、安全・安心の支えとなります。被災地を継続取材し、課題解決に向けたヒントを探るとともに復興を後押しします。

新型コロナウイルスによる経済・雇用への深刻な影響をはじめ、格差・貧困、戦争と平和などのテーマに向き合い、それらの課題を乗り越えようとする人々の姿などを伝えます。地域の魅力の再発見や学びの機会を提供し、心が豊かになるコンテンツを届け、地域が新時代に前進する原動力となります。

東アジアの玄関口としての位置づけを生かし、アジアと日本の相互理解の懸け橋となる情報を届けます。また、地域の魅力を全国・世界に発信するとともに、新型コロナウイルスで激減したインバウンドの動向や海外情勢の変化が与える影響にも注目し、丁寧に伝えていきます。

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、九州沖縄出身選手や競技に関する情報を多角的に取材するほか、パラスポーツをきっかけに多様性のある社会のすばらしさを伝えます。地元スポーツチームの試合を中継するとともに、最新情報をきめ細かく伝え、スポーツを通じて地域を盛り上げます。

各種選挙には万全の態勢で臨み、正確・迅速、公平・公正な報道で、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。

超高精細映像を生かした番組の制作や効果的なデジタルサービスなどに取り組みほか、NHKプラスを活用して地域の魅力を全国に発信します。

《各局の重点事項》

福岡拠点放送局

○ 地域の安全・安心を守ります

公共メディアとして防災・減災のキャンペーンを展開し、放送やデジタルサービスを通じて地域の意識を高め、自然災害から命と暮らしを守るための行動につなげます。災害のおそれがあるときには、避難のきっかけとなるよう、きめ細かな情報を“ローカルファースト”で迅速に発信します。新型コロナウイルスをはじめとする感染症への備えや最新情報を手厚く伝え、地域の役に立つ放送局を目指します。

○ 地域の動きをつぶさに見つめて課題に迫り、解決策を探ります

地域のみなさまと真摯（しんし）に向き合いながら情報発信や調査報道に取り組み、視聴者の疑問や心配に応えます。新型コロナウイルスによる経済への影響や、雇用、格差・貧困、過疎化・高齢化、環境、未来を担う子どもたちに関わる問題など、関心の高い課題を深く掘り下げて解決策を探り、世代や地域の間にもたがる溝を埋める役割を果たします。また、北部九州の北九州放送局・佐賀放送局とも連携して、広域エリアで実情や課題を伝えます。

○ 地域に根ざし、社会や視聴者の心を豊かにする放送に取り組みます

福岡県をはじめ、九州沖縄地方の自然や歴史に目を向けて、その魅力を広く発信し、地域の活性化に貢献します。「博多祇園山笠」など伝統文化の継承に貢献する番組や、4K・8Kの超高精細映像による番組を引き続き制作するほか、“ウィズコロナ”時代に対応した新たな演出手法のエンターテインメント番組に取り組みます。幅広い世代が楽しめる多彩なコンテンツを提供し、地域の閉塞感を打ち払って明るさや心の豊かさを届けます。

○ 地域とアジアの関係を見つめ、未来を探ります

コロナ禍で自由な往来が制限される中、アジアの玄関口としての位置づけを生かし、アジアと日本の相互理解の助けとなるよう放送の力を発揮し、国際協調に寄与します。インバウンドの動向や日々変化する情勢など、“福岡発”でアジアとのつながりを丁寧に伝え、ともに発展していく道を探ります。

○ “スポーツのチカラ”で地域に元気を届けます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて情報をきめ細かく伝え、東京大会の機運を高めます。日本一5連覇を目指すプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」や、5年ぶりのJ1復帰を果たしたサッカーJリーグ「アビスパ福岡」、福岡での本場所開催復活が期待される大相撲などを積極的に発信します。アマチュアスポーツも引き続き丁寧に取り組むとともに、デジタルサービスを活用しながら、視聴者と一体となってスポーツを応援し地域を盛り上げます。

北九州放送局

○ 地域の安全・安心を守るため防災・減災報道に努めます

毎年甚大な被害が繰り返される大雨、巨大化する台風、大地震などの自然災害、新型コロナウイルスなどから地域の人たちの命と暮らしを守るために自治体や防災士など外部関係機関とも連携して防災・減災報道に努め、安全・安心な情報を正確・迅速に伝えます。福岡拠点放送局と連携を密にしてデータ放送やインターネットなどでも避難につながるきめ細かな情報を提供するとともに、交通の要所・関門海峡をはじめ、関門・北九州地域での大規模な事故や災害に備え、近隣の放送局とも連携し、万全の取材体制で臨みます。

○ 地域の課題や魅力を掘り下げ、幅広く情報発信します

新型コロナウイルスの暮らしへの影響、高齢化や人口減少、地域産業の創出といった地域の課題から、子育て世代が暮らしやすい街と評される快適な生活環境や豊かな自然環境、東アジアの玄関口としての街の魅力などをニュースや番組で深く迫ります。特に、北九州市は「東アジア文化都市」の会期が延長され、1年を通してさまざまなイベントやアジアとの文化交流が行われる予定です。伝統文化から新しいカルチャーまでこの地域で育まれた多彩な文化に加え、アジアと日本の相互理解の懸け橋となる情報を幅広く発信します。

○ 開局90年の機会を捉え、より地域に密着した放送を目指します

北九州放送局は12月に開局90年を迎えます。平日午後6時台のニュース番組や毎月最終金曜日のラジオ番組で北九州、京築、遠賀、筑豊地方の話題や人々の様子などをきめ細かく伝え、より地域に密着した親しみのある放送局を目指します。また、地元の歴史や文化を継承する放送をはじめ、イベントなど各種サービスも展開し、地域とともに歩む放送局として発信します。

○ オリンピック・パラリンピックを盛り上げ地域スポーツも全力で応援します

「東京オリンピック・パラリンピック」では出場が期待される地元選手やゆかりの人たち、聖火リレーなどの行事取材し、自国開催を盛り上げていきます。またサッカーJリーグ「ギラヴァンツ北九州」の活躍を中継や平日午後6時台のニュースで詳しく伝え、地域を盛り上げていきます。

○ 4K・8Kやデジタルコンテンツなどの新分野でも幅広く情報発信します

4K・8Kの超高精細映像を生かした番組の制作やデジタルサービスなどに取り組み、幅広く情報発信します。

熊本放送局

- 地域の安全・安心を守り、熊本地震・豪雨災害からの復旧・復興を後押しします
地域放送局として県民の命と暮らしを守るため、防災・減災報道に引き続き取り組みます。大雨や台風、地震、噴火などによる被害を最小限に抑えるため、ニュースや気象予報士の解説、早い段階でのL字型画面による情報発信・デジタル発信など、あらゆる手段を使って避難の呼びかけに努めます。熊本地震から5年にあたり、インフラ整備も含めた復旧・復興の進捗状況と残された課題を見つめるとともに、球磨川流域の豪雨被災地の生活再建や治水の在り方を多角的に報道し、地域の再生を後押しします。
- コロナ禍の地域の課題を捉え、解決策の提示に取り組みます
新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えない中、熊本県内の感染動向や医療体制の状況などを継続的に伝え、県民に正確な情報を届けます。さらに、コロナ禍で疲弊する地域経済や収入を失った家庭、生活様式の変化などの影響についても視野を広げ、社会・経済・教育・文化と多方面にわたる地域の課題を捉えて解決策の提示に取り組みます。
- 水俣病、ハンセン病など地域固有の課題を見つめます
2021年は水俣病の公式確認から65年。未認定患者や胎児性患者など、今なお被害を訴え続ける人たちの心情に迫り、水俣病を風化させない報道を続けるとともに、地元が目指す水俣地域の新しい魅力の創造についても情報発信します。また、ハンセン病についても元患者や家族の支援などを継続的に取材し、記録と記憶を残します。
- 正確・迅速、かつ公平・公正な選挙報道を行います
国政選挙・地方選挙の各種選挙報道にあたっては、公平・公正を旨として有権者の判断に資する情報を提供するとともに、正確・迅速な当確判定に臨みます。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」など、スポーツを通じて地域を応援します
「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、熊本県ゆかりの選手を継続的に紹介するほか、熊本県内での聖火リレーの様子も詳しく伝えます。また2022年2月開催予定の「北京オリンピック・パラリンピック」に向けても県ゆかりの選手を紹介します。大相撲の郷土力士をはじめ、サッカーやバスケットボールなどの地元のプロチームの活躍、それに高校スポーツの大会などを取材し、スポーツを通じて地域を応援します。

長崎放送局

○核兵器廃絶と平和への願いを伝えます

核兵器を違法とする核兵器禁止条約が発効し、被爆地・長崎でも核兵器廃絶への期待が高まる中、8月9日の「長崎原爆の日」の式典中継やニュース・番組で、核兵器廃絶や平和を求める長崎の願いを国内だけではなく、世界にも伝えていきます。被爆76年となり、被爆者が相次いで亡くなる中、その体験を記録するとともに、体験を受け継ぐ動きなどを多角的に取材し、被爆地にある放送局としての責務を果たしていきます。

○命と暮らしを守る情報を発信します

地震・台風・大雨などの際には、放送に加え、デジタルサービスも駆使して正確で迅速に情報を発信し、命と暮らしを守ります。また雲仙普賢岳の大火砕流から30年となるのにあわせて、その教訓といまも残るリスクに向き合います。防災・減災につながる情報は、日頃からニュースなどで積極的に発信し、安全で安心な暮らしに貢献します。

○コロナ禍や地域の課題の克服に貢献します

新型コロナウイルスの感染状況や対策について最新の動きを伝えるとともに、暮らしや経済を支え、偏見や差別の克服に役立つニュースや番組を放送します。また人口流出や少子高齢化が進む中、県内の取り組みを継続的に取材し、地域の活性化に貢献します。さらに古くからアジアやヨーロッパとの交流の玄関口だった長崎の歴史を生かして、地域と世界のつながりを意識した取材を進めていきます。

○選挙取材には万全の態勢で臨みます

国政選挙や長崎県知事選挙（任期満了日・2022年3月1日）など、選挙報道にあたっては、万全の態勢で選挙の争点などの情報を公平・公正かつ正確・迅速に伝え、有権者の判断に資する情報を提供します。

○地域のアスリートやスポーツを応援し、長崎を元気にします

東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピック開催にあわせて、地域にゆかりのある選手や競技を多角的に取材し、スポーツのすばらしさを伝えます。また、パラリンピックをきっかけに、障害者の社会参加への理解がより深まるよう貢献します。地域の放送局としてサッカーJリーグ「V・ファーレン長崎」や地元のアマチュアスポーツを応援し、長崎を元気にします。

○超高精細映像やデジタルサービスを通じて魅力を発信します

長崎の文化や自然を超高精細映像やVR（仮想現実）などさまざまな方法で記録し、デジタルサービスも活用して、地域の魅力を存分に楽しめるコンテンツを提供します。

鹿児島放送局

○ 防災・減災報道を一層強化し、地域の安全・安心を守ります

台風や大雨、地震などに備えて送出訓練やマルチ発信訓練を重ねます。緊急時には、テレビ・ラジオだけでなく、L字型画面・データ放送・インターネットなど、あらゆる手段を使って、住民にいち早く避難行動を起こしてもらうための情報を届けます。噴火を続ける桜島、活動が再び活発化している口永良部島や新燃岳など、火山の活動を丁寧に伝えるとともに、防災対策や研究の最前線の情報を詳しく紹介します。

○ 新型コロナウイルスの影響を詳しく伝え、命を守る情報を届けます

新型コロナウイルスに関する正確で実用的な情報に加え、経済・雇用への影響なども詳しく伝え、安全・安心の支えとなります。新型コロナウイルスで激減したインバウンドの動向や、海外情勢の変化による影響にも注目し、きめ細かく伝えていきます。

○ 地域の課題を深く掘り下げ、県民の興味・関心に応えます

平日午後6時台のニュース・情報番組では、その日の県内の動きを詳しく伝えるとともに、少子高齢化の問題や農林水産業の競争力強化、福祉や教育など、県民の関心が高く、暮らしに直結する問題を取り上げ、解決に向けたヒントを探ります。金曜午後7時台の番組では、鹿児島の課題はもちろん、郷土に生きる人々のひたむきな姿や、知られざる活躍、困難への挑戦にも光を当てて、視聴者の関心に応えます。

○ 地域のスポーツを応援し、鹿児島を元気にします

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、県内を走る聖火リレーに加え、出身選手や競技に関する情報を多角的に取材し、視聴者の関心を高めます。パラスポーツをきっかけに、多様性のある社会のすばらしさを伝えます。サッカーJリーグ「鹿児島ユナイテッドFC」の試合を中継するなど、スポーツチームの最新情報をきめ細かく伝え、スポーツを通じて、地域を盛り上げます。

○ 地域の多彩な魅力を全国に発信し、未来に伝えます

世界自然遺産の登録を目指す、「奄美大島」と「徳之島」の動きを詳しく伝えます。すでに登録された「屋久島」など県内各地の豊かな自然や、伝統的な祭りなどを、4Kや8Kの映像の特性を生かして記録し、鹿児島の風土、魅力を全国・世界に積極的に発信するとともに、次世代への継承にも努めます。

宮崎放送局

- 防災・減災報道をさらに強化し、正確・迅速で頼りになる報道に取り組みます
宮崎県では南海トラフ巨大地震による死者数が最大で約1万5000人と想定されており、霧島連山の噴火や台風・大雨など自然災害への備えも欠かせません。地域の防災・減災への取り組み、課題などを継続的に取材し、県民の防災・減災意識の向上、安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、災害時には正確・迅速で頼りになる情報を、放送とデジタルで発信し、さまざまなメディアを通してわかりやすく視聴者に届けます。
- 県域放送のさらなる充実を図り、県民へのサービス向上に努めます
平日午後6時台のニュース・情報番組では、旬のニュースをわかりやすく伝え、暮らしに役立つ情報や地域の課題をレポートやシリーズ企画などで深く掘り下げます。金曜午後7時台の地域放送番組では「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の宮崎の新たな可能性や、若い世代の取り組みを積極的に紹介して、地域の魅力の発掘を行います。また視聴者のみなさまからの声をより生かした番組を制作し、身近な存在になるよう努めます。
- 地域のスポーツ振興に寄与します
「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、宮崎県にゆかりのある選手や競技の情報を発信し、視聴者の関心を高めるとともに、放送・イベント事業を通して県内を走る聖火リレーを盛り上げ、多くの競技でキャンプや合宿が行われる「スポーツランドみやざき」の魅力を全国に発信します。また、サッカーJリーグへの昇格が決まった「テゲバジャーロ宮崎」など地元スポーツチームの最新情報をきめ細かく伝え、地域のスポーツ振興に寄与します。
- 地域の歴史・伝統・文化を全国・世界へ発信します
1年延期となった「第35回国民文化祭・みやざき2020」「第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」に向けて宮崎県の自然豊かな風景、「日向の国」に残る神話・伝統文化・食といった地域の宝を全国・世界へ発信します。また、宮崎県が誇るそれらの魅力を4Kの超高精細映像で記録することで地域の歴史・伝統の継承や文化振興に寄与します。

大分放送局

○安全・安心の拠点として防災・減災情報の充実に取り組みます

台風・集中豪雨・南海トラフ地震などの大地震といった自然災害への備えを怠らず、人々の命と暮らしを守るための情報を放送とデジタルサービスを最大限に活用し迅速に伝えます。特に、2020年秋に始めた「おおいた減災スクラム」の取り組みを継続し、減災報道に力を入れます。出水期を前にハザードマップ解説や過去の災害例を分厚く紹介することで身近な危険を知ってもらい避難行動に結びつけてもらえるよう強く呼びかけます。九州北部豪雨や令和2年7月豪雨の被災地については、現状や課題を継続的に取材し復興を後押しします。新型コロナウイルスについても最新情報や対策など、命を守るために役立つ情報を伝えます。

○地域の課題に向き合いともに未来を考えます

新型コロナウイルスがもたらす経済への影響をはじめ、人口減少や若者の県外流出、農林水産業の担い手不足など長期的な視点で解決が求められる課題に焦点を当てます。多角的で深い取材をもとに未来をともに考えます。幅広く情報発信をするために自治体・経済界・視聴者・他メディアとの連携なども視野に入れ、できるだけ多くの県民に届くよう努めます。

○開局80年の節目に、より一層の地域密着を目指します

防災・減災情報を分厚く伝えるほか、新型コロナウイルスの影響で苦境に立つ人々や多くの県民が参加する聖火リレーなど、県民が見たい・知りたい情報を詳しく報道します。さらに、日田市を舞台に若者の地元愛を描くドラマとその関連イベントを展開します。1年を通して多彩な企画・番組を提供し、開局80年の節目に地域により親しまれる放送局を目指します。

○地域のスポーツを盛り上げ県民の期待に応えます

2021年の「東京オリンピック・パラリンピック」出場を目指す県出身選手を応援する企画や番組を積極的に発信します。特に大分県は障害者スポーツが盛んなことからパラリンピック情報には一層の力を入れ、県民の期待に応えます。サッカーJリーグ「大分トリニータ」、大相撲、フットサル、バレーボールなどのプロスポーツに加え、県民の関心が高い高校野球などのアマチュアスポーツの情報も積極的に取り上げます。

○地域の魅力を4K・8Kの超高精細映像で記録し全国・世界に発信します

豊かな自然や各地に伝わる多様な伝統文化、多彩な工芸品や新たな芸術活動など地域の魅力を4K・8Kの超高精細映像で記録し発信します。全国放送や国際放送、デジタルサービスに広く展開することを目指します。

佐賀放送局

- 災害や新型コロナウイルスに備え、生命と暮らしを守る報道に取り組みます
佐賀県では2020年まで3年連続で大雨特別警報が発表され、毎年のように被害が出ています。県民に生命を守る避難行動をいち早く起こしてもらうため、正確で実用的な情報を放送やデジタルサービスを通じて迅速に提供します。また、いまだ予断を許さない新型コロナウイルスの感染状況や対策、暮らしや経済への影響を迅速に伝え、県民の安全・安心の支えとなります。

- 地域が抱える課題をわかりやすく伝え、県民の“知りたい”に応えます
知事が受け入れを表明した自衛隊の輸送機「オスプレイ」の佐賀空港への配備計画を巡る動きや、整備方式を巡って議論が平行線をたどっている九州新幹線・長崎ルートなど、県の将来を左右する動きをタイムリーに伝え、ニュースや番組でわかりやすく解説していきます。また、玄海原子力発電所を巡る動きなど、県民の“知りたい”という声に応える放送を目指します。

- 正確・迅速な選挙報道に取り組みます
選挙報道にあたっては万全の態勢を整え、選挙の争点など有権者の判断に役立つ情報を公平・公正かつ正確・迅速に伝えます。

- 開局80年、県民により親しまれる放送局を目指します
佐賀放送局は2021年、開局80年を迎えます。これまで以上に地域に寄り添い、地域産業や伝統文化、県の未来を担う若者たちの挑戦などを広く発信し、地域を元気にする放送に取り組みます。平日午後6時台のニュース・情報番組では“その日に押さえておきたい佐賀のニュース”や“佐賀の暮らしを豊かにする役立つ情報”を届けます。金曜午後7時台の地域情報番組では、地域の魅力を掘り起こし、地域放送局ならではのみずみずしい感性で伝えます。さらに、玄界灘に面する唐津の豊かな海の水の中映像を四季にわたって4Kの超高精細映像で記録し、知られざる魅力を発信していきます。開局80年の節目にふさわしい多彩なコンテンツを展開し、インターネットも活用して幅広い世代に届けます。

- 「東京オリンピック・パラリンピック」の関心を高め、県内のスポーツを応援します
「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、佐賀県にゆかりのある選手を紹介し、地元の聖火リレーにあわせて、ニュースや番組で県民の関心を高めます。また、サッカーJリーグでは、J1に昇格して10年目となる「サガン鳥栖」の、さらなる飛躍に県民の期待が高まっています。ニュースや番組でチームの最新情報を伝えます。さらに、県民の関心が高い高校野球など、アマチュア競技も積極的に取り上げ、地域スポーツの振興に貢献します。

沖縄放送局

- 本土復帰50年に向けて、情報の発信力を強化し、沖縄の歩んだ歴史や課題を伝えます
沖縄は、2022年5月に本土復帰50年を迎えます。基地の集中と経済格差など復帰以来変わっていない現実がある一方で、沖縄県民の意識は大きく変化してきました。この半世紀を振り返り、沖縄の人々の思いに迫る番組を発信します。また、平日午前11時台の情報番組を拡充させ、暮らしに役立つ地域情報を充実させます。さらに、沖縄関連の番組に接していただく機会を増やし、情報の発信力を強化します。
- 首里城に対する県民の思いに寄り添い、その再建を後押しします
2019年10月に起きた首里城火災は、県民はもとより全世界の人までが喪失感を味わいました。しかし、直後から多くの人々が再建に立ち上がり、知恵や思いを持ち寄ってさまざまな活動を続けています。政府の正殿再建スケジュールは、2022年に本体工事の着工、そして2026年までの完成です。再建への取り組みに加え、首里城にまつわる歴史や文化を全国に発信し、令和の首里城再建を後押しします。
- 「県民の命と暮らしを守る報道」に取り組み、頼りにされる放送を目指します
毎年多くの台風が通過する沖縄。新型コロナウイルスなども県民の命や暮らしに大きな影を落とし始めました。正確で役に立つ情報を、放送やデジタルサービスを通じて迅速に発信し、県民のみなさんに頼りにされる放送を目指します。
- 沖縄戦の記録・記憶を継承し、平和への祈りを発信し続けます
県民の4人に1人が犠牲となった沖縄戦。戦争体験者の高齢化が進み、記憶の継承が大きな課題となっています。6月23日の「沖縄全戦没者追悼式」全国中継をはじめ、各種番組やニュースを通して、沖縄から平和のメッセージを発信し続けます。
- 「東京オリンピック・パラリンピック」を機に、沖縄のスポーツを盛り上げます
沖縄発祥の空手をはじめ、沖縄出身選手が、その舞台での活躍を信じ日々鍛えています。大会に挑む選手の活動や聖火リレー、大会期間中の地元の応援などをきめ細かく伝えます。さらに、バスケットボールBリーグ「琉球ゴールデンキングス」やサッカーJリーグ「FC琉球」といったプロスポーツに加え、高校スポーツなど、地元の情報を充実させ、沖縄のスポーツを盛り上げます。

2021年度 東北地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

東日本大震災の発生から10年がたちました。第2期に入った復興・創生期間の今後や福島第一原子力発電所の廃炉へ向けた動きなど、再生へ向けた取り組みや課題について引き続き、全国・世界に発信していきます。

視聴者の“生活圏”に沿ったニーズに柔軟に corres ponding する放送にもチャレンジします。世界遺産への登録が期待される「北海道・北東北の縄文遺跡群」など、複数の県が関心を寄せる情報はNHKだからできる“県や地域を越えた放送”にも積極的に取り組みます。

国民の希望の一つである「東京オリンピック・パラリンピック」の情報発信にも力を入れます。東北は聖火リレーのスタートの地であり、競技会場でもあります。“復興五輪”に関する動きを積極的に発信していくことで、これまで以上に世界から注目が集まる大会への機運を高め、東北の元気な姿を世界に向けて発信します。

NHKの使命でもある防災・減災報道に関しては、震災や台風・大雨といった過去の教訓を生かし、災害が発生する前からテレビ・ラジオ・L字型画面・データ放送・インターネットなどあらゆる手段を使って安全・安心に役立つ情報をいち早く視聴者に伝え、人々の生命・財産を守ります。

東北地方の6つの地域放送局は視聴者ととともに地域の未来を考え、コロナ禍における新たな視聴者コミュニケーションを築くことで、より信頼され、頼りにされる放送局に進化し、“公共メディア”NHKとして情報の社会的基盤の役割を果たします。

《各局の重点事項》

仙台拠点放送局

○“復興と再生、そして宮城の未来”を市民とともに考えます

震災から10年がたち、インフラ整備を終える自治体が出てくるなど、復興は新たな局面に入りました。ポスト震災10年は、今後の復興や再生の在り方、いのちを守るための震災伝承などについて、市民との対話を丁寧に重ね、市民とともに未来を考え、発信していく新たなステージに進化します。ホームページやソーシャルネットワーキングサービスも活用し、双方向性を高めた幅広い視聴者との対話から生まれた気づきや発見を共有しながら、次世代につなげる宮城県の未来を考えます。

○東北の魅力を見つめ直し、全国・世界に発信します

東北には脈々と続く伝統的な文化や風土がしっかりと根づいています。豊かな自然もこの地の魅力です。こうした“東北にしかない郷土の誇り”を改めて見つめ直し、NHKプラスなども活用して全国・世界に積極的に発信していきます。

○連続テレビ小説「おかえりモネ」を通じて、地域の活性化に貢献します

2021年度前半期には宮城県が舞台となる連続テレビ小説「おかえりモネ」の放送が始まります。ストーリーの展開や世の中の盛り上がりにあわせて、舞台となる自治体とも連携しながら関連番組やイベントをタイムリーに展開していくことで、地域の活性化に貢献します。

○東北から始まる“復興五輪”の機運を高めます

オリンピック・パラリンピックと東北の意外なつながりを紹介する番組などを通じて大会への機運を高めます。6月には宮城県の被災地を聖火ランナーが駆け抜け、7月には開会式を前に宮城スタジアムでサッカーが開催されます。被災地の現在の姿を全国・世界に発信することで“復興五輪”の意義を広くアピールします。

○平日午後6時台のニュースのさらなる定着を目指します

平日午後6時台のニュース・情報番組は県内の課題や被災地の現状を伝えるとともにコロナ禍における防災・減災のありようなど、次の災害に備えて防災への意識を高める内容を充実し、より親しまれ信頼される番組を目指します。

○公平・公正な選挙報道に取り組みます

宮城県知事選挙（任期満了日・2021年11月20日）や仙台市長選挙（任期満了日・2021年8月21日）では、有権者の判断材料となる正確な情報を提供します。

秋田放送局

○命と暮らしを守る情報発信に取り組みます

台風や大雨、大雪、地震などの自然災害に備えて、防災・減災につながる報道や放送機能の強化に取り組みます。コロナ禍における災害を想定し、感染防止の対策もあわせて伝えます。災害・緊急時にはテレビ・ラジオをはじめ、L字型画面・データ放送・インターネットなど多様な手段を活用し、県民が必要としている情報を災害発生前からきめ細かく発信し、地域に暮らす人たちの命を守ります。

○地域の課題に向き合い、地域の発展につながる情報を届けます

平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の番組などを通じて、人口減少や高齢化、コロナ禍で影響を受ける医療や経済など、いまの地域が抱えるさまざまな課題と向き合い、今後の解決に向けた糸口を探ります。秋田が誇る豊かな自然や文化遺産など地域のさまざまな魅力も全国・世界に発信、2022年2月の開局90年の節目にも地域の発展につながる番組を制作するなど、秋田の明るい未来づくりに貢献します。

○視聴者との“つながり”を深め、地域に親しまれ、役に立つ放送局を目指します

コロナ禍で人々がリアルにつながる機会が減っています。放送会館の8Kオープンスタジオを活用し、感染防止対策を講じながら、イベントと連動した番組の制作やデジタル展開に取り組むなど、ウィズコロナ時代の新たなつながりの場を提供します。“地域のハブ”としてさまざまな組織や個人と連携し、防災や課題解決につながる情報発信を行うことで、地域に親しまれ、役に立つ放送局を目指します。

○スポーツで地域を盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、地域ゆかりのアスリートや県内での聖火リレー、ホストタウンの取り組みなどを多角的に伝えます。高校スポーツなど地域のアマチュアスポーツにもスポットを当てていきます。初のJ2昇格を果たしたサッカーの「ブラウブリッツ秋田」やバスケットボールBリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」のシーズンの戦いぶりもスポーツ中継や平日午後6時台のニュース等で詳細に伝え、地域を盛り上げます。

○公平・公正な選挙報道に取り組みます

2021年4月4日に投開票が行われる秋田県知事選挙や秋田市長選挙などの選挙報道では、地域の課題や選挙の争点などをわかりやすく伝え、有権者の判断のよりどころとなる公平・公正な情報を届けます。

山形放送局

○ 県民のいのちと暮らしを守るため、防災・減災報道に全力で取り組みます

2019年の新潟・山形地震、2020年の7月豪雨など、山形県は相次ぐ自然災害により甚大な被害を受け、日本海津波や蔵王山噴火への警戒も続いています。こうした中で、防災・減災情報の発信拠点として自治体の防災計画やハザードマップの活用法などを伝え防災意識の向上を図るとともに、2020年に締結した酒田市飛島との災害報道協定に基づき、離島の災害報道に尽力します。また、“命を守る”放送体制を強化し、発災時はテレビ、ラジオ、L字型画面、インターネットなど多様な伝送路で必要な情報を発信し、早期避難を呼びかけるなど減災報道に努めます。

○ 地域の課題と解決策を考え、地域の活性化に貢献します

平日午後6時台のニュース・情報番組を充実させます。新型コロナウイルスの影響による創業100年を超える老舗店の廃業、街の空洞化による県内唯一の百貨店倒産など地域経済の冷え込み、さらには人口減少や少子高齢化など、地域が直面する課題に正面から向き合いきめ細かく発信します。金曜午後7時台の地域放送番組では課題の背景を丁寧に掘り下げ、地域の人たちと一緒に解決策を考えるとともに、未来の担い手である若者向けの番組を立ち上げ、活性化に寄与します。

○ 地域の魅力を全国・世界に発信し、地域の発展に貢献します

地域の豊かな自然を4K・8Kの技術を駆使して記録します。また、米や果物、日本酒に代表される食文化、歴史や伝統など地域の魅力を放送とインターネットで全国・世界に発信し、地域に活気をもたらしめます。また、酒田市と連携したプロジェクトでは、山居倉庫および2020年にプレオープンした駅前交流拠点施設“ミライニ”を活用した番組やイベントを展開するほか、山形放送局のサテライト施設を設けるなどして、地域ににぎわいを創出します。

○ “東京2020”をホストタウンと盛り上げ、スポーツで地域を元気にします

東北で最もホストタウンの数が多い山形県。各自治体の国際交流や選手受け入れなどの動きを取材し地域を盛り上げるとともに、県ゆかりの選手の活躍を丁寧に伝えます。また“復興五輪”に向け5月に山形市で開催予定の「東北絆まつり」を取り上げ、東日本大震災や豪雨被害の被災地を応援します。さらにサッカーJリーグ「モンテディオ山形」とバスケットボールBリーグ「パスラボ山形ワイヴァンズ」のプロスポーツ、県民の関心が高い相撲や高校野球などを積極的に取り上げます。

○ メディア環境の変化を見据え、新たな地域サービスの開発に取り組みます

5G実用化などデジタル環境の変化や新型コロナウイルスの影響によって、県民のコミュニケーションの形も変わっていく中、ソーシャルネットワーキングサービスなどを活用した新たなイベント開発に取り組みます。多様なニーズに応える多彩なタッチポイントを創出し、地域をつなぐ“ハブ”となることを目指します。

盛岡放送局

- ポスト震災10年。記憶の風化を防ぎ、被災体験の継承に取り組み続けます
東日本大震災から10年の歳月が過ぎました。防潮堤工事や復興道路等のハード面での整備が進んできている反面、コミュニティの再生や被災者の心の健康など、ソフト面のさまざまな課題が残っています。被災体験の記憶が風化していく中、被災地にある放送局として拠点放送局とも連携し、放送やイベントなどを活用した次世代への新たな継承方法を模索し続けます。さらに、被災者に寄り添う取材で、記憶を教訓に、教訓を教育に昇華していき、ホームページやツイッターも活用して発信していきます。
- あらゆるメディアで、一人ひとりに届く“命と暮らしを守る報道”に取り組みます
年々脅威を増す自然災害、新たな感染症から命と暮らしを守るため、L字型画面やデータ放送、ホームページやツイッターなども活用しながら正確・迅速に情報を発信し、一人ひとりに届けます。防災・減災報道は、防災士会との連携協力協定に基づいて、災害の備えや災害発生時の状況、必要とされる支援などの情報をきめ細かく集め、気象予報士による地域放送内での気象解説の充実とともに、県民の防災意識を高める報道を強化します。ラジオでは、これまで培ってきた地域でのネットワークを生かし、災害時に役立つ放送を強化します。
- 関心の高い地域情報をより充実させ、親しまれる放送局を目指します
平日午後6時台のニュース・情報番組は、地域の“いま”が見える情報を中心に、視聴者の興味・関心に寄り添うさまざまな企画を放送します。金曜午後7時台の地域情報番組は、県民の関心が高い問題を掘り下げ、新たな気付きや発見が得られる番組へと刷新します。さらに、世界遺産への登録が期待される「北海道・北東北の縄文遺跡群」など、複数の県が関心を寄せる情報は“県や地域を越えた放送”にも積極的に取り組みます。また、これらのコンテンツのデジタル展開を進めることで、若年層への接触率向上につなげ、地域に親しまれる放送局を目指します。選挙報道では、地域が抱える課題や選挙の争点を有権者に公平・公正に伝えるとともに、正確・迅速な報道を実践します。
- 延期となった“東京2020”に向け地域の動きを発信し、大会を盛り上げます
新型コロナウイルスの影響で1年延期となった「東京オリンピック・パラリンピック」。感染症対策を万全に取ったうえでの開催を目指し準備している、岩手県内のホストタウンや聖火リレーを迎える自治体、住民を取材することで、大会への機運を高めます。大会中は、アスリートをはじめさまざまな分野での地元関係者の活躍・貢献を発信し、“復興五輪”に臨む県内を盛り上げます。さらに、2022年に開催予定の「北京オリンピック・パラリンピック」についても、地元関係者の活躍を取り上げます。新型コロナウイルスの流行により変容した社会でこそ、改めてオリンピック・パラリンピックの意義について考え、分断のない共生社会への理解を深める地域放送・サービスを実施します。

福島放送局

○大震災・原子力発電所事故から10年、これからも続く復興を支えます

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年が経過しますが、まだまだ復興は道半ばです。見通すことのできない廃炉への行程や農林水産業への影響、住民の帰還が進まず分断が続いている現状などをわかりやすく伝え、福島が抱えている課題への問題意識を喚起する報道を行うとともに、前に進んでいく福島の様子や人々の姿を伝えることで、復興に寄与します。また、ソーシャルネットワーキングサービスなどを利用し福島のニュースを全国・世界へ向けて発信し、福島の現状を正しく知ってもらう取り組みを進めます。

○県民の命と暮らしを守る情報を幅広いメディアで届けます

新型コロナウイルスの感染拡大は福島県にも甚大な影響を及ぼしました。感染拡大を防止する情報に加え、地域への影響を丹念に取材し、苦境に立ち向かう人々を応援します。また、これまでに経験したことがないような自然災害が増える中、地域のメディアや団体などとの新たな連携を強化するなどして日頃から防災・減災につながる情報を発信し“公共メディア”として地域の防災・減災に貢献します。災害発生時はテレビ・ラジオでの放送とあわせて、L字型画面・ホームページ・データ放送などを活用し、より多くの人々に情報発信を行います。

○“東京2020”をはじめとする、地域のスポーツを盛り上げます

2021年に延期された「東京オリンピック・パラリンピック」は“復興五輪”を掲げており、野球・ソフトボール競技が福島県で開催されるほか、県内の自治体がホストタウンとして盛り上げの一助を担います。福島ゆかりの選手の活躍や、福島で行われる競技の様子を詳しく伝えます。また、地域で注目されるスポーツを幅広く取り上げ、スポーツの魅力や、地域での盛り上がりを伝えることで地域の活性化に貢献します。

○地域に根ざした放送局を目指します

平日午後6時台のニュース・情報番組では、より生活者の目線に重点を置き、気象予報士の常駐化や視聴者から寄せられたテーマの取材、地域の課題を深く掘り下げてわかりやすく伝えることで、視聴者のみなさまの関心に応えます。金曜午後7時台の福島県向け番組では、福島の知られざる魅力や福島で生きる人々の思いを届けます。また巡回イベントなどを通して地域の人々との関わりを増やし、地域に根ざした放送局を目指します。

青森放送局

- “公共メディア”として新たなキャンペーンを展開し、地域社会への貢献に努めます
開局80年を迎える青森放送局は、放送やイベント、デジタルサービスなどを通して地域の視聴者となつながら、身近で役に立つ視聴者サービスの充実を目指します。
- “安全・安心”につながる情報を正確・迅速に発信します
県民の生命・財産を災害から守るため、迅速に緊急報道態勢を整え、テレビ・ラジオとともに、L字型画面・データ放送・インターネットなどあらゆる手段を用いて地域の防災・減災報道に努めます。また、新型コロナウイルス関連情報や、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などの災害に備えた防災・減災につながる情報を、日頃から継続的に発信します。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組をさらに充実させます
全国に比べて短い平均寿命、雇用問題、人口の減少、医療・福祉など県内の課題、農林水産業や原子力関連施設を巡る動き、きめ細かい気象情報、各分野で活躍する青森にゆかりのある人々取材し、県民の関心に応えます。
- 青森の魅力を全国・世界に発信し、地域を元気にします
金曜午後7時台の地域放送番組では青森の自然や文化、食や産業などのテーマを深く掘り下げ、県民だけでなく全国・世界へ青森の魅力を届けます。さらに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指す動きに継続して注目し、観光面や経済面への波及効果などを幅広く取材し、北海道や東北の各放送局との連携を強化してニュースや番組で伝えます。
- ラジオをより身近なものにしてもらえるよう取り組みます
金曜午後5時台のラジオの地域放送番組では、食や文化、防災情報などの幅広い話題を伝えます。ソーシャルネットワーキングサービスを継続して活用しながら若年層を中心とした新たなリスナーの獲得と定着を図るとともに、特集番組を放送するなど聴取者との結びつきを一層強化し、災害時に身近で頼れるメディアとしてリスナーの理解を深めます。
- 地域のチームやスポーツ選手の活躍を伝え、スポーツ振興に貢献します
「東京オリンピック・パラリンピック」に出場が期待される青森県出身のアスリートや、スポーツ分野に携わる人々の活躍を伝え、聖火リレーについても情報を発信します。また、大相撲の郷土出身力士や、サッカーJリーグ「ヴァンラーレ八戸」の試合などを多角的に伝えるほか、青森にゆかりのあるスポーツ選手・チームを幅広く取材し、地域とともに盛り上げていきます。

2021年度 北海道地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

いつまでも、北海道民が求める地域放送・サービスを届けられる“NHK北海道”に生まれ変わる最初の一步を踏み出します。

「新しいNHKらしさ」を実感できる地域放送・サービスを北海道民に届けます。北海道に根ざし、道民一人一人に寄り添い、これまで以上に道民が必要とする情報を、視聴環境の変化に適応しながら届けきり、期待に応えます。

“NHK北海道”のネットワークを生かし、命と暮らしを守る防災・減災報道に取り組みます。北海道胆振東部地震から3年が経過します。被災者を見つめ、サポートと復興の両立の在り方など、被災者に寄り添う発信を継続します。

「北海道民から必要とされる“公共メディア”になる」という目標を掲げる道内7局を横断するプロジェクト“北海道タスクフォース”は、道内各地で奮闘するローカルプレーヤーとの連携を一層強化し、地域社会の発展に寄与します。またオープンジャーナリズムを活用し、双方向性を強化することで、地域の視聴者に寄り添うコンテンツを発信します。

全国に先んじて北海道で感染が拡大した新型コロナウイルスは、地域経済や道民のライフスタイルに大きな影響を与え、これまでの生活様式を一変させました。また、高レベル放射性廃棄物最終処分場選定を巡る問題など、北海道には現在の問題であり、将来世代にも引き継がれていく地域の課題が山積しています。これらの課題を多面的に発信し、課題先進地といわれる北海道の放送局として、全力で向き合います。

札幌でマラソン・競歩・サッカーが開催される東京オリンピックやパラリンピック、北海道ゆかりの選手が多く出場する北京オリンピック・パラリンピックに向け、大会に向けた動きや北海道ゆかりの選手を取り上げ、大会へ向けた機運を高めます。また北海道を本拠地とするプロスポーツチームの情報や、地域から愛されるウィンタースポーツなど、地元のスポーツに関する情報も積極的に発信し、地域を盛り上げます。

《各局の重点事項》

札幌拠点放送局

- “NHK北海道” の中心として各放送局と連携し、地域の安全・安心を守ります
北海道地方の地域放送局の中心として、命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。地震や津波、暴風雪などさまざまな自然災害についての情報や、新型コロナウイルスについての情報を、テレビ・ラジオ・デジタルサービスを駆使し、正確・迅速に伝えます。また2018年の北海道胆振東部地震の被災地を継続して取材し、情報を発信します。
- 新札幌拠点放送会館への移転を契機に、新たなコンテンツを創造します
6月にカットオーバーとなる新放送会館への移転を契機に、既存の枠にとらわれないコンテンツ制作を推進し、さまざまな伝送路を通じて情報を届けきります。また新放送会館は、地域社会をリードするローカルプレーヤーとの連携を強化し、地域に新たな価値を提供することを目標とする“北海道タスクフォース”の拠点として機能し、地域住民とのつながりを深め、コンテンツ制作につなげていく場とします。
- 地域の課題を多角的に伝え、視聴者とともに課題に向き合います
新型コロナウイルスによって打撃を受けている地域経済や、高レベル放射性廃棄物最終処分場選定に向けた調査を巡り、さまざまな意見が出ている現状など、地域の課題は山積しています。地域住民とともに課題に向き合い、必要とされる情報を丁寧に細かく発信します。
- 「オリンピック・パラリンピック」や地域のスポーツを応援し、地域を盛り上げます
東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックに向けた動きや、北海道ゆかりの選手を紹介し、大会への機運を高めます。またプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」、サッカーJリーグ「北海道コンサドーレ札幌」、バスケットボールBリーグ「レバンガ北海道」をはじめとする地元チームやウィンタースポーツなどを、中継番組やニュース番組で継続して発信し、スポーツを通じて地域を盛り上げます。

函館放送局

○命と暮らしを守る災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

地震、津波、台風、暴風雪、駒ヶ岳や恵山の噴火など、自然災害を常に意識し、命と暮らしを守る災害・緊急報道への備えを進化させ続けます。また、日頃より自治体や専門家と連携し、防災・減災と新型コロナウイルスに関する正しい知見を届けます。緊急報道には全力であたるるとともに、地元メディアとも協力し、地域の安全と安心につなげます。

○地域が抱える課題を見つめ、地域に役立つ情報を提供します

人口減少、水産業の不振、北海道新幹線工事の行方など、日々の取材の中で見えてくる新たな課題に対し、事実関係を整理し、問題を掘り下げ、解決への糸口を探ります。新型コロナウイルスが変えた暮らしや克服への動きを見つめるとともに、オープンジャーナリズムを推進するなど、人々に寄り添い、地域に役立つ情報を届けます。

○地域のパートナーとなり、道南の地域振興に貢献します

地元で活動する人々やコミュニティとの関係を深め、道南地域のさまざまな魅力を発掘・発信します。また「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、道南ゆかりの選手や地域の動きを紹介。さらに「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を見据え、東北各放送局、札幌拠点放送局、室蘭放送局と連携。放送だけではなく、デジタルやイベントでも展開するなど、多面的に伝えます。

旭川放送局

○地域の安全・安心を守る防災・減災報道に全力で取り組みます

道北地方にも大きな被害をもたらした北海道胆振東部地震から3年。こうした地震への備えとともに、大雨や厳冬地域特有の暴風雪、かつて甚大な被害を出した十勝岳の噴火などの自然災害に備えます。正確で迅速な情報を、テレビ・ラジオ・インターネットを通じて発信し、人々の安全・安心を守るための防災・減災報道に全力で取り組みます。

○新型コロナウイルスがもたらした諸課題と向き合い、“地域のこれから”を考えます

人口減少などを背景に、医療過疎や交通網の存廃問題、地場産業の衰退などさまざまな地方の課題が縮図のように現れていた道北エリアにおいて、影を落とした新型コロナウイルスの問題は、より深刻な影響を及ぼしています。“地域社会や経済のこれから”をどう立て直していくのか。掘り下げた取材をもとに、視聴者とともに考えていきます。

○地域の人々とつながりながら、「新しいNHKらしさ」を追求します

「新しいNHKらしさ」を地域から実現していくために、雄大な自然に恵まれた道北地方の魅力をはじめとして、地域発信を強化していきます。地元ゆかりの選手の活躍も期待される東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックを、社会状況にあわせて盛り上げ、インターネットも活用した視聴者コミュニケーション活動などを通じ、地域の人々とつながりながら、より親しまれる放送局を目指します。

帯広放送局

- 地域メディアと連携し、命と暮らしを守る情報発信に全力で取り組みます
十勝地方では河川氾濫による浸水や千島海溝の巨大地震・津波による被害が懸念されています。こうした事態に備え、災害時連携協定を結んだ地元新聞社グループとの連携を一層強化するとともに、テレビ・ラジオ・L字型画面・インターネットを活用して正確・迅速に発信し、一人一人に届け、身を守る行動につながる報道に全力を挙げます。
- 地域の一員となってよりよい地域づくりに貢献します
地域の身近な課題を投稿で寄せてもらい、放送やインターネットで視聴者と共感の回路を築きながらよりよい地域づくりを目指す「ナットク!とかちch」の一層の充実を図ります。また地域の人たちとつながり、地域の一員となって課題の解決に寄り添うワークショップ「もやカフェ」を定期的を開催し、接点を増やしていきます。
- 地域の基幹産業・農業に正面から向き合います
畑作や酪農をはじめとした国内を代表する農業地帯・十勝では、担い手の高齢化や労働力不足の課題がある一方で企業の参入による先進技術の集積や、食の安全やブランド化で消費者との結びつきの強化を目指す模索によって、産業の裾野が広がっています。こうした最前線の動きを多角的に伝えて地域のみなさまと“農業の未来図”を考え、提言します。

釧路放送局

- 災害から一人ひとりの命と暮らしを守る防災・減災報道を強化します
千島海溝沿いの巨大地震・津波等から地域の命と暮らしを守る情報発信を、あらゆるメディアを使って強化します。詳しい被害想定をもとに行政や地域の防災・減災に役立つ情報、さらに火山・大雨・暴風雪などに備える情報の発信も強化します。災害発生時には、被災者に役立つきめ細かな生活情報の発信に取り組みます。
- 地域経済の課題を深く取材し、地域とともに解決策を探ります
少子高齢化や人口減少が進む中で、100年の歴史がある製紙工場の撤退やサンマやサケなどの記録的な不漁、新型コロナウイルスの影響など、大きな打撃を受けている地域経済の課題を深く取材し、ローカル放送も生かして地域とともに解決策を探ります。また北方領土問題の行方や元島民の思いを語り継ぐ人たちに寄り添う取材を続けます。
- 釧路・根室地方の魅力を発信し、地域を元気にします
アイスホッケーなど地域に根ざしたスポーツや阿寒摩周、知床、釧路湿原などの雄大な自然、豊かな温泉や特産品の魅力、さらに地域を元気にする活動に取り組む人々を道内や全国・海外に発信します。また、東京と北京で開催されるオリンピック・パラリンピックに向けて、釧路・根室地方ゆかりの出場選手を取り上げ、機運を盛り上げます。

北見放送局

- 地域住民の命と暮らしを守る防災・減災・緊急報道に一層力を入れます。
オホーツク地方では暴風雪や大雨による河川の氾濫などの災害が懸念されています。こうした災害時の緊急報道に全力で取り組むとともに、平時にも防災上の課題や災害対策の現状など住民の防災意識の向上につながる情報を、視聴者にきめ細かく届けきることで地域の防災・減災に貢献します。
- 地域が直面する課題と向き合い、地域住民に寄り添いながら解決策を探ります。
新型コロナウイルスによる地域経済や医療への影響はオホーツク地方にも広がっています。また、人口減少や高齢化が進む地域の活性化も引き続き課題です。こうした課題を正確・迅速・多面的に伝えるとともに、インターネットやイベントを活用して双方向性を強化した新たな視聴者コミュニケーションを通じて、一緒に解決策を考えます。
- オホーツクの魅力や地域の情報を全国・世界に発信します。
世界自然遺産の知床をはじめ、オホーツク地方の豊かな自然や文化の魅力をインターネットなども活用して広く発信します。また「北京オリンピック」に向けて関心が高まっているカーリングなど地元ゆかりのスポーツ選手の情報や、地域で奮闘しているローカルパートナーの活動などを幅広く伝え、視聴者の興味・関心に応えます。

室蘭放送局

- 地域の命と暮らしを守る防災・緊急報道に取り組みます
2018年の北海道胆振東部地震は地域に大きな被害をもたらし、復興に向けた歩みも道半ばです。地元の放送局として被災者に寄り添い、息長くサポートしていきます。前回の噴火から20年が経過した有珠山などの火山活動や新型コロナウイルスの影響などをきめ細かく伝え、命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。
- 地域が直面する課題に向き合い、解決に向けた情報を発信します
課題先進地とされる北海道の中でも、胆振・日高地方では製鉄など基幹産業の衰退や人口の減少が進み、医療や農業などの担い手不足も深刻です。産業や観光の振興、地域医療の在り方などを多角的に取材し、インターネットなども活用しながら視聴者とともに考え、課題解決に寄与する情報を幅広く伝えます。
- 胆振・日高の魅力を広く発信し、地域で活動する人々を応援します
アイヌ文化の発信拠点として2020年にオープンした民族共生象徴空間「ウポポイ」を軸に、地域で受け継がれてきたアイヌの歴史や文化を紹介し、理解促進に努めます。地域のローカルパートナーと連携して、豊かな自然や食、人々の活動などの多様な魅力を全国に発信し、地域の活性化に貢献します。

2021年度 四国地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

四国の4つの放送局は、地域の課題に向き合い、地域の魅力を発見し、地域とともに歩む放送局を目指します。ネットワークを生かすとともに、地域に根ざした放送を展開し、“公共メディア”として四国の視聴者の期待に応えます。

四国地方は、これまでにない規模の台風や大雨など気象災害、南海トラフ巨大地震といったリスクに直面しています。四国のNHKは、命と暮らしを守る報道に全力で取り組みます。大規模災害に備え、西日本各地の放送局と連携して災害報道にあたる広域的な体制構築を進めます。西日本豪雨の被災地復興の動きを継続して見つけ、経験を未来に生かす取り組みも行います。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、地域経済に深刻な影響を与えています。人口減少や高齢化、農林水産業・地場産業の振興といった課題も依然として残されています。現状を広く深く伝えるとともに、解決に向けた糸口をオール四国で探ります。豊かな自然や文化といった四国の魅力を再確認する番組も放送します。

地域の視聴者との“つながり”を重視した放送やイベントを展開します。地域のみなさんと一緒に作り上げる「もっと四国音楽祭」や、四国のテーマソング「ふるさとの色」に親しみを感じてもらう取り組みを継続します。ウィズコロナを意識したさまざまなタッチポイントの創出に努めます。

東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックでは四国にゆかりのある注目選手の動きなどを多角的に発信します。地元スポーツチームの試合を中継するとともに、最新情報をきめ細かく伝え、スポーツを通じて地域を盛り上げます。

《各局の重点事項》

松山拠点放送局

- 命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます
南海トラフ巨大地震や台風、豪雨などの自然災害に備えて、日頃から防災・減災につながる情報を発信します。災害発生時には正確・迅速な緊急報道に取り組み、テレビ・ラジオ・インターネット・データ放送などあらゆる手段を用いて情報を届けるほか、被災者が必要とするライフライン情報をきめ細かく伝えます。四国域内だけでなく、西日本各地の放送局と連携して、災害報道にあたる体制の構築を進めます。
- 西日本豪雨の教訓を未来に生かします
西日本豪雨から3年目を迎えます。被災地に暮らす人々が抱えるさまざまな課題を継続して取材・放送します。被災地復興の動きを見つめ、教訓を未来に生かします。
- 新型コロナウイルスの感染状況や影響、課題をきめ細かく伝えます
新型コロナウイルスの感染状況や予防対策をきめ細かく伝え、視聴者の安全で安心な暮らしに貢献します。地域経済などに与える影響や苦境を克服しようとする動きを丁寧に伝え、視聴者の関心に応えます。
- 開局80年、より親しまれる放送局を目指します
開局80年の節目にふさわしい多彩なコンテンツを幅広い世代に届けます。地域の放送局としてこれまで以上に存在感を高め、視聴者からより親しまれる放送局を目指します。地域のみなさんと一緒に作り上げる「もっと四国音楽祭」を実施し、四国のテーマソング「ふるさとの色」を通じて視聴者との結びつきを強めます。
- 愛媛や四国の魅力を伝える多彩な番組を発信します
金曜午後7時台では、県内の視聴者の素朴な疑問を調査する番組や、四国の人々との交流を通じて地域の魅力を伝える番組を放送します。また、俳句を通して、人々の思いや人生を読み解く番組を制作します。土曜の午前7時台は、地域の魅力を再発見する番組を放送します。さらに新たな発想・演出を生かした番組開発やデジタル展開にも取り組みます。
- 地域が抱える課題に正面から向き合います
人口減少や少子高齢化、農林水産業・地場産業の振興、伊方原子力発電所の安全対策など、愛媛が抱えるさまざまな課題について、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の報道番組などで取り上げ、解決につながるヒントを探ります。
- オリンピック・パラリンピックに向け地域のスポーツを盛り上げます
四国にゆかりのある出場選手の動向に注目し、各地の熱気とあわせて多角的に発信します。また、地域スポーツを盛り上げるため、高校野球や地元プロサッカーチームの挑戦なども積極的に取り上げます。

高知放送局

○高知のみなさまの命と暮らしを守る情報の発信に全力で取り組みます

県民の安全・安心の拠点として、南海トラフ巨大地震とそれがもたらす津波、さらに台風や豪雨などの災害に備えて命と暮らしを守る情報発信の体制を整えます。防災・減災に役立つコンテンツをさらに充実させ、視聴者が自分ごととして受け止めて行動に移せるような災害報道を追求します。朝倉サテライトスタジオを日常的に活用して緊急報道に万全を期すとともに、発災時にはテレビやラジオ、インターネットなど、あらゆる手段を活用して正確・迅速に情報を提供します。また新型コロナウイルスの感染状況や対策、地域への影響をきめ細かく伝えて、視聴者の関心に応えます。

○高知のみなさまのニーズに応えるニュース・情報を届けます

視聴者のニーズを分析し、期待に応える県域放送を届けます。平日午後6時台のニュース・情報番組では地域の課題解決に貢献し、暮らしに役立つニュースや情報を発信します。金曜午後7時台ではさまざまな演出で高知の魅力を発信し、視聴者に親しまれる番組を制作します。また、より多くの視聴者が出演できる企画を提供するなど、さらに身近な放送を目指します。

○高知の魅力を全国・世界に発信し、地域の活性化に貢献します

高知の人々が誇る、歴史や自然・食などの多彩な魅力を、全国・世界に発信します。特に昨年、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた「よさこい祭り」は、その影響を克服して立ち上がる高知の姿を象徴するものとして、中継や関連番組で多角的に伝えます。そのほか、4Kカメラで撮影した県内各地の表情を、全国放送や国際放送などあらゆるチャンネルを使って発信し、地域の活性化に貢献します。

○開局90年 幅広い世代に親しまれる放送局を目指します

1932年3月に高知放送局が四国で最初の放送局としてラジオ放送を開始してから90年。この節目にふさわしい関連番組や会館公開などの多彩なコンテンツをテレビやラジオ、イベントを通じて提供し、視聴者との結びつきを強め、未永く親しまれる放送局を目指します。

○“東京2020”に向け、スポーツを通じて地域を盛り上げます

オリンピックやパラリンピックの大舞台で高知県ゆかりの選手が奮闘する姿を伝え、応援します。“東京2020”に向けては、聖火リレーの模様やホストタウンの取り組みも積極的に盛り上げます。また、夏・秋の高校野球県大会のほか、プロ野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「高知ファイティングドッグス」やサッカーJFL「高知ユナイテッドSC」の情報も積極的に盛り上げ、スポーツの放送を通じて地域を盛り上げます。

徳島放送局

○命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます

徳島県では、南海トラフ巨大地震とそれがもたらす津波による甚大な被害が想定されているうえ、台風・豪雨による被害が頻発しています。ふだんから防災・減災につながる情報を、テレビ・ラジオ・インターネットを通して発信するだけでなく、災害が起きた際には、被災した人たちに必要なライフライン情報や復旧・復興につながる情報を全局体制で的確・迅速に発信します。情報を充実させるために、地元民放やFMラジオ局、ケーブルテレビとの連携を進め、1人でも多くの人に情報が届けられる体制を強化します。

○地域放送を充実させて地域の課題を掘り下げ、魅力を伝えます

コロナ禍での「阿波おどり」がどうなるのか？課題が山積する徳島の経済をどう立て直すのか？過疎化、少子化、高齢化が進む地域をどうするのか？徳島が抱える課題を掘り下げ、解決に向けた糸口を探ります。豊かな自然や絶景、阿波藍などの美しい文化、県外でも親しまれている豊かな食、徳島に魅力を感じて移住してきた人や会社など、地域の活性化につながる、徳島の魅力を再確認する番組を放送します。

○地域のスポーツを応援し、徳島を元気にします

サッカーJリーグ「徳島ヴォルティス」、プロ野球独立リーグの四国アイランドリーグ plus「徳島インディゴソックス」など、徳島に根ざして活動するプロスポーツチームの活躍はもちろん、高校野球や中学校サッカー、2022年に四国各地で開かれる「全国高等学校総合体育大会」に向けた動きなど、アマチュアスポーツの熱気も共有し、徳島のスポーツを応援します。

○“地域とつながる”取り組みを展開し、地域のハブとして役に立ちます

ウィズコロナ時代の“地域のハブ”として、平日午後6時台のニュース・情報番組で県内各所に出向いて集中的に地域を盛り上げる中継をしたり、NHKが地域の学校に出向いて防災の意識を高めてもらう「NHK防災教室」を開催したりするなど、さまざまな公開番組や放送連動イベントを行い、徳島の活性化を支えます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」を盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、コロナ対策を取ったうえで行われる徳島県内での聖火リレーの様子を紹介するほか、ドイツ、カンボジア、ネパール、ジョージアのホストタウンとして、事前キャンプに訪れる選手たちの動きを紹介します。地元出身のアスリートを応援します。

高松放送局

○ 災害から命と暮らしを守る報道に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震では、香川県内も津波や建物の倒壊などによる大きな被害が想定されています。また、台風や予測の難しい豪雨災害、高潮やため池の決壊による浸水のリスクにも直面しています。県内の災害のリスクや、防災・減災に役立つ情報や企画を日頃から積極的に発信します。災害発生時には、県内にいる人たちに必要な情報を確実に届けるため、テレビやラジオの県域放送、L字型画面・デジタル発信を速やかに開始し、一人一人に届く報道に努めます。

○ 新型コロナウイルスで打撃を受けた、地域を応援します

新型コロナウイルスの最新情報や、地域社会や経済に与えるさまざまな影響や課題をきめ細かく取材・放送し、視聴者の関心に応えます。また、感染拡大で打撃を受けた、香川の観光の魅力を再発見する企画を制作するなど、地域の人たちと連携して前向きなメッセージを発信し、コロナ禍を乗り越えようとする地域を応援します。

○ 香川県のニュースを詳しくわかりやすく、地域の多彩な情報も届けます

平日午後6時台のニュース・情報番組は、その日伝えるニュースや企画などの項目をわかりやすく一覧表示し、主要なニュースや地域の課題はニュースアップや特集で詳しく伝えます。瀬戸内海の島々の魅力を香川県出身のシンガーソングライターが歌にして紹介する企画や、瀬戸大橋で結ばれた岡山県と連携して香川・岡山両県から中継を出し合う「瀬戸内ライブ」などを通じて、地域に元気を届けます。今が旬の食やホットな話題のリポート、わかりやすく親しみやすい気象コーナーなど、生活に密着した情報を届けます。

○ 豊かな地域放送番組やサービスを提供します

金曜午後7時台の地域放送番組は、地域に向き合ったドキュメンタリーや報道情報系のテーマに力を入れ、見応えのある番組を発信します。香川県で毎年開かれる中四国最大規模の野外ロックフェスティバル「モンスターバッシュ」の特集番組を制作し、コロナ禍で模索が続くエンターテインメントの現場に密着します。4Kの超高精細映像の番組も継続的に制作・放送します。ラジオの地域放送番組では、高松市で毎年開催される地元出身の作家・菊池寛の文学展にあわせて高松放送局のアナウンサーやキャスターが作品を朗読し、地域サービスの充実に貢献します。

○ “東京2020”や地域のスポーツを盛り上げます

「東京オリンピック」の聖火リレーが、4月に香川県内の島しょ部を含む全17市町を回ります。県内の聖火ランナーの紹介や当日の放送を通じて、大会への機運を盛り上げます。「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される香川ゆかりの選手を、ニュースや企画などで積極的に紹介します。また、地域のさまざまなスポーツをニュース・情報番組などで幅広く取り上げます。

(別 冊)

2021年3月9日

2021年度 (令和3年度)

各地方向け 地域放送番組編成計画

目 次

1. 各ブロックの編成

(1) 関東甲信越ブロック	1
(2) 近畿ブロック	6
(3) 中部ブロック	10
(4) 中国ブロック	15
(5) 九州沖縄ブロック	19
(6) 東北ブロック	24
(7) 北海道ブロック	29
(8) 四国ブロック	33
(9) 総合テレビ 平日午前11時台、午後6時台、金曜午後7～8時台、 日曜午後1時台、ラジオ第1 平日夕方 地域放送一覧	37
(10) ラジオ第1・FM ニュース・気象情報・お知らせ等	40
(11) ラジオ第1 交通情報上乘せ一覧	44

2. 全国向け地域情報番組、地域放送局制作の全国放送番組

(1) 主な全国向け地域情報番組	45
(2) 主な地域放送局制作の全国放送番組	47

3. 補完放送等について

4. インターネット活用業務について

5. 地域放送時間

(1) 地域放送時間（各拠点局ごとの1日の平均）	49
(2) 各局地域放送時間一覧（1日の平均）	50

1. 各ブロックの編成

(1) 関東甲信越ブロック

〈編成のポイント〉

国内の人口のおよそ40%が暮らす関東甲信越。人々の安全と安心を守るため、首都圏局と管内9つの放送局が連携し、感染拡大が続く新型コロナウイルスに関する報道に全力を尽くすほか、災害や事件・事故に対して正確かつ迅速に情報を発信していく。持続可能な社会の実現に向け、SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）への取り組みについて、若者や企業、地域など幅広い現場取材し、タイムリーに伝える。また、コロナ禍での開催が予定される「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、大会の魅力と課題を多角的に伝える。さまざまなかたちで、地域の視聴者の関心とニーズに的確に伝えていく。

○独自のテレビ地上波を持たない南関東の3県（神奈川・千葉・埼玉）と東京都を「1つのエリア」として、この地域の視聴者に求められる情報を、首都圏局と南関東3局（横浜放送局・千葉放送局・さいたま放送局）が一体となって取材・制作し、放送やインターネットなど多様なメディアで積極的に発信していく。

○午後6時台のニュース・情報番組では、地域のニュースや話題、生活に密着した情報を正確・迅速にわかりやすく伝える。さらに命と暮らしを守るため、防災・減災についての情報を特集などできめ細かく伝える。また午後6時30分からは東京と南関東の1都3県向けの放送を通じて地域に根差した情報の発信を継続する。

○日曜午後1時台には「たっぷり関東NHK」を新設。関東地方の視聴者に向け、各地域放送局が制作した番組の傑作選や、南関東3県や東京を舞台にした新作番組など、地域に密着した多様な番組を編成する。

○金曜午後7時台の「首都圏情報 ネットドリ！」では、新型コロナウイルスの影響について取材を継続するほか、医療や教育など暮らしに密着したテーマ、SDGs や新しいトレンドなど、多彩なラインナップを届ける。各地域放送局で制作する金曜午後7時台の県域放送について、それぞれの地域特有の課題を見つめて解決の糸口を探るほか、注目を集める人物や土地の魅力などを伝える。また、ブロック全体で局間の連携を強化、北関東の3局（前橋放送局・水戸放送局・宇都宮放送局）で番組制作を行うなど、隣接する県、エリアへの視聴者の関心に応える情報を発信する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「首都圏情報 ネットドリ！」

〈関東甲信越ブロック〉 後 7:30～ 7:57

「ぐんまスペシャル」 〈前橋単〉 後 7:30～ 7:57 (年5本程度)

「茨城スペシャル」 〈水戸単〉 後 7:30～ 7:57 (年7本程度)
※時間拡大の場合あり

「とちスペ」 〈宇都宮単〉 後 7:30～ 7:57 (年7本程度)
※時間拡大の場合あり

「キタカン+」(新設)

〈前橋・水戸・宇都宮ブロック〉 後 7:30～ 7:57 (年3本程度)

北関東の群馬県・茨城県・栃木県に共通する課題や知られざる魅力をさまざまな角度から掘り下げ、お届けする番組。前橋・水戸・宇都宮の各放送局が県境を越えて連携。農業・人口問題から歴史・観光まで、多彩なテーマを取り上げ、新たな視点で伝える。

「知るしん 信州を知るテレビ」〈長野単〉 後 7:30～ 7:55 (年36本程度)
※時間拡大の場合あり

「金よう夜 きらっと新潟」 〈新潟単〉 後 7:30～ 7:57 (年36本程度)

「ヤマナシ・クエスト」 〈甲府単〉 後 7:30～ 7:57 (年15本程度)
※時間拡大の場合あり

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「首都圏ネットワーク」 〈関東1都6県(除く水戸)〉 後 6:10～ 7:00
※後6:30～7:00 前橋・宇都宮は別番組

「ほっとぐんま630」 〈前橋単〉 後 6:30～ 7:00

「いば6」 〈水戸単〉 後 6:10～ 7:00

「とちぎ630」 〈宇都宮単〉 後 6:30～ 7:00

「イブニング信州」 〈長野単〉 後 6:10～ 7:00

「新潟ニュース610」 〈新潟単〉 後 6:10～ 7:00

「Newsかいドキ」 〈甲府単〉 後 6:10～ 7:00

〈総合テレビ 日曜午後1時台の編成〉

「たっぷり関東NHK」(新設) <東京単> 後 1:05~1:35 (年10本程度)
関東地方の視聴者に向け、各地域放送局が制作した番組の傑作選や、南関東3県や東京を舞台にした新作番組など、地域に密着した多様な番組をお届けする。

「金よう夜 きらっと新潟」(再) <新潟単> 後 1:05~1:32 (年20本程度)

〈ラジオ第1 平日夕方編成〉

「ゆる信ワイド」 <長野単> (金) 後 4:05~ 5:00
(金) 後 5:05~ 6:00

「にいがた ゆうときラジオ」 <新潟単> (最終金) 後 4:55~ 5:58

「かいラジオ」 <甲府単> (最終金) 後 5:05~ 5:55

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(新設)

「ひるどき! さいたま~ず」 <さいたま単> [FM] (火~金) 前11:00~後0:00
さまざまな生活圏文化圏が交わる埼玉の「多彩」な魅力に光を当て、各地の人や話題を掘り下げる。いまを生きる若い人たちの姿も息づく、埼玉愛あふれる番組をお届けしていく。

〔関東甲信越ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印新設番組
☆印移設番組

※〈関東甲信越ブロック〉 東京/横浜/前橋/水戸/千葉/宇都宮/さいたま/長野/新潟/甲府
※〈東京単〉 東京/横浜/前橋/水戸/千葉/宇都宮/さいたま

前4	月	火	水	木	金	土	日	後4
5 56 59	〈関東甲信越ブロック〉 気象情報			〈関東甲信越ブロック〉 気象情報				5 5 59
6 28 30	〈関東甲信越ブロック〉 気象情報			〈関東甲信越ブロック〉 気象情報				28 6 30
55	〈東京単〉 交通情報・気象情報			〈関東甲信越ブロック〉 交通情報・気象情報		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		55
7 45 55	〈長野単・新潟単・甲府単〉 ニュース・気象情報			〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・リポート・中継・交通情報・気象情報		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		30 7 45
8	〈長野単・新潟単・甲府単〉 ニュース・気象情報			〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・リポート・中継・交通情報・気象情報		〈長野単〉(土)前9:30~10:00 ☆知るしん 信州を知るテレビ(再) +ミニ番組(34本程度)		8
9	〈新潟単〉(金)前11:50~11:54 ひるまえ伝言板 〈水戸単〉(金)前11:30~11:54 金曜は!いばっチャオ 〈宇都宮単〉(金)前11:50~前11:54 ちょこトチ!			有吉のお金発見 突撃!カネオくん(再)		〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		30 9 58
10	〈東京単〉 ひるまえほっと			〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		〈関東甲信越ブロック〉 首都圏情報 ネットドリ!(再) ※一部地域は本放送		55 10
05 11 30 54 57	〈関東甲信越ブロック〉(金)は除く水戸)ひるまえほっと ※(金)新潟単・宇都宮単は11:50まで「ひるまえほっと」受け 気象情報(全国)			前10:55~11:22 〈甲府単〉ヤマナシ・クエスト(再) (原則本放送翌週・年10本程度)		〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		22 11 57
後 0 15 20	〈東京単・新潟単・甲府単・前橋単・水戸単・宇都宮単〉 気象情報			〈長野単〉 気象情報・お知らせ		〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		10 後 15 0
1	〈東京単(除く水戸)〉 ニュース			〈関東甲信越ブロック(除く新潟)〉 ニュース		〈新潟単〉 ニュース		05 1 50
2	〈長野単・新潟単・甲府単・水戸単〉 ニュース			★〈東京単〉 たっぷり関東NHK(年10本程度) 【教養・報道】 〈新潟単〉 金よう夜 きらっと新潟(再)(年20本程度)		サンドのお風呂 いただきます(再)ほか		2
3 07 10	〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報			〈長野単〉 イブニング信州 〈新潟単〉 新潟ニュース610 〈甲府単〉 Newsガイドキ 〈前橋単〉 後6:30~7:00 ほっとくんま630 〈水戸単〉 いば6 〈宇都宮単〉 後6:30~7:00 とちぎ630		〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		3
4	〈東京単(除く水戸)〉 首都圏ネットワーク ※前橋単・宇都宮単は6:30まで「首都圏ネットワーク」受け			〈長野単〉 信州645 ※気象情報(全国)脱 〈新潟単〉 ニュース・気象情報		〈関東甲信越ブロック(除く長野・新潟)〉 ニュース・気象情報 ※後6:53~6:55 は気象情報(全国)		4 6 45
5 57 00	〈関東甲信越ブロック〉 気象情報			〈甲府単〉 後6:55~7:00 ニュース・気象情報		〈関東甲信越ブロック〉 気象情報		5 5 57
7 30 57	〈長野単〉 知るしん 信州を知るテレビ(年34本程度) ※7:55~7:57はミニ番組 ※時間拡大の場合あり 〈新潟単〉 金よう夜 きらっと新潟(年34本程度) 〈甲府単〉 ヤマナシ・クエスト(年15本程度) ※時間拡大の場合あり 〈前橋単〉 ぐんまスペシャル(年5本程度) 〈水戸単〉 茨城スペシャル(年7本程度) ※時間拡大の場合あり 〈宇都宮単〉 とちすべ(年7本程度) ※時間拡大の場合あり ★〈前橋・水戸・宇都宮ブロック〉 キタカンナ(年3本程度) 【報道・教養・娯楽】			〈関東甲信越ブロック〉 首都圏情報 ネットドリ!		〈甲府単〉 後6:55~7:00 ニュース・気象情報		30 7 57
8 45	〈東京単(除く水戸)〉 首都圏ニュース845			〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		55 8
9	〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845			〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		9
10	〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845			〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		10
11	〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845			〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		11
深夜	〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845			〈長野単〉 信州845 〈新潟単〉 新潟ニュース845 〈甲府単〉 ニュース山梨845 〈水戸単〉 茨城ニュース845		〈関東甲信越ブロック〉 ニュース・気象情報		深夜

〔関東甲信越ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	<p>※4:05~5:00 5:05~6:00</p> <p>後5:05~5:55</p> <p>にっぽん列島夕方ラジオ(月~金)</p> <p>〈長野単〉 ゆる信ワイド</p>							午後
夜間	<p>〈新潟単〉にいがた ゆうどきラジオ(最終金・後4:55~5:58) 〈甲府単〉かいラジオ(最終金・後5:05~5:55)</p>							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	<p>前11:00~後0:00</p> <p>★〈さいたま単〉(火)~(金)ひるどき!さいたま~ず</p> <p>〈千葉単〉(木)~(金)花ラジオちば</p>							午前
午後	<p>後6:00~6:50</p> <p>夜のプレイリスト(再)</p>							午後
夜間	<p>〈横浜単〉はま☆キラ!(金)後6:00~7:00 〈宇都宮単〉夕暮れとちのき堂(最終金・後6:00~7:00・年12本程度)</p>							夜間

(2) 近畿ブロック

〈編成のポイント〉

近畿地方の6つの放送局は、地域の安全・安心を支える拠点として、防災・減災に連携して取り組む。災害や事件・事故の際には情報を正確・迅速に発信し、地域における情報の社会的基盤としての役割を果たす。同時に、大阪拠点放送局発の全国放送番組を拡充し、本部代替機能をより一層強化する。地域の課題に向き合うとともに、暮らしに役立つ情報や、近畿地方ならではの魅力を幅広い番組を通して発信する。放送だけでなくインターネットも適切に活用し、視聴者から親しまれ、信頼される公共メディアを目指す。

- 土曜午後8時台に、「関西“愛”認定バラエティー ちゃうんちゃう？」を月1本程度編成する。知られざる関西ならではの魅力や不思議をクイズ形式で紹介、現役世代を中心とした幅広い層の興味・関心に応える。
- 金曜午後7時台は、近畿6局が連携しながら、旬なテーマで関西のさまざまな魅力や課題を掘り下げる。報道番組「かんさい熱視線」では、“視聴者の身近に”をモットーに、新型コロナ関連など関心の高い事象や注目すべき出来事を機動的に取り上げ、役に立つ情報をわかりやすく伝える。
- 水曜午後8時台は、旅番組「ええトコ」を継続する。地元の人々とのふれあいや美しい風景を通じて、視聴者がいつか出かけてみたくなるその土地ならではの魅力を掘り起こし、地域の活性化に貢献する。
- 平日午後6時台の各放送局のニュース・情報番組では、きょう1日の出来事にこだわり、“ホットなニュース”を分厚く伝える。スタジオ演出なども充実させ、“納得感”ある番組を目指す。6時30分からは、各地の放送局から地域の情報を詳しくわかりやすく伝える。
- 非常事態の際に本部に代わって放送・サービスを維持できるよう、大阪拠点放送局から全国向けのニュースや生放送番組を拡充し、情報発信力を強化する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「かんさい熱視線」 <近畿ブロック> 後 7:30~ 7:57

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「ニュースほっと関西」 <近畿ブロック> 後 6:10~ 6:30
<大阪単> 後 6:30~ 7:00

「ニュース630 京いちにち」 <京都単> 後 6:30~ 7:00

「Live Love ひょうご」 <神戸単> 後 6:30~ 7:00

「ギュギュっと和歌山」 <和歌山単> 後 6:30~ 7:00

「ならナビ」 <奈良単> 後 6:30~ 7:00

「おうみ発630」 <大津単> 後 6:30~ 7:00

〈総合テレビ 水曜午後8時台の編成〉

「ええトコ」 <近畿ブロック> 後 8:15~ 8:40

〈ラジオ第1 平日夕方の編成〉

「関西ラジオワイド」 <近畿ブロック> 後 4:05~ 5:00
後 5:05~ 6:00

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(新設)

「とっておき!木曜笑(ショー)タイム」

<近畿ブロック>〔総合テレビ〕(木)後 3:10~ 3:52

近畿ブロックで放送してきた「上方落語の会」をリニューアル。NHK大阪ホールで収録した落語を中心にしながら、これまで大阪拠点放送局が放送してきた漫才や落語、寄席芸などの名人芸を取り上げる回も交えて、幅広い視聴者に多様な関西の笑いを届ける。

「関西“愛”認定バラエティー ちゃうんちゃう?」

<近畿ブロック>〔総合テレビ〕(土)後 8:15~ 8:45

(月1本程度)

「関西めっちゃ好きやねん」と地元愛が強い人も「え?知らなかった!」と驚くような、さまざまな分野の知られざる関西を紹介。関西愛が“ほんまもん”かどうか試される地元密着クイズバラエティー。

〔近畿ブロック〕
【総合テレビ】

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前 4								前 4
5 56 59	〈近畿ブロック〉気象情報			〈近畿ブロック〉気象情報				55 5 59
6 28 30 53	〈近畿ブロック〉気象情報			〈近畿ブロック〉ニュース・気象情報 ※6:53-6:55は脱				28 6 30 53
7 45	〈近畿ブロック〉おはよう関西				〈近畿ブロック〉 ウイークエンド関西		〈近フ〉ニュース・気象情報	30 40 45 7
8							〈近フ〉 エネットコ再団	25 8
9								9
10						〈近畿ブロック〉 かんさい熱視線(再)		55 10
11 30 54 57	〈近畿ブロック〉ぐるっと関西 おひるまえ				〈近畿ブロック〉気象情報		22 11	
後 15 0 20	〈大阪・神戸ブロック〉気象情報 (前11:57~〈京都単〉〈和歌山単〉〈奈良単〉〈大津単〉気象情報)				〈近畿ブロック〉気象情報			10 後 15 0
1	〈近畿ブロック〉ニュース				〈近畿ブロック〉ニュース			1
2								2
3 07 10 52	〈近畿ブロック〉ニュース				〈近畿ブロック〉 ★とっておき! 木曜笑(ショー)タイム 団 【娯楽】		3	
4								4
5 57 00	〈近畿ブロック〉気象情報							5
6 30	ニュースほっと関西 団				〈近畿ブロック〉6:10~6:30 〈大阪単〉6:30~7:00		6	
7 30 57	〈京都単〉ニュース630 京いちにち 〈神戸単〉Live Love ひょうご 〈和歌山単〉ギュギュっと和歌山 〈奈良単〉ならナビ 〈大津単〉おうみ発630				〈近畿ブロック〉ニュース・気象情報 (6:53-6:55 気象情報(全国))			45 7
8 40 42 45	〈近畿ブロック〉 エネットコ 団		〈近畿ブロック〉 かんさい熱視線 ローカル特集番組		〈近畿ブロック〉 ★関西“笑”認定バラエティー ちゃんちゃん? (月1本程度) 団 【教養・娯楽】			15 8 45 55
9	〈各局単〉 ニュース845 団(大阪単)				〈近畿ブロック〉ニュース・気象情報			9
10								10
11								11
深夜								深夜

〔近畿ブロック〕
【ラジオ第1】

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前7:40~8:00 〈近畿ブロック〉マイあさ!関西							午前
午後	後4:05~6:00 (後5:00~5:05は全中ニュース受け) 〈近畿ブロック〉関西ラジオワイド							午後
夜間								夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後6:00~6:50 〈和歌山単〉ラジオ防災講座(年6本程度) 〈大津単〉しが!!防災応援ラジオ(金・月1本程度)							午後
夜間								夜間

(3) 中部ブロック

〈編成のポイント〉

中部地方の各放送局は、ネットワークを生かし地域の人々の命と暮らしを支えるための防災・減災情報の発信に努める。平日午後6時台や金曜午後7時台を主軸として地域ごとに異なる課題や特性を踏まえた番組を編成し、多彩で質の高い放送とサービスを提供する。

- 金曜午後7時台は、ブロック放送の報道情報番組「ナビゲーション」を軸にしつつ、東海3県や北陸3県といったミニブロック放送や県域放送を設けることで地域特性にあわせた放送の充実を図る。「ナビゲーション」は、各放送局と柔軟に連携し地域に共通する課題やテーマを掘り下げる。金曜午後8時台は、「中部ネイチャーシリーズ」など地域の多彩な魅力を伝える特集番組やプロ野球中継をバランスよく編成する。
- 平日午後6時台は、各地域のニュース情報番組を編成し、機動的な取材体制でその日のニュースをわかりやすく伝える。地震や台風、大雨などの防災・減災報道はもちろん、新型コロナウイルスの感染拡大防止につながる情報や、地域社会と経済への影響も継続的に発信する。地元スポーツチームの動向を伝えていくとともに、「東京オリンピック・パラリンピック」や「北京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元アスリートも積極的に取り上げる。
- 平日午前11時台は、「さらさらサラダ」を編成し、料理や暮らしの知恵などの実用情報やゲストによるトーク、各地のイベント情報を中心に伝える。各放送局が制作する企画も積極的に盛り込み、地域の魅力の再発見につながる内容を紹介する。
- 土曜午前10時台は、音楽番組「Ut a-Tube」を編成し、臨場感あふれるライブをフルコーラスで届ける。豪華アーティストからブレイク間近の地元アーティストまでさまざまな出演者を招き、最新の音楽情報やアーティストの素顔に迫るトークを届ける。
- ラジオ第1の午後5時台は、各地域に根ざした情報を伝える番組を編成する。災害時にも活用してもらえよう、日頃から“命と暮らしを守る”情報源としての役割も意識し、リスナーに寄り添いながら地域の安全・安心を支える。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「ナビゲーション」	〈中部ブロック〉	後	7:30～	7:55	
「金とく」	〈東海3県〉	後	7:30～	7:55	(年7本程度)
	〈中部ブロック〉	後	7:56～	8:39	(年6本程度)
「北陸スペシャル」	〈北陸ブロック〉	後	7:30～	7:55	(年数本程度) ※後7:56～8:39の場合あり
「いしかわ令和プレミアム」	〈金沢単〉	後	7:30～	7:55	(年15本程度)
「静岡スペシャル」	〈静岡単〉	後	7:30～	7:55	(年20本程度) ※後7:30～8:42の場合あり
「ザウルス!今夜も掘らナイト」	〈福井単〉	後	7:30～	7:55	(年20本程度)
「越中とやまスペシャル」	〈富山単〉	後	7:30～	7:55	(年11本程度)
「みえスペシャル」	〈津単〉	後	7:30～	7:55	(年8本程度) ※後7:56～8:39の場合あり
「ぎふスペシャル」	〈岐阜単〉	後	7:30～	7:55	(年8本程度) ※後7:56～8:39の場合あり

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「まるっと!」	〈東海3県〉	後	6:10～	6:30	
	〈名古屋単〉	後	6:30～	7:00	
「まるっと!みえ」	〈津単〉	後	6:30～	7:00	
「まるっと!ぎふ」	〈岐阜単〉	後	6:30～	7:00	
「かがのとイブニング」	〈金沢単〉	後	6:10～	7:00	
「NHKニュース たっぷり静岡」(改題)	〈静岡単〉	後	6:10～	7:00	
「ニュースザウルスふくい」	〈福井単〉	後	6:10～	7:00	
「ニュース 富山人」	〈富山単〉	後	6:10～	7:00	

〈総合テレビ 日曜午後1時台の編成〉

- 「金とく」(再) <中部ブロック> 後 1:05~ 1:48 (年6本程度)
- 「北陸スペシャル」(再) <北陸ブロック> 後 1:05~ 1:48 (年数本程度)
※土曜・前9時台で編成の場合あり
- 「いしかわ令和プレミアム」(再) <金沢単> 後 1:05~ 1:30 (年5本程度)
※土曜・前9時台で編成の場合あり
- 「静岡スペシャル」(再) <静岡単> 後 1:05~ 1:30
- 「ザウルス!今夜も掘らナイト」(再)
<福井単> 後 1:05~ 1:30 (年20本程度)
- 「越中とやまスペシャル」(再)
<富山単> 後 1:05~ 1:30 (年11本程度)
※土曜・前9時台で編成の場合あり
- 「みえスペシャル」(再) <津単> 後 1:05~ 1:30 (随時)
- 「ぎふスペシャル」(再) <岐阜単> 後 1:05~ 1:48 (年8本程度)

〈ラジオ第1 平日夕方の編成〉

- 「タ刊 ゴジらじ」 <東海3県> (月~金) 後 5:00~ 5:55
- 「じわもんラジオ」 <金沢単> (金) 後 5:00~ 5:55
- 「Dino★ラジ!」(新設) <福井単> (金) 後 5:05~ 5:55
※原則最終週のみ/年1~2週は月~金で放送
多種多様な個性を持ち、王者として君臨した恐竜たち。いまま恐竜王国・福井には、可能性を秘めた人たちが次の“スター恐竜”となるべく飛躍の機会をうかがっている。月に一度、恐竜放送局の研究者たちが彼らにスポットライトを当てて世に送り出す。福井の未来を担う“スター恐竜”は、誰だ?
- 「ラジオ富山人」 <富山単> (金) 後 5:05~ 5:55

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(移設)

- 「U t a - T u b e」(再) <中部ブロック> [総合] (月) 後 11:40~翌0:00
- 「東海ピックアップ」 <東海3県> [総合] (土) 後 0:40~ 0:43
[総合] (日) 前 8:54~ 8:57

(改題)

- 「ひるしず」 <静岡単> [総合] (月~金) 前 11:50~後0:00

〔中部ブロック〕
〔総合テレビ〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日		
前 4								前 4	
5 56 59	〈中部ブロック〉 気象情報				〈中部ブロック〉 気象情報			55 5 59	
6 28 30	〈中部ブロック〉 気象情報							6	
7 55	〈各局単〉 ※東海3・静岡単・福井単は6:53~7:00				〈中部フ〉ニュース・交通情報・気象情報	53	〈中部フ〉ニュース・気象情報	55	
7 45	〈各局単〉 ※名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック				〈中部ブロック〉 ウィークエンド中部	30	〈中部フ〉ニュース・気象情報	40 7 45	
8							〈東海3〉ミニ番組 〈東海3〉東海ピックアップ(再)	52 8 54 57	
9						30 55	〈ナビゲーション(再)の放送がない場合〉 〈東海4〉金とく(再) 〈金沢単〉いしかわ令和プレミアム(再) 〈富山単〉越中とやまスペシャル(再) 〈北陸ブロック〉北陸スペシャル(再)	9	
10						55 15 20 22	〈中部ブロック〉 ナビゲーション(再) 〈中部ブロック〉ミニ番組 〈中部ブロック〉UtaTube 〈中部ブロック〉ミニ番組 〈中部ブロック〉ミニ番組	10	
11 30	〈各局単〉 前11:50~後0:00 ひるしず 〈津単〉 前11:50~後0:00 ちょこっと!みえ 〈岐阜単〉 前11:50~後0:00 みのひだ情報局							〈中部ブロック〉 さらさらサラダ (前11:50~11:54 静岡単、津単、岐阜単)	11
11 57	11:54~11:57 気象情報(全国)						気象(随時)	57	
後 15 0 20	〈各局単〉 気象情報				〈各局単〉 ニュース ※名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック			10 後 15	
1						40 43 45	〈東海3〉立派組ピックアップ 〈東海3〉ミニ番組	05 1	
2							〈中部フ〉金とく(再) (随時)	50 2	
3 07 3 10	〈中部ブロック〉 ニュース・気象情報							〈金沢単〉 いしかわ令和プレミアム(再) 〈静岡単〉 静岡スペシャル(再) 〈福井単〉 ザウルス!今夜も廻らナイト(再) 〈富山単〉 越中とやまスペシャル(再) 〈津単〉 みえスペシャル(再) 〈岐阜単〉 ぎふスペシャル(再) 〈北陸ブロック〉 北陸スペシャル(再)	3
4							〈金沢単〉 気象情報	4	
5 57 00	〈中部ブロック(除く金沢)〉 気象情報							5	
6	〈東海3〉 まるっと! (津・岐阜は6:30から単) 〈金沢〉 かがのとイブニング 〈静岡〉 NHKニュース たっぷり静岡 〈福井〉 ニュースザウルスふくい 〈富山〉 ニュース 富山人				〈各局単〉 ニュース・気象情報 ※名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック (6:53-6:55 気象情報(全国))			6	
7							〔金曜 後7:30〕 ※年数本程度は後8時台も放送 〈東海3〉 金とく(年7本程度) 〈金沢単〉 いしかわ令和プレミアム(年15本程度) 〈静岡単〉 静岡スペシャル(年20本程度) 〈福井単〉 ザウルス!今夜も廻らナイト(年20本程度) 〈富山単〉 越中とやまスペシャル(年11本程度) 〈津単〉 みえスペシャル(年8本程度) 〈岐阜単〉 ぎふスペシャル(年8本程度) 〈北陸ブロック〉 北陸スペシャル(年数本程度)	7	
8 45	〈各局単〉 ニュース845 ※名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック				30 55 57	39 42	〈中部ブロック〉 ナビゲーション 〈中部フ〉ミニ番組 〈東海3〉プロ野球(年2本程度) 〈中部フ〉金とく(年6本程度) 〈中部フ〉ミニ番組	55	
9								9	
10								10	
11 40	〈中部ブロック〉 ☆UtaTube(再)							11	
前 05 0 08	〈中部フ〉ミニ番組 〈中部フ〉ミニ番組							前 0	
深夜								深夜	

〔中部ブロック〕
〔ラジオ第1〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 後5:00~5:55 <金沢単> じわもんラジオ(毎週金) 後5:05~5:55 <福井単> ★Dino★ラジオ! (原則最終金/年1~2本は月~金) 【教養・報道・娯楽】 <富山単> ラジオ富山人(毎週金) </div>							午後
夜間	後5:00~5:55 <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; text-align: center;"> <東海3県ブロック> タ刊 ゴジらじ </div>							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> 後6:00~6:50 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <津単> みえDE川柳(毎月最終金) </div> 夜のプレイリスト(再) </div>							午後
夜間								夜間

(4) 中国ブロック

〈編成のポイント〉

中国地方の各地域放送局は、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供する。西日本豪雨災害を教訓に、巨大災害を想定して広域の連携・支援体制の構築を進め、日頃から防災・減災につながる情報発信を行う。中国地方に共通する課題をブロック放送で取り上げ、またデジタルツールを用いた新たな地域ジャーナリズムに挑戦し、視聴者に信頼され、親しまれる身近な放送局を目指す。

- 金曜午後7時台は、各地域放送局も参加する「ラウンドちゅうごく」を中心に、巨大災害の検証や防災への取り組み、地域経済の活性化や新型コロナウイルス感染拡大による暮らしへの影響など、地域の共通課題に徹底的に向き合って多角的な視点で伝えるほか、デジタルツールを用いて中国地方各県の出来事をひも解く。
松江放送局と鳥取放送局の山陰地方向けの放送や、岡山放送局と高松放送局、山口放送局と北九州放送局の連携など、隣接する放送局間の協力も引き続き推進する。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組では、各地の政治・経済・社会の動きや話題、生活に密着した情報をタイムリーにわかりやすく伝えるとともに、さまざまな課題を掘り下げ、解決につながるヒントを提示する。また、防災・減災につながるニュースや新型コロナウイルスに関する情報を正確・迅速に提供し、視聴者の関心に応える。
- 全国・世界に向けて核兵器廃絶と平和のメッセージを積極的に発信する。被爆76年となり、被爆者の高齢化が一層進む中、さまざまな手法を活用して被爆体験の継承に取り組む。
- 2021年に開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す中国地方ゆかりのアスリートの活躍を取り上げる。また、プロ野球、サッカーJリーグ、バスケットボールBリーグやアマチュアスポーツなど、地域に根ざしたスポーツの情報をきめ細かく伝え、スポーツ振興に貢献する。
- ラジオ第1の平日午後5時台では、地域のラジオ番組ならではの身近な話題を通じてリスナーとの結びつきを強め、災害発生時に重要な情報源となるラジオの聴取者拡大を図る。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「ラウンドちゅうごく」 〈中国ブロック〉 後 7:30～ 7:55 (年28本程度)

「“テッパン”話 仕入れました! 広島かたすみ食堂」
〈広島単〉 後 7:30～ 7:55 (年4本程度)

「@okayama」 〈岡山単〉 後 7:30～ 7:55 (年8本程度)

「さんいんスペシャル」
〈松江・鳥取ブロック〉 後 7:30～ 7:55 (年10本程度)
〈松江単〉 後 7:30～ 7:55 (年5本程度)
〈鳥取単〉 後 7:30～ 7:55 (年5本程度)

「Yスペ!」 〈山口単〉 後 7:30～ 7:55 (年15本程度)

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「お好みワイドひろしま」 〈広島単〉 後 6:10～ 7:00

「もぎたて!」 〈岡山単〉 後 6:10～ 7:00

「しまねっとNEWS610」 〈松江単〉 後 6:10～ 7:00

「いろ★ドリ」 〈鳥取単〉 後 6:10～ 7:00

「情報維新!やまぐち」 〈山口単〉 後 6:10～ 7:00

〈ラジオ第1 平日午後5時台の編成〉

「ひろしま コイらじ」 〈広島単〉 (月～木) 後 5:05～ 5:55

「ラジオ de もぎたて!」(新設) 〈岡山単〉 (最終水) 後 5:05～ 5:55
平日午後6時台のニュース・情報番組「もぎたて!」で伝えたりレポートや県内の魅力、岡山放送局の最新の取り組みを、ラジオ放送向けにアレンジしてお届けする番組。視聴者からのお便りやリクエストを交えた、50分間の生放送。

「中国!ちゅーもく!ラジオ」 〈中国ブロック〉 (金) 後 5:05～ 5:55

- 〈放送ラインナップ〉
- ・「ひろしま コイらじ」 (年11本程度)
 - ・「おからじ!」 (年6本程度)
 - ・「まるっと☆しまね」 (年6本程度)
 - ・「やしろ荘でごによごによ」 (年6本程度)
 - ・「YAMAGUTIC」 (年6本程度)

〔中国ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前 4								前 4
5	56 59	〈中国ブロック〉気象情報				〈中国ブロック〉気象情報		55 59
6	28 30 53	〈中国ブロック〉気象情報				〈中国ブロック〉気象情報		28 30 55
7	45 51	〈中国ブロック〉ニュース・気象情報				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		30 40 45 55
8		〈各局単〉				〈中国ブロック〉ラウンドちゅうごく。(再) (年28本程度)	〈各局単〉	8
9		〈中国ブロック〉おほよふ日本				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		9
10		〈中国ブロック〉ラウンドちゅうごく、"テッパン" 話 仕入れました! 広島かたすみ食堂(再) (年4本程度) 〈岡山単〉@okayama(再)(年8本程度) 〈松江・鳥取ブロック〉×松江単×鳥取単 さんいんスペシャル(再) (松江・鳥取ブロック:年10本程度 松江単:年5本程度、鳥取単:年5本程度) 〈山口単〉Yスペ!(再)(年15本程度)				〈中国ブロック〉ラウンドちゅうごく、"テッパン" 話 仕入れました! 広島かたすみ食堂、 @okayama、さんいんスペシャル、 Yスペ! ほか(セレクション) 〈中国ブロック〉おしらせ		10
11	40	〈中国ブロック〉ひるまえ直送便				〈中国ブロック〉気象情報		20 22 11
	54 57	気象情報(全国)				〈中国ブロック〉ニュース		57
後		〈中国ブロック〉ニュース				〈中国ブロック〉ニュース		後
0	15 20	〈各局単〉ニュース				〈中国ブロック〉ニュース		15 0
1		〈中国ブロック〉ニュース・気象情報				〈広島単〉(土)(日)後2:00~(4:00)ほか Jリーグ(年4本程度) 〈岡山単〉(土)(日)後2:00~(4:00)ほか Jリーグ(年2本程度) 〈山口単〉(土)(日)後2:00~(4:00)ほか Jリーグ(年1本程度)		1
2		〈中国ブロック〉ニュース・気象情報				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		2
3	07 310	〈中国ブロック〉ニュース・気象情報				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		3
4		〈中国ブロック〉ニュース・気象情報				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		4
5	57 00	〈中国ブロック〉気象情報				〈中国ブロック〉気象情報		5
6	10	〈広島単〉お好みワイドひろしま 密(※毎週木曜ほか) 〈岡山単〉もぎたて! (※毎週木曜ほか) 〈松江単〉しまねっとNEWS610 (※毎週木曜ほか) 〈鳥取単〉いろ★ドリ (※毎週金曜ほか) 〈山口単〉情報維新!やまぐち (※毎週水曜ほか)				〈中国ブロック〉ニュースちゅうごく645 〈中国ブロック〉気象情報		45 6 53 55
7	30 55 57	〈中国ブロック〉ラウンドちゅうごく。(再) (年28本程度)				後6:55~7:00 〈鳥取単〉気象情報		7
8	45	〈中国ブロック〉おしらせ 〈中国ブロック〉特集番組(随時)プロ野球(年4本程度)ほか				〈広島単〉"テッパン" 話 仕入れました! 広島かたすみ食堂(年4本程度) 〈岡山単〉@okayama(年8本程度) 〈松江・鳥取ブロック〉×松江単×鳥取単 さんいんスペシャル (松江・鳥取ブロック:年10本程度 松江単:年5本程度、鳥取単:年5本程度) 〈山口単〉Yスペ!(年15本程度)		8
9		〈各局単〉ニュース845				〈中国ブロック〉ニュース・気象情報		55
10								9
11								10
深夜								11 深夜

〔中国ブロック〕
〔ラジオ第1〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前7:40~8:00 〈中国ブロック〉おはよう中国							午前
午後	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま コイらじ ほか (広島担当・年11本程度) ・おからじ! (岡山担当・年6本程度) ・まるっと☆しまね (松江担当・年6本程度) ・やしろ荘でございよ (鳥取担当・年6本程度) ・YAMAGUTIC (山口担当・年6本程度) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈中国ブロック〉 (土)後2:05~(5:00) プロ野球 (平日ナイターとあわせて年15本) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 後5:05~5:55 〈広島単〉ひろしま コイらじ 〈岡山単〉★ラジオdeもぎたて! (最終水) 【教養・娯楽】 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈中国ブロック〉 中国!ちゅーもく! ラジオ </div>							午後
夜間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈中国ブロック〉 (平日)後6:05~6:50/後7:30~(9:30) プロ野球 (土曜デーゲームとあわせて年15本) </div>							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)							午後
夜間								夜間

(5) 九州沖縄ブロック

〈編成のポイント〉

九州沖縄の地域放送局は、公共メディアとして地域の視聴者の期待を超え、地域の役に立つ放送局を目指す。正確で有用な情報を的確かつ迅速に提供し、質の高い放送と多様な手段による情報発信を行う。近年頻発する豪雨災害や地震などの災害発生時には、ネットワークを生かした機動的な態勢で、正確な情報を放送・デジタルサービスを通じて提供し、命と暮らしを守るための行動につながる情報発信を行う。

- 平日午後6時台は、地域が抱える問題を深く掘り下げて多角的に伝えていくとともに、日ごろから防災・減災への意識を高める情報を発信し、地域の安全・安心の支えとなる。福岡放送局・北九州放送局では県域放送の取り組みを継続し、関心の高い話題を県全体に向けて発信するほか、福岡放送局エリア向けには視聴者の疑問や質問をもとにしたコーナーを新設し、解決のヒントになるような視聴者の役に立つ情報を発信していく。そのほかの放送局でも県域放送を継続し、各地域に密着した情報を多彩に伝えていく。また、「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた動きや、地元スポーツチームの最新の動向を伝え、地域を盛り上げていく。
- 金曜夜間は、県域放送をこれまで以上に充実させ、より地域に密着した情報を届けていく。また、九州沖縄向けの新番組「ザ・ライフ」では、防災・減災、新型コロナウイルスなど地域共通の課題に真正面から向き合うほか、日本とアジアの相互理解の助けとなる情報を伝え、世代間・地域間の溝を埋める役割を果たしていく。地域に生きる人々の暮らし、九州沖縄地方の歴史や自然、若年層や子育て世代により身近な話題など、幅広いテーマにも取り組む。NHKプラスでの見逃し配信も活用し、より多くの視聴者の関心に応えていく。
- 平日午前11時台は、「はっけんテレビ」を九州地方向けのブロック放送に変更する。域内各県のネットワークを生かし、九州沖縄8県のイベント情報や話題を伝えるほか、料理や身近な生活情報をより楽しく、わかりやすく伝える。沖縄では、地域の関心が特に高い県内の情報を中心とした番組を拡充する。
- ラジオ第1放送・平日午後5時台では、九州沖縄向けの番組「はっけんラジオ」を継続する。域内各放送局からの放送も継続し、“いざというときに頼りになるラジオ”として、防災減災に役立つ情報を伝える。定期的に全国向けに放送される機会を活用して、地域に密着した話題を全国へ届けるほか、インターネットラジオ「らじる★らじる」の認知度向上や接触率拡大を図る。
- 九州沖縄の多様な自然、歴史、伝統文化を掘り下げ、魅力を再発見する番組を制作するほか、“ウィズコロナ”に対応した新たな演出手法で地元ならではのエンターテインメント番組を制作し、幅広い世代の期待に応え、地域に明るさや心の豊かさを届けていく。また、長崎や沖縄をはじめとした各地の戦争の記憶を後世に語り継ぐ番組の制作にも引き続き取り組み、平和への祈りを発信する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「ザ・ライフ」(新設) <九州沖縄ブロック> 後 7:30~7:55 (年18本程度)
九州沖縄の現在、過去にわたるさまざまなライフ(生活・人生・自然)を描くスペシャルな25分。地域の課題に真正面から向き合うジャーナルな切り口に加え、歴史や自然、エンターテインメントも取り扱い、未来に向けて視聴者の多様な関心に応えていく。

「プロ野球/大型企画」<九州沖縄ブロック> 後 7:30~8:42 (年8本程度)

「#てれふく」(新設) <福岡県域> 後 7:30~7:55 (年10本程度)
福岡の身近な人々の奮闘や苦悩、希望を描くヒューマンドキュメンタリーや、視聴者の声から課題の解決策を探る番組、福岡出身の著名タレントが故郷をめぐる旅など、さまざまな角度と演出で福岡の皆さまにお届けする。

「くまもとの風」 <熊本単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「長崎スペシャル」(新設) <長崎単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)
長崎が誇る独特の歴史・自然・文化や被爆地としての平和への願い、また地域が直面する課題など、幅広いテーマをより深く伝える。VTRドキュメンタリーだけでなく、スタジオを活用した演出や生放送など、さまざまな手法で番組を届ける。

「かごスピ」 <鹿児島単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「みやざき熱時間」 <宮崎単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「フカイロ!」 <大分単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「金サガ」 <佐賀単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「きんくる~沖縄金曜クルーズ~」<沖縄単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

「沖縄の歌と踊り」 <沖縄単> 後 7:30~7:55 (年10本程度)

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「ロクいち！福岡」	〈福岡県域〉	後	6：10～	6：30
	〈福岡単〉	後	6：30～	7：00
「ニュースブリッジ北九州」	〈北九州単〉	後	6：30～	7：00
「クマロク！」	〈熊本単〉	後	6：10～	7：00
「イブニング長崎」	〈長崎単〉	後	6：10～	7：00
「情報WAVEかごしま」	〈鹿児島単〉	後	6：10～	7：00
「イブニング宮崎」	〈宮崎単〉	後	6：10～	7：00
「いろどりOITA」	〈大分単〉	後	6：10～	7：00
「ニュースただいま佐賀」	〈佐賀単〉	後	6：10～	7：00
「おきなわHOTeye」	〈沖縄単〉	後	6：10～	7：00

〈総合テレビ 日曜午後1時台の編成〉

「ちゅらSunday！～沖縄セレクション～」(新設)
〈沖縄単〉 後 1：05～ 1：50 (年12本程度)
沖縄独自の自然・音楽・スポーツといった沖縄の魅力を発信する番組から、基地問題や経済などの課題を深掘りする番組まで、多様なジャンルの沖縄関連番組の中から、特に反響の大きかった番組を選び、月に一度県民のみなさまにお届けする。

〈ラジオ第1 平日夕方編成〉

「はっけんラジオ」	〈九州沖縄ブロック〉	後	5：05～	5：55
「5時いろラジオ」	〈大分単〉 (金)	後	5：05～	5：55

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(移設)

「はっけんTV」	〈九州沖縄ブロック (除く沖縄)〉	〔総合〕 (月～金)	前11：40～	後0：00
	※ (金) は〈九州沖縄ブロック (除く鹿児島・沖縄)〉			
「ひるまえクルーズかごしま」	〈鹿児島単〉 (金)	前11：40～	後0：00	
「沖縄ちゅらテレビ」	〈沖縄単〉 (月～金)	前11：40～	後0：00	

〔九州沖縄ブロック〕
〔総合テレビ〕

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日				
前4								前4			
5	56	九州沖縄ブロック 気象情報						5			
6	28	九州沖縄ブロック 気象情報						6			
	30	九州沖縄ブロック ニュース・気象情報									
	53	九州沖縄ブロック ニュース・気象情報						55			
7	45	九州沖縄ブロック おはよう九州沖縄				九州沖縄ブロック ニュース・気象情報 各局単 (年10本程度) 各局金曜夜間(再) ※福岡は県域	九州沖縄ブロック ニュース・気象情報 九州沖縄ブロック (年18本程度) ★ザ・ライブ (再)	九州沖縄ブロック N-気象	30 35 40 7 45		
8		前7:45~7:55 九州沖縄ブロック おはよう沖縄		前7:35~8:00 福岡県域 ★#てれふく(再) 熊本県域 くまもとの風(再) 長崎県域 ★長崎スペシャル(再) 鹿児島県域 かごさび(再) 宮崎県域 みやざき熱時間(再) 大分県域 フカイロ!(再) 佐賀県域 金サガ(再) 沖縄県域 きんくる~沖縄金曜クルーズ~(再)					8		
9								9			
10						九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	05 10			
						九州沖縄ブロック いちおし!九州沖縄	九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	55 00			
						おしらせ	九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	17 22			
11	40	九州沖縄ブロック(除く沖縄) ☆はっけんTV 鹿児島県域 (金)☆ひるまえクルーズかごしま 沖縄県域 ☆沖縄ちゅらテレビ 気象情報(全国)				前10:55~11:22 九州沖縄ブロック 沖縄の歌と語り(再)		11			
	54	11:57~各局単 ※福岡・北九州は福岡発県域 気象情報・おしらせ						57			
	57	九州沖縄ブロック 気象情報						後			
後	15	九州沖縄ブロック ニュース						10			
	20	各局単 ※福岡・北九州は福岡発県域 ニュース						15			
1							九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	05			
							九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	1			
2							九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	50			
3	07	九州沖縄ブロック ニュース・気象情報						3			
4	10	九州沖縄ブロック ニュース・気象情報						4			
5							九州沖縄ブロック 大型企画(再) (随時)	5			
	57	九州沖縄ブロック(除く熊本・長崎・佐賀) 気象情報				九州沖縄ブロック(除く熊本・長崎・佐賀) 気象情報		57			
	00	九州沖縄ブロック(除く熊本・長崎・佐賀) 気象情報				九州沖縄ブロック(除く熊本・長崎・佐賀) 気象情報		00			
6	10	福岡県域 ログいち!福岡 閉(水は返) ※6:30~は福岡単	北九州単 ニュースブリッジ北九州 ※6:30~	熊本単 クマロク!	長崎単 イブニング長崎(月・水は返)	鹿児島単 情報WAVEかごしま	宮崎単 イブニング宮崎	大分単 いろいろOITA	佐賀単 ニュースただいま佐賀(月・金は返)	沖縄単 おきなわHO Teye(隔週返)	6
								45			
								53			
								55			
7	30	後7:30~7:55 福岡県域 ★#てれふく【教養・報道】(年10本程度) 熊本県域 くまもとの風(年10本程度) 長崎県域 ★長崎スペシャル【教養・報道】(年10本程度) 鹿児島県域 かごさび(年10本程度) 宮崎県域 みやざき熱時間(年10本程度) 大分県域 フカイロ!(年10本程度) 佐賀県域 金サガ(年10本程度) 沖縄県域 きんくる~沖縄金曜クルーズ~(年10本程度)				各局単 (年10本程度) 各局金曜夜間(再) ※福岡は県域 おしらせ	九州沖縄ブロック (年18本程度) ★ザ・ライブ【教養・報道】 おしらせ	九州沖縄ブロック (前期) プロ野球 大型企画(年8本程度)	九州沖縄ブロック 沖縄の歌と語り(年10本程度)(25分)		7
	55							55			
	57							57			
8	42	福岡県域(月2本) ふく!なび	北九州単(月2本) ハレビヨソカフェ					8			
	44							44			
	45	各局単 ニュース845 函(域内各局は閉なし)						55			
9								9			
10								10			
11								11			
	35							35			
	40							40			
深夜								深夜			

〔九州沖縄ブロック〕
【教育テレビ（Eテレ）】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印・新設番組
☆印・移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前 6					前6:50~6:55 ☆印・新設番組 ☆印・移設番組			前 6
後 5	後5:20~5:25 ☆印・新設番組 ☆印・移設番組		後5:20~5:25 ☆印・新設番組 ☆印・移設番組					後 5

【ラジオ第1】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後5:05~5:55 九州沖縄ブロック はっけんラジオ				後0:20~0:55 北九州単(最終週) きたきゅーラジオ		後3:05~3:55 九州沖縄ブロック 六本松サテライト(再)	午後
夜間					〈大分単〉(金)後5:05~5:55 5時いろラジオ			夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前							前11:00~11:50 沖繩単(第1週) 沖繩ミュージックジャーニー(再)	午前
午後	後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)				鹿児島単 かのしまの夕べ(最終木・年12本) 沖繩単 沖繩ミュージックジャーニー(第1金・年12本)			午後
夜間					後11:00~11:50 九州沖縄ブロック 六本松サテライト			夜間

(6) 東北ブロック

〈編成のポイント〉

東北地方の各放送局は、コロナ禍における新たな視聴者コミュニケーションを築き、視聴者の“生活圏”に沿ったニーズに柔軟に応える公共メディアとしての役割を果たす。“東日本大震災”から10年が経過し、震災を知らない若い世代が増加。そうした世代とともにこれから生きるための気づきを共有する取り組みを新たに始める。各県共通の課題を丁寧に届けていくほか、“復興五輪”や“世界遺産登録をめざす北海道・北東北の縄文遺跡群の魅力”、“不登校問題”など複数の県にまたがった話題・課題については、県や域内を越えたミニブロックで良質なコンテンツを展開し、その地域の県民がより知りたい放送を届けきる。

- 金曜午後7時台は、公共メディアとしての役割強化を目指す。“復興”と“再生”など地域の課題を中心に伝える「東北ココから」は、市民をパートナーとして議論し、ともに考える番組を展開する。また、視聴者ニーズの高い東北の魅力を発信する紀行番組を展開し、県民の関心に応えるとともにNHKプラスなどを活用し東北の魅力を全国に発信する。東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運を高める特集番組も同枠で展開する。
- 土曜午前は「東北ゾーン」として展開。震災直後に放送を開始した「被災地からの声」はあの日の気づきを未来に生かす「被災地からの声 つぎの一步」としてリニューアル。公開トーク番組「大好き♡東北 定禅寺しゃべり亭」や「金曜午後7時台の再放送」、「ふだん着の温泉・選」など東北に関連した番組を集中編成することで、地域におけるNHKの存在感を高める。
- 各局の平日午後6時台のニュース・情報番組は、コロナ禍における防災・減災のあり方のほか、地域が抱える課題や視聴者の興味・関心に向き合い的確に応える。東北各局のネットワークを生かし、東北全域や共通した課題を持つ県同士で企画を共有する取り組みも継続して行っていく。
- 平日午後5時台の各県向けラジオ番組は、「ゴジだっちゃ！」の放送エリアをこれまでの宮城県域から被災3県（宮城、岩手、福島）でのインターローカルに拡大。隣県情報など震災10年以降の被災地を丁寧に伝えていく。なお、福島は週2回、岩手は月2回各県向けの番組を放送し県内のリスナーと地元放送局のネットワーク作りを継続していく。秋田・山形・青森も各県向けラジオ番組を継続して放送する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

- 「東北ココから」 <東北ブロック> 後 7:30~7:57
<仙台単> 後 7:30~7:57 (年10本程度)
- 「きんよる秋田」 <秋田単> 後 7:30~7:57 (年17本程度)
- 「やまコレ」 <山形単> 後 7:30~7:57 (年20本程度)
- 「いわちゃん」(新設) <盛岡単> 後 7:30~7:57 (年15本程度)
「岩手」の「チャンネル」を略した造語。平日午後6時台の「おばんです岩手」とも連動し、岩手県民向けの情報に特化したコンテンツを目指す。また、情報発信者としてSNSも活用することで地域のさまざまなジャンルにおけるインフルエンサーになることを目指す。
- 「ココに福あり fMAP」 <福島単> 後 7:30~7:57 (年10本程度)
- 「発見!あおもり深世界」 <青森単> 後 7:30~7:57 (年10本程度)

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

- 「てれまさむね」 <仙台単> 後 6:10~ 7:00
- 「ニュースこまち」 <秋田単> 後 6:10~ 7:00
- 「やままる」 <山形単> 後 6:10~ 7:00
- 「おばんですいわて」 <盛岡単> 後 6:10~ 7:00
- 「はまなかあいつ TODAY」 <福島単> 後 6:10~ 7:00
- 「あっぴるワイド」 <青森単> 後 6:10~ 7:00

〈総合テレビ 日曜午後1時台の編成〉

- 「きんよる秋田」(再) <秋田単> 後 1:05~1:32 (年 8本程度)
- 「やまコレ」(再) <山形単> 後 1:05~1:32 (年10本程度)
- 「いわちゃん」(再) <盛岡単> 後 1:05~1:32 (年15本程度)
- 「ココに福あり fMAP」(再) <福島単> 後 1:05~1:32 (年10本程度)
- 「発見!あおもり深世界」(再) <青森単> 後 1:05~1:32 (年10本程度)

〈ラジオ第1 平日夕方の編成〉

「ゴジだっちゃ！」

〈仙台・盛岡・福島ブロック〉

(月～水) 後 5:05～ 6:00

〈仙台・盛岡ブロック〉

(木～金) 後 5:05～ 6:00

「放課後ラジオ よりみちこまち」〈秋田単〉(最終金) 後 5:05～ 6:00

「おつまみラジオ～情報わんこ盛り～」(新設)

〈盛岡単〉(第2・4水曜) 後5:05～5:55

30～40代の主婦層をメインターゲットに、岩手県内で活躍する同世代のゲストとトークを展開。リスナーの会話の「おつまみ」になるような県内の楽しく・新鮮な情報を届ける。パーソナリティをアナウンサーが務め、災害時に必要とされるラジオを身近に感じてもらう。

「こでらんに5next」(新設)〈福島単〉(木～金) 後 4:05～ 6:00

5年間放送してきた「こでらんに5」の遺伝子を受け継ぎリニューアル。

「継続」「地域密着」をテーマに県内のエンターテインメント情報から、被災地の今を伝える企画まで幅広い情報をお届けする。

「あっぴるラジオ」

〈青森単〉(金)

後 5:05～ 6:00

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(改題)

「被災地からの声 つぎの一步」

〈東北ブロック〉〔総合〕(土) 前10:05～10:30

東日本大震災から10年をこえ、震災を知らない小学生が過半数となった。『あの日を忘れない』だけではなく、『あの日の経験からの“気づき”や“学び”を未来に伝える』ことに力を入れ、これから生きる上で「大切にしたいこと」を共有する場を目指す。

〔東北ブロック〕
【総合テレビ】

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

前4	月	火	水	木	金	土	日	後4
5:56 5:59	〈東北ブロック〉 気象情報							5
6:28 6:30	〈東北ブロック〉 気象情報							6
7:58	〈東北ブロック〉 気象情報					〈東北ブロック〉 ニュース・気象情報		55
7:45	〈各局単〉 ※7:50.30~7:58〈東北ブロック〉					〈東北ブロック〉 ウィークエンド東北	〈東北ブ〉ニュース・気象情報	30 40 45 7
8								8
9					(ネット 前週 前11:25~)	〈東北ブロック〉 ドキュメント72時間(再)		30 9
10						(東北ゾーン) 〓 被災地からの声 つぎの一步 〓 〈東北ブロック〉 〓 東北ココから(再)ほか 〓 〈東北ブ〉だん番の温泉・選 〓 〈東北ブロック〉 〓 大好き♡東北 〓 定禅寺しゃべり亭		05 30 10
11	〈東北ブロック〉 もりすた! 気象情報(全国)							
54 57	〈東北ブロック〉 および秋田単・盛岡単・福島単 気象情報					〈東北ブロック〉 気象情報		54 57
後 15 0:20	〈各局単〉 ニュース					〈東北ブロック〉 ニュース		10 後 15 0
1						(ネット受け)	〈各局単〉 (再)	05 1 35 50
2								2
07 3:10	〈東北ブロック〉 ニュース・気象情報							05 3
4							〈秋田単〉きんよる秋田(再)(年8本程度) 〈山形単〉やまコレ(再)(年10本程度) 〈盛岡単〉★いわちゃん(再)(年15本程度) 〈福島単〉ココに福あり f MAP(再)(年10本程度) 〈青森単〉発見!あおもり深世界(再)(年10本程度)	4
5	ニュース シブ5時							5
57 00	〈東北ブロック〉 気象情報							57 00
6	〈仙台単〉てれまさむね 閉 〈秋田単〉ニュースこまち 〈山形単〉やままる 〈盛岡単〉おばんですいわて 〈福島単〉はまながあいづ TODAY 〈青森単〉あつぷるワイド					〈東北ブロック〉ニュース645 6:53~6:55 気象情報(全国) 脱		45 6
30 7 57	〈仙台単〉東北ココから(年10本程度) 〈秋田単〉きんよる秋田(年17本程度) 〈山形単〉やまコレ(年20本程度) 〈盛岡単〉★いわちゃん(年15本程度) 〈福島単〉ココに福あり f MAP(年10本程度) 〈青森単〉発見!あおもり深世界(年10本程度) 〈東北ブロック〉 東北ココから				〈各局単〉 または 〈東北ブロック〉	〈各局単〉 または 〈東北ブロック〉 (随時) 特集番組/ プロ野球		7
8 42 45	〈各局単〉					閉(仙台)	〈東北ブロック〉 ニュース・気象情報	55 8
9								9
10								10
11								11
深夜								深夜

〔東北ブロック〕
〔ラジオ第1〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後0:30~0:55 <東北ブロック除く山形> 民謡をどうぞ							午後
	<山形単> 後0:20~1:00 なにしたのや~							
夜間	後5時台 <仙台-★盛岡-★福島ブロック> (月)~(水)後5:05~6:00 ゴジだっちゃ! <盛岡単>							夜間
	<福島単>★こでんに5next (木・金)後4:05~6:00 <仙台-★盛岡ブロック>(木・金) 後5:05~6:00ゴジだっちゃ! <秋田単><青森単>							
<盛岡単> (第2・第4水曜日)後5:05~5:55 ★おつまみラジオ~情報わんこ盛り~(年13本程度)							<秋田単> (最終金)後5:05~6:00 放課後ラジオ よりみちこまち(年10本程度) <青森単> (毎週金)後5:05~6:00 あっぶるラジオ	

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前5:20~5:45 <東北ブロック> 民謡をどうぞ(再)							午前
午後	※山形単は本放送							午後
	後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)							
夜間								夜間

(7) 北海道ブロック

〈編成のポイント〉

北海道の7つの放送局は、ネットワークを最大限に生かして、地域の安全・安心につながる情報を提供し、命と暮らしを守る災害・緊急報道に全力で取り組むとともに、多くの課題を抱える北海道の政治・経済・社会の動向や将来の展望などをさまざまな視点から伝える。また、放送やデジタル等でのコンテンツ展開を通じて視聴者コミュニケーションを図り、視聴者とともに地元の魅力を発信、地域社会の活性化に貢献して、新しいNHK北海道を実現する。

- 平日午後6時台の「ほっとニュース北海道」は道内7局のネットワークを生かし、きめ細かく各地域のニュースや情報を伝えることで、身近でほっとできるニュース番組を目指す。
- 金曜午後7時台の「北海道道」では、旬の情報、知られざる大自然の輝き、核心に迫る調査報道など、北海道の魅力や課題を丁寧にわかりやすく届けていくことで、さらに番組の浸透を図る。
- 日曜午後1時台の「北海道セレクション」では、特集番組や北海道を題材にした魅力的な番組のアンコールなど、時機を捉えた編成で地域の魅力を幅広く発信する。
- 6月の新札幌拠点放送会館移転に連動した番組や企画を展開し、ステーションイメージ向上につなげる。また、移転を契機としてデジタル技術等を活用するなど、これまでの枠に捉われないコンテンツ作りを推進する。
- 東京と北京、2つのオリンピック・パラリンピックに向けた道内の取り組みや地元アスリートの活躍を取り上げ、道民のスポーツ熱を高める。また、プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」やサッカーJリーグ「北海道コンサドーレ札幌」、Bリーグ「レバンガ北海道」などの地元スポーツチームやウインタースポーツを番組や中継で取り上げ、地域の人たちとともに応援する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「北海道道」 <北海道ブロック> 後 7:30～ 7:55

「北海道スペシャル」「プロ野球中継」ほか
<北海道ブロック> 後 7:30～ 8:42 (随時)

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「ほっとニュース北海道」
<北海道ブロック> 後 6:10～ 7:00

〈総合テレビ 日曜午後1時台の編成〉

「北海道セレクション」
<北海道ブロック> 後 1:05～ 1:50 (年10本程度)

〈その他の時間帯の新設・移設などの番組〉

(移設)

「新しい地域放送サービス展開枠」
<北海道ブロック> [総合] (日) 前 8:52～ 8:57

〔北海道ブロック〕
【総合テレビ】

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日		
前 4								前 4	
5 56 59	北海道ブロック>気象情報			北海道ブロック>気象情報				55 5	
28 6 30 53	北海道ブロック>気象情報			北海道ブロック>気象情報				28 30 6	
	北海道ブロック>ニュース・気象情報			北海道ブロック>ニュース・気象情報				55	
7 45	北海道ブロック>おはよう北海道				北海道ブロック>おはよう北海道 土曜プラス		北海道ブロック>ニュース・気象情報	30 40 7 45	
8							北海道ブロック>北海道道(再)	25 8	
9							北海道ブロック> ★(新しい地域放送サービス展開)	52 57	
10								9	
10							北海道ブロック>Wild Hokkaido! ミニ番組	10 55	
1 130	北海道ブロック>ひるまえナマら!北海道			北海道ブロック>気象情報				11	
54 57	気象情報(全国)			北海道ブロック>気象情報				54 57	
後 0 15 20	北海道ブロック>ニュース			北海道ブロック>ニュース				10 後 15 0	
1							北海道ブロック>北海道セクション (年10本程度)	05 1	
2								50 2	
07 3 10	北海道ブロック>ニュース・気象情報 閉							3	
4								4	
5	57 00	北海道ブロック>気象情報							5
10 6	北海道ブロック>ほっとニュース北海道 閉			北海道ブロック>ニュース北海道645 ※6:53~6:55は気象情報(全国)				6 45	
50 55	ニュース・気象情報(各局単)								
30 7				北海道ブロック>北海道道 ミニ番組		北海道ブロック>北海道スペシャル/ プロ野球 ほか (随時)		7	
55 57									
8 42 45	北海道ブロック>ほっとニュース845 閉			北海道ブロック>ニュース・気象情報				8 55	
9								9	
10								10	
11								11	
深夜								深夜	

〔北海道ブロック〕
〔ラジオ第1〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日				
午前								午前			
午後	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">後5:05~5:55 にっぽん列島タ方ラジオ</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">後5:05~5:55 北海道 まるごとラジオ (原則第1・4週)</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>							後5:05~5:55 にっぽん列島タ方ラジオ	後5:05~5:55 北海道 まるごとラジオ (原則第1・4週)		午後
後5:05~5:55 にっぽん列島タ方ラジオ	後5:05~5:55 北海道 まるごとラジオ (原則第1・4週)										
夜間								夜間			

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日				
午前								午前			
午後	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>							後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)			午後
後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)											
夜間								夜間			

(8) 四国ブロック

〈編成のポイント〉

四国地方の各放送局は、金曜夜間や平日午後6時台を中心に地域放送の充実に引き続き取り組む。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、地域経済などに与える影響や苦境を克服しようとする動きを丁寧に伝え、視聴者の関心に応える。防災・減災報道は四国内だけでなく、西日本各地の放送局と連携する。四国応援プロジェクト「ハッとホッとずっと」キャンペーンを継続し、四国のテーマソング「ふるさとの色」を活用して四国の視聴者との結びつきを強める。また、西日本豪雨の被災地復興の動きを継続して見つけ、教訓を未来に生かす取り組みを行う。東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックでは、四国にゆかりのある注目選手や各地の熱気などを多角的に発信する。

- 金曜午後7時台は、県域・四国向けの番組を発展させる。地域の課題やそこに生きる人々の今に迫る「四国らしんばん」や、四国の市町村を訪ね、人々とふれあい、地域の良さを発信する「軽四キャンピングカーがゆく」を継続する。さらに四国の絶景を自転車で巡る「前園真聖 しこく絶景たび」をこの時間帯に新設する。また新たな発想・演出を生かした番組開発を行う。
- 金曜午後8時台には、四国4県向けの特集番組を随時編成する。新型コロナウイルスの影響を克服しようとする伝統の夏祭りをはじめ、音楽を通じて地域の人々とのつながりを深める公開番組、さらに西日本豪雨の被災地を見つめ防災や減災の重要性を伝える番組などを編成する。
- 平日午後6時台の県域ニュース・情報番組は、新型コロナウイルスの感染状況や予防対策、地域経済への影響、苦境を克服しようとする取り組みなどをきめ細かく伝え、視聴者の安全で安心な暮らしに貢献する。また南海トラフ巨大地震や台風、豪雨などの災害に備えて、防災・減災につながる情報を発信する。
- 土曜午前7時台は、四国向けの番組「ギュッと！四国」を継続する。生活情報や社会課題、話題の人物など多種多様な演出で伝える。新しい週末の楽しみ方など暮らしを彩る情報を伝え、四国の活性化に貢献していく。
- ラジオ第1の平日午後5時台は、松山局が毎週月～木曜、高知局が毎週月曜、徳島局と高松局が月1回の県域放送を継続する。毎週金曜に四国ブロック向けに放送する「ホッと！四国」では、四国各局のアナウンサーが四国の話題の人々に迫るインタビューや四国の注目の取り組みを伝え、四国の魅力を再発見できる番組を目指す。また、らじる★らじるの聞き逃しサービスや「にっぽん列島夕方ラジオ」での広域放送などにより新たなリスナーの獲得を目指す。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「四国らしんばん」 <四国ブロック> 後 7:30~ 7:55

「軽四キャンピングカーがゆく」 <四国ブロック> 後 7:30~ 7:55

「前園真聖 しこく絶景たび」(新設) <四国ブロック> 後 7:30~ 7:55
元サッカー日本代表の前園真聖が、視聴者から寄せられたおすすめのお勧めの絶景を自転車で巡り、絶景写真を撮影する。旅の様子は平日午後6時台の各局県域番組でも伝えるほか、インターネットでも発信する。

「特集番組」 <四国ブロック> 後 7:57~ 8:42 (年4本程度)
よさこい祭りや阿波おどりのほか、南海トラフ巨大地震や台風、豪雨などの災害に備えて、防災・減災につながる情報、公開番組「もっと四国音楽祭」などを放送する。

「ひめDON!」 <松山単> 後 7:30~ 7:55 (年9本程度)

「とさ金」 <高知単> 後 7:30~ 7:55 (年9本程度)

「あわとく」 <徳島単> 後 7:30~ 7:55 (年9本程度)

「さぬきドキッ!」 <高松単> 後 7:30~ 7:55 (年9本程度)

〈総合テレビ 平日午後6時台の編成〉

「ひめポン!」 <松山単> 後 6:10~ 7:00

「こうちいちばん」 <高知単> 後 6:10~ 7:00

「とく6徳島」 <徳島単> 後 6:10~ 7:00

「ゆう6かがわ」 <高松単> 後 6:10~ 7:00

〈ラジオ第1 平日夕方の編成〉

「ラジオまどんな」 <松山単> (月~木) 後 5:05~ 5:55

「とさらじお」 <高知単> (月) 後 5:05~ 5:55

「あわ☆メロR」 <徳島単> (最終月) 後 5:05~ 5:55

「まんで香川きっきょん!？」 <高松単> (最終月) 後 5:05~ 5:58

「ホッと!四国」 <四国ブロック> (金) 後 5:05~ 5:58

〔四国ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日		
前4								前4	
5	56	〈四国ブロック〉気象情報						〈四国ブロック〉ずっとしこく(再)	5
	59								
6	28	〈四国ブロック〉気象情報							28
	30								30
	55	〈四国ブロック〉ニュース・気象情報							55
7	45	〈四国ブロック〉おはよう四国 ※7:45~7:51 徳島は説				〈四国ブロック〉ギョッと!四国		〈四国ブロック〉ニュース・気象情報	45
8									8
9									9
10									10
11	45	〈四国ブロック〉ひるどき四国		〈各局単〉			〈四国ブロック〉気象情報	45	
	54	気象情報(全国)						54	
	57							57	
後	15	〈各局単〉ニュース					〈四国ブロック〉ニュース		15
	20						〈四国ブロック〉ずっとしこく		20
1									1
2									2
3	07	〈四国ブロック〉ニュース・気象情報							07
	10								10
4									4
5									5
	57	〈四国ブロック〉気象情報							57
	00								00
6		〈松山単〉ひめポン! 〈高知単〉こうちいちばん 〈徳島単〉とく6徳島 〈高松単〉ゆう6かがわ					〈四国ブロック〉ニュース・気象情報 ※後6:53~6:55 気象情報(全国)		
						函(松山単)		5	
7	30	〈午後7時台〉【泉域】 〈松山単〉ひめDON!(年9本程度) 〈高知単〉とさ金(年9本程度) 〈徳島単〉あわとく(年9本程度) 〈高松単〉さぬきドキッ!(年9本程度)		〈四国ブロック〉 四国らしんばん 軽四キャンピングカーがゆく ★前園真聖 しこく絶景たび【教養・報道・娯楽】 〈四国ブロック〉おしらせ 〈四国ブロック〉 特集番組 (年4本程度)					30
	55							55	
	57							57	
8	42	〈各局単〉					函(松山単)	〈四国ブロック〉ニュース・気象情報	42
	45								45
9									9
10									10
11	35	〈四国ブロック〉 ☆ずっとしこく(再)							35
	40								40
深夜									深夜

〔四国ブロック〕
〔ラジオ第1〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	午前 前7:40~7:50 四国防災ネットワーク 前7:50~8:00 〔四国ブロック〕ニュース・天気予報・きょうの動き 7:58~8:00 〔各局単〕交通情報							午前
	午後	午後 後5:05~5:55 〔松山単〕 ラジオまどんな 後5:05~5:58 〔四国ブロック〕 ホット!四国						
夜間		夜間 〔高知単〕とさらじお(月) 後5:05~5:55 〔徳島単〕あわ☆メロR(原則最終月) 後5:05~5:55 〔高松単〕まんて香川さっきょん!?(原則最終月) 後5:05~5:58						

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	午後 後6:00~6:50 夜のプレイリスト(再)							午後
夜間								夜間

(9) - 1 総合テレビ 平日午前11時台、午後6時台 地域放送番組一覧

ブロック : ブロック 各県単 : 各県単 各県単 (ウイークリー)

★: 新設番組 / 赤字: タイトル変更 / 下線: 移設・拡充など

放送時間		【総合】(月~金)前11:45~後0:00(L) (11:54~11:57 気象情報<全国>)					【総合】(月~金)後6:10~7:00(L) (6:00~6:10 ニュース<全国>)						
局名	05	30	45	50	52	54	57						
ネット	(ネット送り番組)		(L)		気(全国)		(L)						
関東	本部(東京)	ひるまえほっと (月)ほっと (ネット受け)	ひるまえほっと		気象情報(全国)			首都圏ネットワーク					
	前橋					30: ほっとぐんま630							
	水戸		(金)金曜は!いばっチャオ			いば6							
	宇都宮		30	50		(金)ちょこトチ!	首都圏ネットワーク 30: とちぎ630						
	長野		ひるまえほっと			イブニング信州							
	新潟		(ネット受け)			50	金ひるまえ伝言板	新潟ニュース610					
近畿	大阪	ぐるっと関西 おひるまえ (ネット受け)			気象情報			Newsかいドキ					
	京都					30: ニュース630 京いちにち							
	神戸					Live Love ひょうご							
	和歌山					ギョギョっと和歌山							
	奈良					ならナビ							
	大津					おうみ発630							
中部	名古屋	さらさらサラダ (ネット受け)	30	50	気象情報(全国)			まるっと! 30: まるっと!みえ					
	津					まるっと!ぎふ							
	岐阜					NHKニュース たっぷり静岡							
	静岡					かがのとイブニング							
	金沢					ニュースザウルスふくい							
	福井					ニュース 富山人							
中国	広島	ひるまえ直送便 (ネット受け)	40	52	気象情報(全国)			お好みワイドひろしま					
	岡山					もぎたて!							
	松江					しまねっとNEWS610							
	鳥取					いろ★ドリ							
	山口					情報維新!やまぐち							
九州	福岡	はっけんTV (ネット受け)	40			気象情報(全国)			ロクいち!福岡 30: ロクいち!福岡				
	北九州				ニュースブリッジ北九州								
	熊本				クマロク!								
	長崎				イブニング長崎								
	鹿児島				情報WAVEかごしま								
	宮崎				イブニング宮崎								
	大分				いろどりOITA								
東北	仙台	もりすた! (ネット受け)	45			(全国)			てれまさむね				
	秋田				ニュースこまち								
	山形				やままる								
	福島				おぼんですいわて								
	青森				はまなかあいづ TODAY								
北海道	札幌	ひるまえナマラ!北海道 (ネット受け)	30			気象情報(全国)			あっぶるワイド				
	函館				50: ニュース・気象情報 55								
	旭川				ニュース・気象情報								
	帯広				ニュース・気象情報								
	釧路				ニュース・気象情報								
	北見				ニュース・気象情報								
四国	松山	ひるどき(月~木) (ネット受け)	45			気象情報(全国)			ほっとニュース北海道				
	高知				ひめボン!								
	徳島				こうちいちばん								
	高松				とく6徳島								
								ゆう6かがわ					

(9) -2 総合テレビ 金曜午後7~8時台 地域放送番組一覧

ブロック : ブロック (年●本など) : 各県単 ★: 新設番組/赤字: タイトル変更 / 下線: 移設・拡充・本数変更など

放送時間	【総合】(金)後7:30~7:57(L)		【総合】(金)後7:57~8:42		
局名	【総合】(金)後7:30~7:57(L)		【総合】(金)後7:57~8:42		
関東甲信越	本部(東京)	首都圏情報 ネットドリ!			(ネット受け)
	前橋	ぐんまスペシャル(年5本程度)	★<前橋・水戸・宇都宮ブロック> キタカンナ (年3本程度)		
	水戸	茨城スペシャル(年7本程度)※時間拡大の場合あり			
	宇都宮	とちスベ(年7本程度)※時間拡大の場合あり			
	長野	知るしん 信州を知るテレビ (年34本程度) ※7:55~7:57はミニ番組※時間拡大の場合あり			
	新潟	金よう夜 ぎらっと新潟 (年34本程度)			
	甲府	ヤマナシ・クエスト (年15本程度) ※時間拡大の場合あり			
近畿	大阪	特集番組			かんさい熱視線
	京都				
	神戸				
	和歌山				
	奈良				
	大津				
中部	名古屋	〈東海3〉後7:30~8:42 プロ野球(年2本程度)			39
		ナビゲーション			
	津	〈東海3〉金とく (年7本程度)	ミニ番組	〈中部ブロック>金とく(年6本程度) 〈各県単>(年数本程度)	
		みえスペシャル (年8本程度)			
	岐阜	ぎふスペシャル (年8本程度)			
	静岡	静岡スペシャル (年20本程度)			
	金沢	いしかわ令和プレミアム (年15本程度)			
福井	ザウルス!今夜も掘らナイト (年20本程度)				
富山	越中とやまスペシャル (年11本程度)				
中国	広島	特集番組(随時)/プロ野球(年4本程度)			おしらせ
		ラウンドちゅうごく (年28本程度)	55		
		"テッパン"話 仕入れました! 広島かたすみ食堂 (年4本程度)			
	岡山	@okayama (年8本程度)			
	松江	さんいんスペシャル (山陰ブロック 年10本程度) (松江単 年5本程度) (鳥取単 年5本程度)			
	山口	Yスベ! (年15本程度)			
九州沖縄	福岡	大型企画/プロ野球 (年8本程度)			おしらせ
		★ザ・ライブ (年18本程度)	55		
	北九州	★#てれぶく (福岡県域 年10本程度)			
	熊本	くまもとの風 (年10本程度)			
	長崎	★長崎スペシャル (年10本程度)			
	鹿児島	かごスピ (年10本程度)			
	宮崎	みやざき熱時間 (年10本程度)			
	大分	フカイロ! (年10本程度)			
	佐賀	金サガ (年10本程度)			
沖縄	ぎんぐる~沖縄金曜クルーズ~ 沖縄の歌と踊り (年10本程度)				
東北	仙台	特集番組/プロ野球 (随時)			
		東北ココから	55		
		東北ココから (年10本程度)			
	秋田	ぎんよる秋田 (年17本程度)			
	山形	やまコレ (年10本程度)			
	盛岡	★いわちゃん (年15本程度)			
福島	ココに福あり fMAP (年10本程度)				
青森	発見!あおもり深世界 (年10本程度)				
北海道	札幌	北海道スペシャル/プロ野球 ほか(随時)			ミニ番組
		北海道道	55		
	函館				
	旭川				
	帯広				
	釧路				
四国	松山	四国らしんばん/軽四キャンピングカーがゆく/★前園真聖 しこく絶景たび			おしらせ
		ひめDON! (年9本程度)	55	特集番組 (年4本程度)	
	高知	とさ金 (年9本程度)			
	徳島	あわとく (年9本程度)			
	高松	さぬきドッキ! (年9本程度)			

(9) -3 総合テレビ 日曜午後1時台、ラジオ第1 平日夕方 地域放送番組一覧

 :ブロック (デイリー)
 :ブロック (ウイークリー)
 :ブロック (年●本など)
 :各県単 (デイリー)
 :各県単 (ウイークリー)
 :各県単 (年●本など)
 ★ :新設番組 / 赤字 :タイトル変更 / 下線 :移設・拡充・本数変更など

放送時間		【総合】(日)後1:05~1:50				【ラジオ第1】(平日)後4:00~7:00								
局名		35		45		4:05	55	5:00	05	55	6:00	50		
ネット		サンドのお風呂いただきます		ニッポンの里山	ミニ番組	完プロ再放送	(L)	こっす	こっす	こっす	こっす	(L)		
関東甲信越	本部(東京)	★たっぷり関東NHK (年10本程度) (ネット受け)												
	前橋													
	水戸													
	宇都宮													
	長野													
	新潟													金よう夜きらっと新潟(再) (年20本程度)
	甲府													
近畿	大阪	(ネット受け)												
	京都													
	神戸													
	和歌山													
	奈良													
大津														
中部	名古屋	金とく(再) (年6本程度)												
	津	みえスペシャル(再) (随時)												
	岐阜	ぎふスペシャル(再) (年8本程度)												
	静岡	静岡スペシャル(再)												
	金沢	いしかわ令和プレミアム(再) (年5本程度)	<北陸ブロック> 北陸スペシャル(再) (年数本程度)											
	福井	ザワルス! 今夜も踊らナイト(再) (年20本程度)												
富山	越中どやまスペシャル(再) (年11本程度)													
中国	広島	(ネット受け)												
	岡山													
	松江													
	鳥取													
	山口													
九州沖縄	福岡	(ネット受け)												
	北九州													
	熊本													
	長崎													
	鹿児島													
	宮崎													
	大分													
	佐賀													
沖縄	★ちゅらSunday! ~沖縄セレクション~ (年12本程度)													
東海	仙台	(ネット受け)												
	秋田	きんよる秋田(再) (年8本程度)												
	山形	やまコレ(再) (年10本程度)												
	盛岡	★いわチャン(再) (年15本程度)												
	福島	ココに福あり f MAP(再) (年10本程度)												
青森	発見! あおもり深世界(再) (年10本程度)													
北海道	札幌	北海道セレクション (年10本程度)												
	函館													
	旭川													
	帯広													
	釧路													
	北見													
室蘭														
四国	松山	(ネット受け)												
	高知													
	徳島													
	高松													

(11) ラジオ第1 交通情報 上乗せ一覧

関東甲信越地方	近畿地方	中部地方	中国地方
(東京単)	(近畿ブロック)	(東海3県ブロック)	なし
月～金 前 7:25 ～ 7:27	月～金 前 7:25 ～ 7:27	月～金 前 8:28 ～ 8:30	
土・日 7:30 ～ 7:32	土・日 7:30 ～ 7:32	月～金・日 10:28 ～ 10:30	
月～金 7:58 ～ 8:00	月～土 8:28 ～ 8:30		
月～金 8:28 ～ 8:30	月～土 9:28 ～ 9:30	(東海3県ブロック)	
月～金 9:28 ～ 9:30	月～金・日 10:28 ～ 10:30	土 後 5:28 ～ 5:30	
月～金・日 10:28 ～ 10:30	月～日 11:28 ～ 11:30		
月～日 11:28 ～ 11:30	月～金・日 後 1:28 ～ 1:30		
月～金・日 後 1:28 ～ 1:30	月～日 2:28 ～ 2:30		
月～日 2:28 ～ 2:30	月～土 3:28 ～ 3:30		
月～土 3:28 ～ 3:30	土 4:28 ～ 4:30		
土 4:28 ～ 4:30	月・土・日 5:28 ～ 5:30		
月～日 5:28 ～ 5:30	月～日 6:28 ～ 6:30		
月～日 6:28 ～ 6:30			
(関東甲信越ブロック)			
土・日 前 7:30 ～ 7:32			
土 8:28 ～ 8:30			
土 9:28 ～ 9:30			

九州沖縄地方	東北地方	北海道地方	四国地方
なし	(仙台単、山形単、福島単) 月～金 前 8:28 ～ 8:30	なし	なし

※上記以外にも(L)枠内で交通情報の場合あり

2. 全国向け地域情報番組、地域放送局制作の全国放送番組

(1) 主な全国向け地域情報発信番組

さまざまな番組で地域の情報、魅力を取り上げ、積極的に全国に発信することによって、地域の活性化を進めていく。

	番組名 (★印は新設番組)	本放送時間		
総 合	NHK地域局発	月～金	前	10:15 ~ 10:45
	うまいっ!	月	後	0:20 ~ 0:45
	列島ニュース	月～金	後	1:05 ~ 1:55
	鶴瓶の家族に乾杯	月	後	7:30 ~ 8:42
	梅沢富美男と東野幸治のまんぷくメシ!	水	後	0:20 ~ 0:45
	サンドのお風呂いただきます	水	後	8:15 ~ 8:42
	★京コトはじめ	金	後	2:05 ~ 2:50
	★ニュース きん5時	金	後	4:50 ~ 6:00
	ドキュメント72時間	金	後	10:45 ~ 11:15
	民謡魂 ふるさとの唄	土/日		午後
	プラタモリ	土	後	7:30 ~ 8:15
	イッピン	日	前	4:30 ~ 5:00
	目撃! にっぽん	日	前	6:10 ~ 6:40
	さわやか自然百景	日	前	7:45 ~ 8:00
	小さな旅	日	前	8:00 ~ 8:25
	★明日をまもるナビ	日	前	10:05 ~ 10:50
NHKのど自慢	日	後	0:15 ~ 1:00	
教 育	天才テレビくんhello,	月～木	後	6:20 ~ 6:55
	ハートネットTV	月～水	後	8:00 ~ 8:30
	★ふるカフェ系 ハルさんの休日	木	後	10:30 ~ 10:55
	ろうを生きる 難聴を生きる	土	後	8:45 ~ 9:00
	ETV特集	土	後	11:00 ~ 0:00

	番組名 (★印は新設番組)	本放送時間		
BS1	〇〇推し!	火~水	前	0:10 ~ 1:00
	Journeys in Japan	水	後	2:00 ~ 2:30
	Core Kyoto	木	後	2:00 ~ 2:30
	目撃! にっぽん	木	後	5:00 ~ 5:30
	ドキュメント72時間	金	後	5:00 ~ 5:30
	地域局連携開発ゾーン	土	後	5:00 ~ 5:50
	チャリダー★~快汗! サイクルクリニック~	土	後	6:00 ~ 6:50
	ランスマ倶楽部	日	後	5:00 ~ 5:50
	COOL JAPAN~発掘! かわいいニッポン~	日	後	6:00 ~ 6:45
	ええトコ	日	後	11:50 ~ 翌0:16
	小さな旅	日	後	11:50 ~ 翌0:15
BS プレミアム / BS4K	にっぽん縦断 ころろ旅	月~金	前	7:45 ~ 8:00
	梅沢富美男と東野幸治のまんぷくメシ!	月	後	7:00 ~ 7:30
	にっぽん百名山	月	後	7:30 ~ 8:00
	イッピン選	火	後	0:00 ~ 0:30
	にっぽん縦断 ころろ旅 ~とうちゃこ~	火~金	後	7:00 ~ 7:30
	ふらっとあの街 旅ラン10キロ	水	後	7:30 ~ 8:00
	ニッポンぶらり鉄道旅	木	後	7:30 ~ 8:00
	美の壺 (つぼ)	金	後	7:30 ~ 8:00
	新日本風土記	金	後	9:00 ~ 10:00
	小さな旅 4K選	日	後	5:05 ~ 5:30
	釣りびと万歳	日	後	5:30 ~ 6:00

	番組名 (★印は新設番組)	本放送時間		
ラジオ 第1	列島リレーニュース	月~金	後	1:30 ~ 1:45
	にっぽん列島夕方ラジオ	月~金	後	5:05 ~ 5:55
	鉄旅・音旅 出発進行! ~音で楽しむ日本の鉄道旅~	金	後	8:05 ~ 8:55
	石丸謙二郎の山カフェ	土	前	8:05 ~ 9:55
	上方演芸会	土	後	7:20 ~ 7:45
FM	民謡をたずねて	木	後	5:30 ~ 6:00

(2) 主な地域放送局制作の全国放送番組

地域放送局が全国放送番組を制作することで、豊かで多彩なコンテンツを充実させる。

	番組名（〔 〕は主な制作部局）	本放送時間			
		月	前	後	～
総合	連続テレビ小説（後期）〔大阪〕	月～土	前 8:00	～	8:15
	NHK地域局発	月～金	前 10:15	～	10:45
	列島ニュース〔大阪〕	月～金	後 1:05	～	1:55
	歴史探偵〔大阪〕	水	後 10:30	～	11:15
	きょうの料理〔大阪ほか〕	金	後 0:20	～	0:45
	京コトはじめ〔大阪〕	金	後 2:05	～	2:50
	ニュース きん5時〔大阪〕	金	後 4:50	～	6:00
	バラエティー生活笑百科〔大阪〕	土	後 0:15	～	0:40
	さわやか自然百景〔札幌ほか〕	日	前 7:45	～	8:00
教育	バリバラ〔大阪〕	木	後 8:00	～	8:30
BS1	〇〇推し!	火～水	前 0:10	～	1:00
	ええトコ〔大阪〕	日	後 11:50	～	0:16
ラジオ第1	上方演芸会〔大阪〕	土	後 7:20	～	7:45

※このほか「うたコン」「ドラマ10」「趣味どきっ!」「ラジオ深夜便」などの全国放送番組を各局が一部制作する。

3. 補完放送等について

○字幕放送

引き続き、各拠点放送局のニュースを中心に生字幕放送を実施していく。

○データ放送

地域のニュース、気象情報など、きめの細かい地域情報を伝える。地域ごとの河川水位や雨量情報などに加え、災害時に自治体などが避難情報等を放送事業者へ配信する「Lアラート」の活用を一層進める。また、番組に参加したり内容をより楽しんだりするためのコンテンツも随時制作する。

4. インターネット活用業務について

○地域放送局のウェブサイトを通じた地域情報の提供

地域放送番組の理解増進情報を提供します。災害時等には、地域放送局のウェブサイトを通じて、ラジオの放送中番組や既放送番組を提供することがあります。

また、NHKプラスでは、大阪拠点放送局をはじめ、各拠点放送局で放送している地方向け放送番組を中心に、地域放送局で放送した番組の一部を全国に向けて配信します。

「NHK各地域放送局」ホームページ（ウェブサイト）

「NHKプラス」（ウェブサイト、アプリ）

5. 地域放送時間

(1) 地域放送時間（各拠点局ごとの1日の平均）

	総合テレビ	ラジオ第1	F M
本部 (首都圏局)	3° 03′	2° 27′	1° 17′
大阪局	3° 16′	3° 23′	1° 17′
名古屋局	3° 11′	2° 15′	1° 17′
広島局	2° 54′	2° 25′	1° 17′
福岡局	2° 53′	2° 14′	1° 23′
仙台局	3° 03′	2° 14′	1° 21′
札幌局	3° 04′	2° 11′	1° 16′
松山局	2° 49′	2° 20′	1° 17′

(2) 各局地域放送時間一覧 (1日の平均)

総合 日13:05~13:50/月~金10:15~10:45/月~金13:05~13:55.
R1 月~金13:30-13:45/月~金17:05~17:50, FM 月~金18:00~18:50
は「(広域インターローカル)」として計算
※1分未満は四捨五入

メディア	局名	総合			ラジオ第1			FM			教育(Eテレ)		
		総放送時間	内 自局編成	訳 他局受け	総放送時間	内 自局編成	訳 他局受け	総放送時間	内 自局編成	訳 他局受け	総放送時間	内 自局編成	訳 他局受け
関東甲信越	本部	3° 03'	3° 03'	0° 00'	2° 27'	1° 50'	0° 37'	1° 17'	1° 17'	0° 00'			
	長野	2° 56'	1° 06'	1° 50'	2° 17'	0° 48'	1° 29'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	新潟	2° 59'	1° 09'	1° 50'	2° 09'	0° 37'	1° 32'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	甲府	2° 59'	1° 02'	1° 57'	2° 13'	0° 38'	1° 35'	1° 17'	0° 21'	0° 56'			
	横浜							1° 17'	0° 25'	0° 52'			
	前橋	3° 03'	0° 24'	2° 39'				1° 17'	0° 11'	1° 06'			
	水戸	3° 03'	0° 56'	2° 07'				1° 17'	0° 18'	0° 59'			
	千葉							1° 31'	0° 32'	0° 59'			
	宇都宮	3° 03'	0° 25'	2° 38'				1° 17'	0° 12'	1° 05'			
	さいたま							1° 46'	0° 47'	0° 59'			
近畿	大阪	3° 16'	2° 00'	1° 16'	3° 23'	3° 12'	0° 11'	1° 17'	0° 41'	0° 36'			
	京都	3° 16'	0° 37'	2° 39'				1° 17'	0° 07'	1° 10'			
	神戸	3° 16'	0° 35'	2° 41'				1° 17'	0° 04'	1° 13'			
	和歌山	3° 16'	0° 37'	2° 39'				1° 17'	0° 08'	1° 09'			
	奈良	3° 16'	0° 37'	2° 39'				1° 17'	0° 04'	1° 13'			
	大津	3° 16'	0° 37'	2° 39'	3° 23'	0° 07'	3° 16'	1° 17'	0° 09'	1° 08'			
中部	名古屋	3° 11'	1° 57'	1° 14'	2° 15'	2° 05'	0° 10'	1° 17'	0° 35'	0° 42'			
	金沢	3° 08'	1° 16'	1° 52'	2° 10'	0° 46'	1° 24'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	静岡	3° 09'	1° 22'	1° 47'	2° 09'	0° 41'	1° 28'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	福井	3° 09'	1° 17'	1° 52'	2° 09'	0° 42'	1° 27'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	富山	3° 08'	1° 14'	1° 54'	2° 10'	0° 46'	1° 24'	1° 17'	0° 23'	0° 54'			
	津	3° 11'	0° 35'	2° 36'				1° 17'	0° 12'	1° 05'			
	岐阜	3° 11'	0° 36'	2° 35'				1° 17'	0° 10'	1° 07'			
中国	広島	2° 54'	1° 50'	1° 04'	2° 25'	2° 10'	0° 15'	1° 17'	0° 41'	0° 36'			
	岡山	2° 53'	0° 56'	1° 57'	2° 25'	0° 29'	1° 56'	1° 17'	0° 14'	1° 03'			
	松江	2° 52'	0° 57'	1° 55'	2° 25'	0° 23'	2° 02'	1° 17'	0° 14'	1° 03'			
	鳥取	2° 52'	0° 58'	1° 54'	2° 25'	0° 23'	2° 02'	1° 17'	0° 14'	1° 03'			
	山口	2° 53'	0° 57'	1° 56'	2° 25'	0° 23'	2° 02'	1° 17'	0° 14'	1° 03'			
九州	福岡	2° 53'	1° 43'	1° 10'	2° 14'	2° 02'	0° 12'	1° 23'	0° 47'	0° 36'			
	北九州	2° 53'	0° 32'	2° 21'	2° 17'	0° 08'	2° 09'	1° 23'	0° 06'	1° 17'			
	熊本	2° 53'	0° 57'	1° 56'	2° 14'	0° 26'	1° 48'	1° 23'	0° 18'	1° 05'			
	長崎	2° 53'	0° 57'	1° 56'	2° 14'	0° 26'	1° 48'	1° 23'	0° 18'	1° 05'			
	鹿児島	2° 53'	0° 57'	1° 56'	2° 14'	0° 26'	1° 48'	1° 23'	0° 20'	1° 03'			
	宮崎	2° 53'	0° 55'	1° 58'	2° 14'	0° 26'	1° 48'	1° 23'	0° 18'	1° 05'			
	大分	2° 53'	0° 55'	1° 58'	2° 14'	0° 31'	1° 43'	1° 23'	0° 18'	1° 05'			
	佐賀	2° 53'	0° 57'	1° 56'	2° 14'	0° 26'	1° 48'	1° 23'	0° 18'	1° 05'			
	沖縄	2° 54'	1° 13'	1° 41'	2° 14'	0° 31'	1° 43'	1° 25'	0° 22'	1° 03'	0° 02'	0° 02'	
東北	仙台	3° 03'	1° 54'	1° 09'	2° 14'	2° 03'	0° 11'	1° 21'	0° 46'	0° 35'			
	秋田	3° 03'	1° 01'	2° 02'	2° 16'	0° 33'	1° 43'	1° 21'	0° 21'	1° 00'			
	山形	3° 03'	0° 58'	2° 05'	2° 16'	0° 35'	1° 41'	1° 21'	0° 21'	1° 00'			
	盛岡	3° 03'	1° 01'	2° 02'	2° 20'	0° 37'	1° 43'	1° 21'	0° 21'	1° 00'			
	福島	3° 03'	1° 00'	2° 03'	2° 30'	0° 56'	1° 34'	1° 21'	0° 21'	1° 00'			
	青森	3° 03'	0° 58'	2° 05'	2° 13'	0° 34'	1° 39'	1° 21'	0° 21'	1° 00'			
北海道	札幌	3° 04'	2° 02'	1° 02'	2° 11'	1° 36'	0° 35'	1° 16'	0° 40'	0° 36'			
	函館	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 05'	2° 06'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
	旭川	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 05'	2° 06'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
	帯広	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 05'	2° 06'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
	釧路	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 05'	2° 06'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
	北見	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 02'	2° 09'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
	室蘭	3° 04'	0° 04'	3° 00'	2° 11'	0° 02'	2° 09'	1° 16'	0° 02'	1° 14'			
四国	松山	2° 49'	1° 45'	1° 04'	2° 20'	2° 09'	0° 11'	1° 17'	0° 41'	0° 36'			
	高知	2° 49'	0° 53'	1° 56'	2° 20'	0° 30'	1° 50'	1° 17'	0° 18'	0° 59'			
	徳島	2° 49'	0° 57'	1° 52'	2° 20'	0° 29'	1° 51'	1° 17'	0° 21'	0° 56'			
	高松	2° 49'	0° 53'	1° 56'	2° 20'	0° 26'	1° 54'	1° 17'	0° 18'	0° 59'			

該当番組は「つらな〜であそぼ」(中継中) 後5:20~5:25ほか